

セットアップガイド

Hewlett-Packard製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HPの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Hewlett-Packard Company
P.O. Box 4010
Cupertino, CA 95015-4010
USA

Copyright © 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

WindowsロゴおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国/地域における商標または登録商標です。

HPはテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HPの製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

セットアップ ガイド

HP Pavilion Desktop PC s3000シリーズ

初版 2007年3月

製品番号：5991-8438

日本ヒューレット・パッカード株式会社

表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

注、注意、および警告

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は注、注意、および警告を示し、次のように使用されています。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。また、その指示に従わないと、装置が破損して永久に使用できなくなったり、データが完全に失われて復元できなくなったりする恐れがある警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

注：補足情報を表します。

目次

コンピュータの準備	1
コンピュータのセットアップ.....	3
コンピュータの設置	3
適切な場所へのコンピュータの配置.....	3
サージ電圧からの保護	3
コンピュータの接続	4
デジタル カメラ（写真またはビデオ）の接続.....	9
その他のデバイスの接続.....	10
説明書およびリカバリ ディスクの保管	11
モニタの調整	11
ローカル エリア ネットワークの設定.....	11
有線（イーサネット）接続のセットアップ	12
内蔵無線デバイス.....	13
無線LANデバイスの接続	14
無線LANデバイスの取り付けおよびネットワークへの追加の確認.....	15
無線セキュリティ機能の使用	15
モデムの接続	16
困ったときは	17
画面での説明書の表示	17
Webでの説明書の検索.....	18
[Windowsヘルプとサポート]の使用	20
[PCヘルプとツール]フォルダの使用	20
[HPコネクション]の使用	21
メッセージの取得.....	22
メッセージをオフにするには	24
メッセージの有効化	25
初めてコンピュータの電源を入れる場合	27
安全で快適なコンピュータの利用	27
コンピュータの保護	27
パスワードの使用.....	28
ウイルス対策ソフトウェアの使用.....	29
ファイアウォール ソフトウェアの使用	30
重要なセキュリティ アップデートのインストール.....	31
初めてコンピュータの電源を入れる場合	32

コンピュータの電源切断	32
シャットダウンの実行	33
ロックの使用	33
スリープ モードの使用	33
ハイバネーション モードの使用	34
自動スリープ、ハイバネーション、または退席中モード	35
コンピュータの再起動	36
インターネットへの接続	36
ソフトウェアのアップデート	39
新しいコンピュータへのユーザ アカウントの設定	42
パスワードの作成	43
ソフトウェアおよびハードウェア デバイスを追加するときのガイドライン	43
古いコンピュータから新しいコンピュータへのファイルおよび設定の転送	46
キーボードの使用	49
キーボード 機能の説明	49
文字キー	49
ファンクション キー	50
編集キー	50
矢印キー	51
数値キー (テンキー)	51
キーボード インジケータ	52
特殊キーボード ボタン	52
特殊キーボード ボタンの説明	53
キーボード ボタンのカスタマイズ	56
キーボード ショートカット	56
マウスの使用	57
マウス ボタンの使用	57
スクロール	58
自動スクロール	58
横スクロール	58
マウス ボタン機能の入れ替え	59
マウス ポインタの速度の変更	59
コンピュータ ソフトウェアの使用	61
ソフトウェアに関する詳細情報	61
デスクトップの使用	61
デスクトップ アイコンの削除	62
デスクトップ アイコンの復元	62
スタート ボタン メニューの使用	62
[すべてのプログラム]メニューの使用	62
[すべてのプログラム]リストの整理	63
[コントロール パネル]の使用	63
ウィンドウのサイズ変更	64
デジタル画像の操作	65
インターネットについて	65

ブラウザの使用	66
インターネットの検索	67
インターネット コンテンツの制限	67
電子メールの送受信	68
Windowsメールの使用	69
ISPが提供する電子メール プログラムの使用	69
ファイルの管理	71
フォルダを使ったファイルの整理	71
フォルダの作成	72
ファイルの移動	72
ファイルの検索	73
ファイル名の変更	74
ファイルの削除	74
ごみ箱からのファイルの回復	75
ファイルのコピー	75
プリンタの使用	76
メモリ カード リーダーの使用	77
メディア挿入ガイド	78
動作ランプについて	81
メモリ カードのフォーマット	81
メモリ カード リーダーのトラブルシューティング	82
スピーカまたはマイクの接続	85
スピーカの使用	85
サウンド コネクタの種類	86
マイクの接続	88
スピーカの構成	89
スピーカの種類	90
2/2.1 (2スピーカとサブウーファ) オーディオ スピーカの接続	91
4.1 (4スピーカとサブウーファ) オーディオ スピーカの接続	92
5.1 (5スピーカとサブウーファ) オーディオ スピーカの接続	93
7.1 (7スピーカとサブウーファ) オーディオ スピーカの接続	95
ホーム オーディオ システムへのコンピュータの接続	97
Yアダプタ ケーブル	97
2.1ホーム ステレオの取り付け	98
5.1ホーム オーディオの接続	99
5.1ホーム オーディオの接続手順	100
7.1ホーム オーディオの接続	102
7.1ホーム オーディオの接続手順	103
デジタル オーディオの接続	104
Creative Sound Blaster X-Fiサウンド カードを使用したスピーカの接続	106
スピーカの接続	106
FlexiJackコネクタの接続	107

テレビ信号とビデオ ケーブルの接続	109
テレビ ケーブルの使用	109
オーディオ ケーブルおよびビデオ ケーブル	109
テレビ信号の接続	112
デュアル チューナの接続	113
リモート センサの接続	114
既存の設定がある場合のテレビ信号の接続	115
壁面からビデオ デッキを通じてテレビへ、同軸ケーブル使用	115
壁面からケーブル テレビ/衛星放送のセット トップ ボックスを通じて ビデオ デッキ、テレビへ、同軸ケーブル使用	116
壁面からケーブル テレビ/衛星放送のセット トップ ボックスを通じて ビデオ デッキ、テレビへ、ボックスとビデオ デッキ/テレビ間に Sビデオ ケーブル/コンポジット ビデオ ケーブルを使用	118
モニタとしてのテレビの使用	120
コンピュータをテレビに接続するためのケーブル	120
テレビへのコンピュータの接続	120
テレビ画面でのコンピュータ画像の表示	121
画面解像度の調整	122
複数のディスプレイの接続	122
Windows Media Centerセットアップ ウィザードを使用したテレビ画面の オプション設定	122
テレビ出力オプションの無効化	124
テレビの取り外し	124
モニタまたはハイビジョン テレビへの接続	125
使用するAV接続の選択	125
HDMIデバイスの接続	127
DVIデバイスの接続	128
標準のテレビへの接続	129
コンポジット ビデオへの接続	129
Sビデオへの接続	130

アップグレード ガイド	133
はじめに.....	133
安全情報.....	134
コンピュータを開く	134
コンピュータの準備	135
コンピュータのカバーの取り外し	136
コンピュータ内部の部品の位置	137
コンピュータを閉じる	139
コンピュータのカバーの取り付け	139
コンピュータを閉じた後で.....	140
オプティカルドライブの取り外しおよび取り付け	140
作業を始める前に.....	140
オプティカルドライブの取り外し	141
オプティカルドライブの取り付け	143
ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け	144
作業を始める前に.....	145
ハードディスク ドライブの取り外し.....	145
ハードディスク ドライブの取り付け.....	147
メモリの取り外しおよび取り付け	149
作業を始める前に.....	149
メモリ モジュールの取り外し	150
メモリ モジュールの取り付け	151
PCIカードの取り外しおよび取り付け	152
作業を始める前に.....	152
PCIカードの取り外し	153
PCIカードの取り付け	154
PCI-Eカードの取り外し	154
PCI-Eカードの取り付け	156
バッテリーの取り外しおよび取り付け	157
作業を始める前に.....	157
規定に関するご注意	159
電源コードについて	159
日本における含有物質の表示	159
国際エネルギー スター プログラム	159
HPリサイクル プログラム	160
PCリサイクルシール.....	160
索引.....	161

コンピュータの準備

コンピュータのセットアップ



警告：電源装置は、コンピュータを購入した国/地域に対応するよう事前に設定されています。他の国/地域で使用する場合は、電源コンセントにコンピュータのプラグを差し込む前に、電圧条件を調べてください。



警告：コンピュータを電源システムに接続する前に、『サポート ガイド』の「規定および安全に関する情報」を参照してください。

コンピュータの設置

『かんたんスタート ガイド』の手順に沿って、コンピュータをセットアップします。コンピュータの各部やコネクタの場所を確認したり、『かんたんスタート ガイド』に記載されている以外のセットアップ方法を調べたりするには、この項のトピックを参照してください。

コンピュータに関する印刷物や最新情報が梱包箱に入っていますので、確認してください。

適切な場所へのコンピュータの配置

新しいコンピュータをセットアップする時は、通気孔を塞がないような場所に置いてください。すべてのケーブルがしっかりと接続され、邪魔にならない場所にあることを確認してください。ケーブルを通路上、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。

サージ電圧からの保護

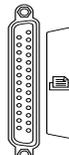
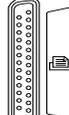
お使いのモニタ、コンピュータ、オプション製品などを保護するために、コンピュータおよびその他の周辺機器（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードを、サージ防止機能のあるマルチソケット（テーブルタップ）や無停電電源装置（UPS）などのサージ保安器に接続してください。多くのサージ保安器には、モデムや電話回線のためのサージ保安器入力と出力があります。電話回線は、落雷の際に電圧がシステムに侵入する経路の1つです。一部のサージ保安器には、テレビケーブル接続にも対応したサージ防止機能がある場合があります。コンピュータにTVチューナが装備されている場合は、これらを使用してください。

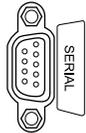
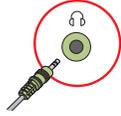
すべてのマルチソケットがサージ防止に対応しているわけではありません。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止機能が正常に働かなくなった場合に、マルチソケットを交換するサービスを提供している製造販売元のものを使用することを強くおすすめします。

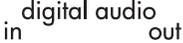
コンピュータの接続

モニター、キーボード、マウスなどの主要なハードウェア デバイスをコンピュータの背面に接続します。プリンタ、スキャナ、カメラなど、その他の周辺機器もコンピュータ背面のコネクタに差し込みます。コンピュータの前面にコネクタが付いているコンピュータもあります。次の表で、コネクタの種類について説明します（すべてではありません）。

注：コネクタの場所、用途、および数は、お使いのコンピュータによって異なる場合があります。

コネクタ	アイコン/ラベル	説明および機能
 		マウス (PS/2) コネクタ : マウスを接続します
 		キーボード (PS/2) コネクタ : キーボードを接続します
 		USB (Universal Serial Bus) 2.0コネクタ : USBマウス、USBキーボード、デジタル カメラ、および その他のUSBデバイスを接続します
 		プリンタ (パラレル) コネクタ (一部のモデルのみ) : パラレル プリンタを接続します

コネクタ	アイコン/ラベル	説明および機能（続き）
 	 VGA	モニタ（VGA）出力コネクタ：VGAモニタを接続します
		デジタル ビデオ出力コネクタ（一部のモデルのみ）： デジタル対応モニタやディスプレイを接続します ディスプレイ デバイスに付属の説明書も参照してください
	Serial	シリアル ポート：一部のデジタル カメラやその他シリアル デバイスを接続します
 	 OUT	オーディオ ライン出力コネクタ（緑色）： 電源付きスピーカを接続します。マルチチャンネル オーディオ設定の場合は、フロント スピーカをこのコネクタに接続します。このコネクタからはスピーカに対して電源は供給されません
 		ヘッドフォン出力コネクタ（緑色）： ヘッドフォンを接続します
 	 IN	オーディオ ライン入力コネクタ（青色）： CDプレーヤなどアナログ オーディオ デバイスを接続します。マルチチャンネル オーディオの設定が有効な場合にリア ライン出力としても機能します

コネクタ	アイコン/ラベル	説明および機能（続き）
		<p>マイク入力コネクタ（ピンク色）： マイクを接続します。マイク コネクタは、マルチチャンネル オーディオの設定が有効な場合にセンタ/サブウーファ ライン出力としても機能します</p>
		
		
		<p>1394 (FireWire) コネクタ : ビデオ カメラやその他の IEEE 1394対応高速転送デバイスを接続します</p> <p>注 : この6ピンのコネクタには、6ピンのIEEE 1394 (FireWire) 転送ケーブルを使用する必要があります</p>
		<p>デジタル オーディオ入力コネクタ（白色）および デジタル オーディオ出力コネクタ（赤色）：</p> <p>デジタル オーディオ入力コネクタ（白色）は、デジタル 入力（ホーム オーディオ レシーバ/アンプ）やデジタル スピーカのあるデジタル オーディオ デバイ스에接続します（一部のモデルのみ）</p> <p>デジタル オーディオ出力コネクタ（赤色）は、デジタル 出力のあるデジタル オーディオ デバイ스에接続します（一部のモデルのみ）</p>
	<p>Digital Audio Out</p>	<p>デジタル出力コネクタ（オレンジ色）： デジタル入力（ホーム オーディオ レシーバ/アンプ）や デジタル スピーカのあるデジタル オーディオ デバイ스에 接続します（一部のモデルのみ）</p>
	 <p>side</p>	<p>サイド スピーカ出力コネクタ（灰色）： 8スピーカ システム（7.1）でサイド スピーカを接続 します</p>
	 <p>rear</p>	<p>リア スピーカ出力コネクタ（黒色）： マルチチャンネル オーディオ設定の場合に、リア スピー カを接続します</p>

コネクタ	アイコン/ラベル	説明および機能（続き）
	 c/sub	センタ/サブウーファ出力コネクタ（金色）： マルチチャンネル オーディオ設定の場合に、センタ/サブウーファ スピーカを接続します
	Analog Video	アナログ ビデオ出力コネクタ：Sビデオまたはコンポジット ビデオ（一部のモデルのみ）をテレビに接続します
	S-Video	Sビデオ入力コネクタ：セット トップ ボックス出力コネクタから接続します
	S-Video 2	Sビデオ入力コネクタ2：2番目のSビデオ コネクタ。ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、その他のアナログ ソースをコンピュータに接続します
	Composite Video	コンポジット ビデオ入力コネクタ（黄色）： テレビのセット トップ ボックスに接続します
	Composite Video 2	コンポジット ビデオ入力コネクタ2： 2番目のコンポジット ビデオ コネクタ（黄色）。ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、その他のアナログ ソースをコンピュータに接続します
	A/V In Audio 1 L	1番目の左側オーディオ入力コネクタ（白色）： セット トップ ボックス コネクタから接続します 注：オーディオは、マザーボードに接続されているこのオーディオ入力コネクタを使用して録音できます。1番目の左側オーディオ入力コネクタがコンピュータの前面にあるモデルもあります（一部のモデルのみ）
	A/V In Audio 2 L	2番目の左側オーディオ入力コネクタ（白色） 注：このオーディオ入力コネクタはTVチューナに接続されます。オーディオのみを録音するには、マザーボードに接続された、コンピュータの背面にあるオーディオ入力コネクタを使用する必要があります（一部のモデルのみ）
	A/V In Audio 1 R	1番目の右側オーディオ入力コネクタ（赤色）： セット トップ ボックス コネクタから接続します 注：オーディオは、マザーボードに接続されているこのオーディオ入力コネクタを使用して録音できます。1番目の右側オーディオ入力コネクタがコンピュータの前面にあるモデルもあります（一部のモデルのみ）

コネクタ	アイコン/ラベル	説明および機能（続き）
	A/V In Audio 2 R	2番目の右側オーディオ入力コネクタ（赤色） 注：このオーディオ入力コネクタはTVチューナに接続されます。オーディオのみを録音するには、マザーボードに接続された、コンピュータの背面にあるオーディオ入力コネクタを使用する必要があります（一部のモデルのみ）
		電源コネクタ
	ETHERNET	イーサネットLANコネクタ： イーサネット（10BaseT）または高速イーサネット（100BaseTX）ネットワークのハブに接続するネットワーク インタフェース アダプタ（ネットワーク インタフェース カードまたはNICとも呼ばれます）です。このアダプタをローカル エリア ネットワーク（LAN）のハブまたはブロードバンドに接続します 緑色のランプは接続が有効であることを示します
	TV/Cable Ant	テレビ入力コネクタ：壁面コンセントからセット トップボックスなしでのテレビ アンテナまたはケーブル入力を接続します
	FM Ant	FMアンテナ ケーブルに接続するFM入力（ラジオ アンテナ入力）コネクタ： FMラジオ アンテナ ケーブルを、コンピュータ背面のTVチューナ カード上のFM入力ポートに差し込みます。ケーブルの端を伸ばして、FMラジオの信号受信の性能を上げることができます
		モデム（ライン入力RJ-11）コネクタ（一部のモデルのみ）： モデム ケーブル（モデム搭載モデルに付属）を、コンピュータ背面のコンピュータ モデム コネクタに差し込みます。もう一方の端を壁面の電話回線コネクタに差し込みます

デジタル カメラ（写真またはビデオ）の接続

次の説明は、デジタル写真カメラおよびデジタル ビデオ カメラにのみ当てはまります。

注：アナログ ビデオ カメラをコンピュータに接続する場合は、コンピュータ前面または背面のビデオ入力およびオーディオ入力コネクタを使用してください。

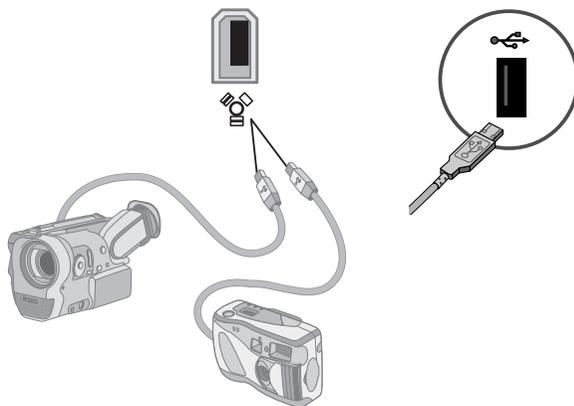
デジタル写真カメラまたはデジタル ビデオ カメラに付属の説明書も参照してください。

デジタル写真カメラまたはデジタル ビデオ カメラを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を入れ、Windows Vista™オペレーティング システムを起動します。

注：カメラを接続した時にデジタル ビデオ デバイスの[自動再生]ウィンドウが表示された場合は、**[取り消し]**をクリックします。

- 2 6ピンのビデオ カメラ転送ケーブルをカメラに接続し、コンピュータの前面または背面の開いているポートに差し込みます。多くのデジタル ビデオ カメラはIEEE 1394 (FireWire) ポートまたはUSBポートのどちらかを使用します。



- 3 [新しいハードウェアが見つかりました]メッセージが表示されます。Windows Vistaが新しいデバイスに必要な設定を行うまで、2～3分程度待ちます。インストールが完了すると、カメラを使用する準備ができたことを示すメッセージが表示されます。

コンピュータがデジタル写真カメラまたはデジタルビデオカメラを認識しない場合は、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン（右図参照）をクリックして、[コントロール パネル]をクリックします。
- 2 [システムとメンテナンス]をクリックして、[システム]をクリックします。
- 3 [デバイス マネージャ]をクリックします。
- 4 カメラ ポートの隣のプラス記号（+）をクリックします。カメラの名前が表示されていれば、デバイスの準備ができています。名前がない場合は、以下のことを試してください。
 - [操作]をクリックし、[ハードウェア変更のスキャン]をクリックします。[デバイス マネージャ]でポートの下の新しく追加された項目を探します。
 - ビデオ カメラの転送ケーブルをコンピュータから取り外し、別のポートに差し込みます。[デバイス マネージャ]でポートの下の新しく追加された項目を探します。

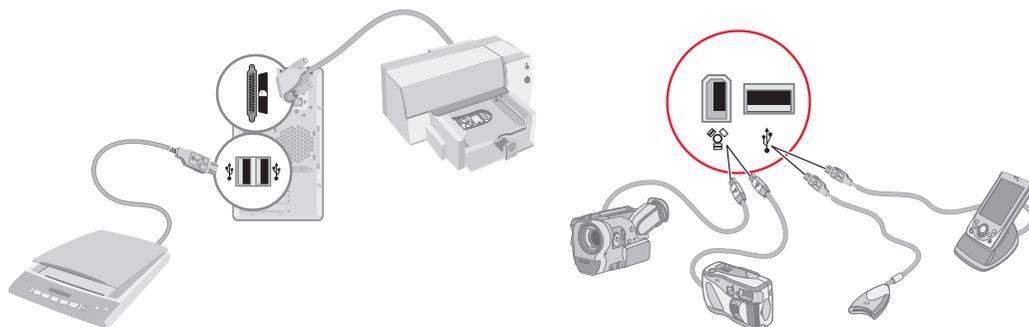


その他のデバイスの接続

その他の周辺機器は、USBまたはIEEE 1394（FireWire）ポートを使用して、コンピュータの前面または背面に接続できます。周辺機器には、プリンタ、スキャナ、ビデオカメラ、デジタル写真カメラ、メモリカードリーダー、PDA（personal digital assistant）、ハンドヘルドコンピュータなどがあります。デバイスに付属の説明書を参照してください。

注：お買い上げいただいたコンピュータには、プリンタ、スキャナ、ビデオカメラ、デジタル写真カメラ、メモリカードリーダー、PDA、ハンドヘルドコンピュータなどの周辺機器は付属していません。

注：お使いのコンピュータでは、IEEE 1394（FireWire）コネクタを持つ、6ピンの（4ピンではなく）IEEE 1394（FireWire）ケーブルを使用する必要があります。



説明書およびリカバリ ディスクの保管

コンピュータの取扱説明書および保証情報はすべて、手が届きやすい安全な場所に保管してください。お使いのコンピュータに関する重要な説明書およびファイルのすべてをすばやく参照したり使用したりできるようにするため、システム リカバリ ディスクと説明書を一緒に保管することをおすすめします。

モニタの調整

画面の解像度を変更するには、以下の手順で操作します。

- 1 デスクトップの空いている領域を右クリックして、**[個人設定]**をクリックします。
- 2 **[ディスプレイの設定]**をクリックします。
- 3 必要に応じてモニタを選択してから、画面の解像度を調整します。
- 4 **[適用]**をクリックします。
- 5 **[はい]**が表示された場合は、クリックします。
- 6 **[OK]**をクリックします。

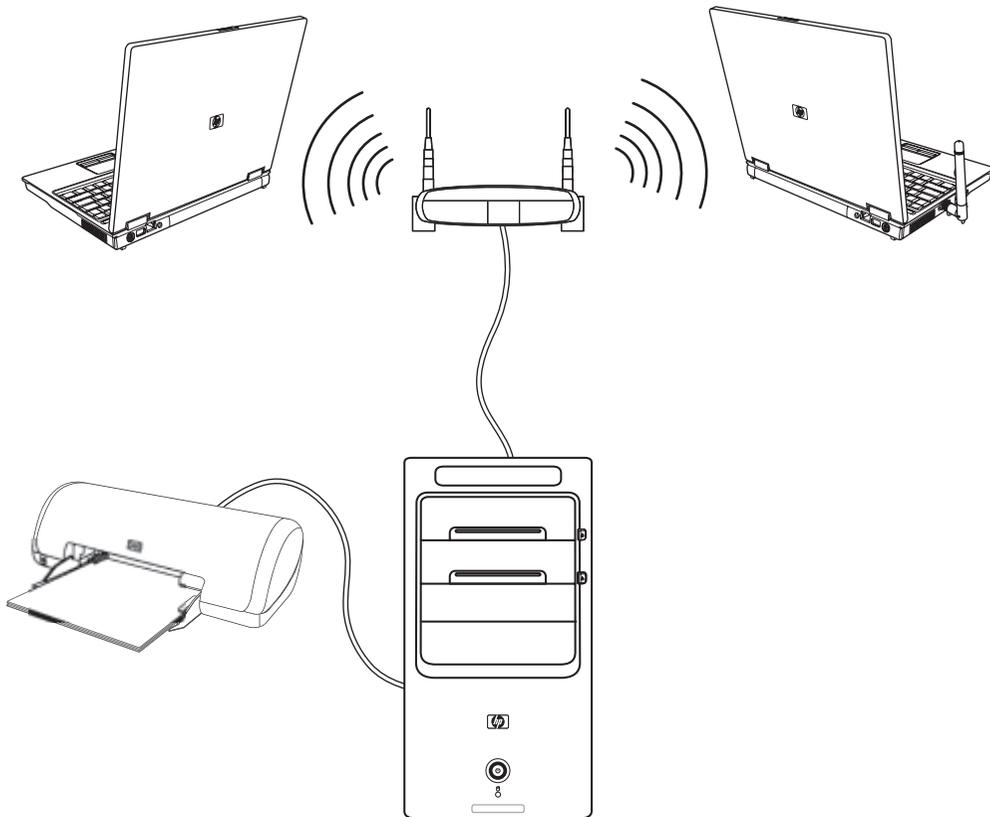
注：同時に複数のディスプレイ デバイス（CRT モニタ、フラット パネル モニタ、TV など）をコンピュータに接続できます（一部のモデルのみ）。[Alt] + [F5] キーを押すことで、コンピュータのデスクトップを表示するデバイスをすばやく変更できます。[Alt] + [F5] キーを押すたびに、コンピュータのデスクトップを表示するデバイスが切り替わります。[Alt] + [F5] キーを押しても表示が切り替わらない場合は、コンピュータを再起動してから再度試してください。

ローカル エリア ネットワークの設定

家庭内のローカル エリア ネットワーク（LAN）は、有線または無線のネットワークで構成されていて、お使いのコンピュータを別のコンピュータやプリンタのような周辺機器などネットワーク上のデバイスに接続できます。ネットワーク機器には、複数のデバイスをネットワークに接続するためのハブやスイッチ、また、コンピュータをインターネットにブロードバンド接続するためのルータなどが含まれます。このネットワーク接続により、コンピュータ間でのデータ共有、プリンタやその他のデバイスの共有も可能になります。インターネットへのネットワーク接続は、通常ダイヤルアップかケーブル モデムによって行われます。

有線ネットワークは、ネットワーク ケーブルを使用して、ネットワーク上のデバイスに接続します。たとえば、ネットワーク ケーブルはコンピュータのネットワーク インタフェース アダプタとルータに差し込みます。

無線ネットワークは、電波を使用してネットワーク上のデバイスに接続します。たとえば、コンピュータおよびルータの両方に、同じ無線LAN業界基準（802.11b、802.11g、802.11aのどれか）を使用するアンテナおよびアダプタが装備されています。

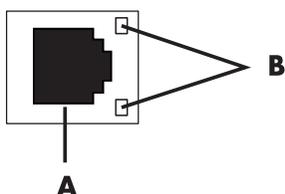


上の図は家庭内LANの例を示しています。デスクトップ コンピュータは無線ルータに有線接続しています。デスクトップ コンピュータには、ネットワーク上の別のコンピュータと共有しているプリンタも接続されています。各ノートブック コンピュータは、ネットワーク ルータに対して無線接続しています。

有線（イーサネット）接続のセットアップ

ネットワーク インタフェース アダプタ、ネットワーク インタフェース カード、またはNICと呼ばれるイーサネット接続は、イーサネット（10BaseT）または高速イーサネット（100BaseTX）ネットワークへの高速または広帯域の接続を提供します。このインタフェースをLANなどのネットワークに接続した後、そのネットワークを介して、インターネットに接続できます。

- 1 イーサネット（ネットワーク）ケーブルをコンピュータ背面のイーサネット（ネットワーク）コネクタ（**A**）および、ネットワーク ルータやLANデバイスに接続します。



A イーサネット コネクタ（RJ-45ポート）

B イーサネット ランプ

- 2 コンピュータの電源を入れた状態で、イーサネット コネクタの隣のランプ（**B**）の状態を確認します。
 - 動作：ネットワーク データ転送中に黄色に点灯します。
 - リンク：ネットワーク接続が有効な場合に緑色に点灯します。

注：お使いのイーサネット コネクタにランプが1つしかない場合もあります。

内蔵無線デバイス

無線技術は、回線ではなく電波を使用してデータを転送します。コンピュータには以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- **無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）** デバイスは、企業、家庭、空港やレストランなどの公共の場所で、コンピュータを無線ローカル エリア ネットワーク（通常、無線ネットワーク、無線LANなどと呼ばれる）で接続します。無線LANでは、各モバイル無線デバイスは、数百歩離れても通信可能な無線アクセス ポイントで通信します。

無線LANデバイスが搭載されているコンピュータは、3つのIEEE物理層業界基準（802.11b、802.11g、802.11a）の1つまたは複数をサポートしています。

- **Bluetooth** デバイスは、コンピュータ、電話、プリンタ、ヘッドセット、スピーカ、カメラなど別のBluetoothが有効なデバイスに接続するパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を構築します。PANでは、各デバイスは別のデバイスと直接通信し、デバイス同士の距離が比較的近い（10メートル未満）必要があります。
- **無線ワイド エリア ネットワーク（無線WAN）** デバイスは、セル（データ）がカバーする範囲のどの場所でもいつでも情報にアクセスできます。無線WANでは、各モバイル デバイスは、公衆通信事業者の基地局に接続します。公衆通信事業者は、基地局（携帯電話基地局に似たもの）のネットワークを広域にわたって導入し、都道府県や国/地域全体を効率的にカバーします。

無線技術について詳しくは、以下のサイトを参照してください。

http://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/

無線LANデバイスの接続

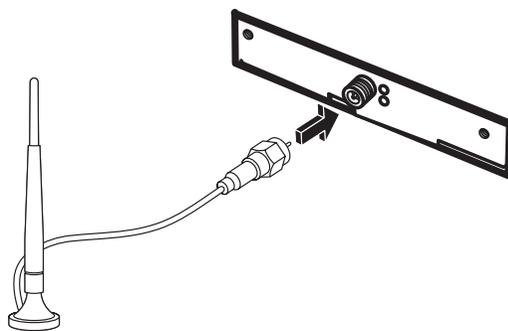
(一部のモデルのみ)

無線LANデバイスに付属している外部アンテナを使用して、コンピュータを802.11bまたは802.11gの無線ネットワークに接続できます。このデバイスにより、お使いのコンピュータを無線アクセスポイントとして使用する無線ネットワークを確立できます。また、すでに無線ネットワークが存在する場合には、お使いのコンピュータを無線クライアント（ステーションモード）としても使用できます。

外部アンテナを使用するには、インターネット接続が可能な既存の無線LANが必要です。（詳しくは、契約しているインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせください。）外部アンテナはシステムに付属しています。無線の範囲および感度を上げるには、802.11モジュールに接続する必要があります。

無線LANアンテナを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 無線LANアンテナケーブルをコンピュータ背面の無線LANコネクタに差し込みます。
- 2 無線のパフォーマンスを最大限にするには、コンピュータの上または周囲に障害物がない高い位置にアンテナを置いてください。



注：無線アンテナの外観は図と異なる場合があります。

無線LANデバイスの取り付けおよびネットワークへの追加の確認

無線ネットワークをセットアップするには、無線LANデバイスがコンピュータに適切に取り付けられていることを確認します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 検索ボックスに「デバイス マネージャ」と入力して検索し、**[デバイス マネージャ]**をクリックして**[デバイス マネージャ]**ウィンドウを開きます。
- 3 **[ネットワーク アダプタ]**をクリックします。無線LANデバイスのリストが表示されます。無線LANデバイスの名前には「ワイヤレス」、「ワイヤレスLAN」、「802.11」などの用語が含まれている場合があります。

注：無線LANデバイスがリストにない場合は、コンピュータに無線LANデバイスが取り付けられていないか、デバイスのドライバが適切にインストールされていないかを確認してください。

- 4 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 5 検索ボックスに「ネットワークと共有センター」と入力して検索し、**[ネットワークと共有センター]**をクリックして、**[ネットワークと共有センター]**ウィンドウを開きます。
- 6 **[ネットワークへのデバイスの追加]**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

無線ネットワークの設定について詳しくは、以下を参照してください。

- タスクバーにあるスタート ボタンをクリックして、**[Windowsヘルプとサポート]**をクリックし、ヘルプの検索ボックスに「無線ネットワークのセットアップ」と入力して検索します。
- http://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/を参照します。

無線セキュリティ機能の使用

家庭用無線LANや既存の公共無線LANへのアクセスをセットアップする時は、常にセキュリティ機能を有効にして、お使いのネットワークを不正なアクセスから保護してください。最も一般的なセキュリティレベルは、WPAパーソナル（Wi-Fi Protected Access Personal）およびWEP（Wired Equivalent Privacy）です。

ネットワークをセットアップする場合、以下に示すセキュリティ対策を必ず1つ以上行ってください。

- ルータでWPAパーソナルまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にします。
- 初期設定されているネットワーク名（SSID）およびパスワードを変更します。
- ファイアウォールを使用します。
- Webブラウザでセキュリティ設定を行います。

無線セキュリティのセットアップについて詳しくは、以下のサイトを参照してください。

http://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/

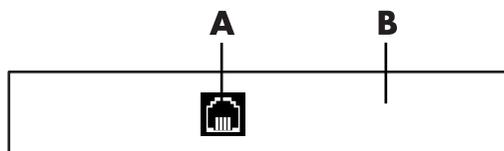
モデムの接続

インターネットへの接続について詳しくは、この説明書の「インターネットへの接続」を参照してください。

ダイヤルアップ接続を使用して、ISPを介してインターネットに接続するには、モデムを使用します。

注：コンピュータによっては、モデムが装備されていない場合があります。

ダイヤルアップを使用してインターネットに接続し、電子メールやFAXを送受信する前に、コンピュータ背面（**B**）にコネクタ（**A**）があるモデムを電話回線に接続する必要があります。コンピュータのモデムコネクタおよび壁面の電話回線用モジュラコネクタに、モデム/電話ケーブルを接続する方法は、『かんたんスタートガイド』に記載されています。



A モデムコネクタ

B コンピュータの背面

困ったときは

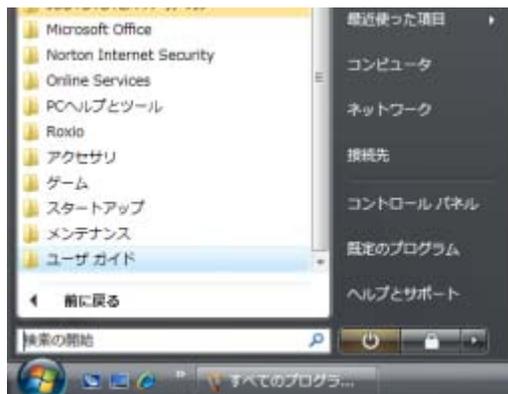
画面での説明書の表示

[ユーザ ガイド]フォルダから説明書を表示できます（一部のモデルのみ）。

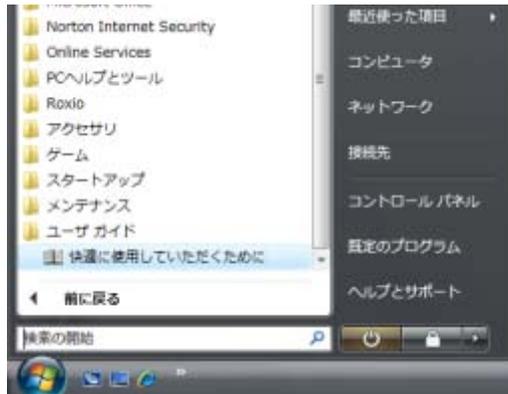
- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。



- 3 [ユーザ ガイド]をクリックします。



- 4 表示または使用する項目をクリックします。



注：フォルダに説明書のタイトルがない場合、お使いのコンピュータでは説明書を表示できません。

Webでの説明書の検索

インターネットを使用してサポートWebサイトにアクセスし、お使いのコンピュータの説明書や情報を検索できます。

- 1 Webブラウザで<http://www.hp.com/support/>を参照してください。



2 お住まいの国または地域、および言語を選択します。



3 [サポート&問題解決情報を表示する]をクリックし、お使いのコンピュータのモデル番号を入力して、をクリックします。



- 4 [マニュアルライブラリ]をクリックします。
- 5 希望するマニュアルを見つけて、次のどちらかを行います。
 - タイトルをクリックして、Adobe Readerでファイルを表示します（お使いのコンピュータにインストールされていない場合は、[マニュアルライブラリ]ページからダウンロード可能です）。
 - タイトルを右クリックして[対象をファイルに保存]をクリックし、ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの名前を指定して（.pdfの拡張子はそのまま）[保存]をクリックします。

[Windowsヘルプとサポート]の使用

お使いのコンピュータに関する情報は、画面上の[Windowsヘルプとサポート]で参照できます（一部のモデルのみ）。ここで、最新のドライバへのリンクや、サポート窓口のアクセス、一般的な質問に関する情報の検索が可能です。

[Windowsヘルプとサポート]を開くには、以下の手順で操作します。

- キーボードのヘルプ ボタン（疑問符マークが付いています）を押します（一部のモデルのみ）。

または、

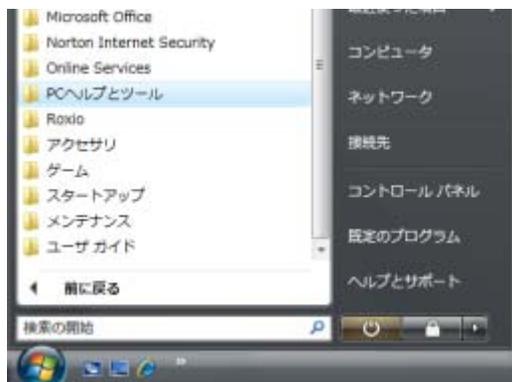
- タスクバーにあるスタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。

[PCヘルプとツール]フォルダの使用

[PCヘルプとツール]フォルダには、サポート情報やプログラムなど、コンピュータの使用に役立つものが含まれています。

[PCヘルプとツール]フォルダを参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [PCヘルプとツール]をクリックします。



4 表示または使用する項目をクリックします。



[HPコネクション]の使用

[HPコネクション] (一部のモデルのみ) は、インターネットを利用したHPのサービスで、お使いのコンピュータに関する重要な情報を提供します。

- 製品の説明
- ヒント
- お使いのコンピュータ用の最新アップデート

インターネットに接続中にメッセージを受信し、デスクトップに警告またはお知らせを表示します。受信した時点でメッセージを参照できます。後で読むことも可能です。

[HPコネクション]で配信するサポートの更新のほとんどは、お使いのモデルのコンピュータのサポートWebサイトでも利用可能です。

メッセージの取得

メッセージを参照または閉じた後は、自動的に再表示されません。

以前受信したメッセージを読むには、以下の手順に沿って、[HPコネクション]を開きます。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [PCヘルプとツール]をクリックします。
- 4 [HPコネクション]をクリックします。[HPコネクション]のウィンドウが開きます。



- [HPコネクション]がお使いのシステムですでに有効になっている場合は、**[メッセージの表示]**をクリックして、以前受信したメッセージのリストを表示します。メッセージを読むには、ウィンドウでメッセージのタイトルをダブルクリックします。このウィンドウを終了しても、[HPコネクション]は有効なままです。



- [HPコネクション]がお使いのシステムで有効になっていない場合、画面にはサービスを有効にする**[有効化]**ボタンが表示されます。**[有効化]**をクリックし、サービスを開始して、以前受信したメッセージのリストを参照します。

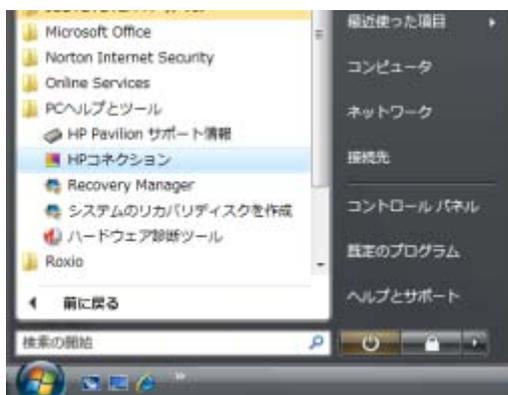


メッセージをオフにするには

注：サービスがオフの間は、お使いのコンピュータの操作に関する重要な情報が含まれる[HPコネクション]のメッセージを受け取ることができません。

[HPコネクション]をオフにするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[PCヘルプとツール]**をクリックします。
- 4 **[HPコネクション]**をクリックします。[HPコネクション]のウィンドウが開きます。



- 5 **[設定]**をクリックし、画面左のリストの**[無効化]**をクリックし、画面右下の**[無効化]**をクリックしてサービスを無効にします。再び有効にするまで、サービスはオフになります。

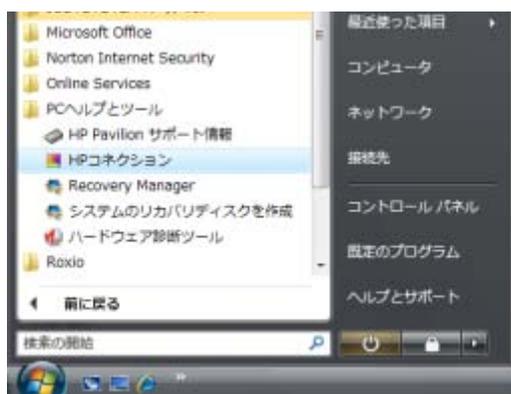


メッセージの有効化

[HPコネクション]サービスを再び有効にすると、インターネットに接続するたびにサービスが起動し、メッセージが自動的に受信されます。

サービスをオンにするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[PCヘルプとツール]**をクリックします。
- 4 **[HPコネクション]**をクリックします。[HPコネクション]が表示されます。



- 5 **[有効化]**をクリックして、サービスを再び有効にします。



初めてコンピュータの電源を入れる場合

安全で快適なコンピュータの利用



警告：操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の正しい姿勢、および健康上/作業場の習慣について説明しています。また、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。

コンピュータを使い始める前に、作業を快適に効率よく行えるようにコンピュータおよび作業環境を整えてください。重要な人間工学的情報については、『快適に使用していただくために』を参照してください。

- タスクバーにあるスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[ユーザ ガイド]→[快適に使用していただくために]の順に選択します。

または

- Webブラウザのアドレス ボックスに、
<http://www.hp.com/ergo/>
と入力し、キーボードの[Enter]キーを押して、表示される画面で[日本語]を選択します。

コンピュータの保護

以下のものを利用することにより、コンピュータ、個人用設定、およびデータをさまざまな危険から保護します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 重要なセキュリティ アップデート

注：セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアによる攻撃、コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

コンピュータへの脅威	セキュリティ機能
コンピュータまたは ユーザ アカウントの不正な使用	ユーザ パスワード
コンピュータ ウィルス	Norton Internet Securityソフトウェア (ウィルス対策プログラム)
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ Norton Internet Securityソフトウェア (ファイアウォール プログラム) ■ Windows Vistaアップデート
セットアップ ユーティリティ、 BIOS設定、およびその他のシステ ム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピュータに対する現在または 将来の脅威	Microsoftが提供する重要なセキュリテ ィアップデート

パスワードの使用

パスワードは、コンピュータの情報を保護するためにユーザが指定する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じて、複数のパスワードを設定することができます。パスワードは、コンピュータにインストールされたWindows Vistaで設定することができます。



注意：コンピュータにアクセスできなくなることを防ぐため、自分で設定したパスワードは書き留めておいてください。パスワードの設定、変更、削除を行うとき、パスワードは表示されないため、各パスワードをすぐに記録し、他人の目に触れない安全な場所に保管しておく必要があります。

Windows Vistaの複数のセキュリティ機能に同じパスワードを使用できます。

パスワードを設定する場合は、以下のガイドラインに沿ってください。

- パスワードには、8文字までの半角英数字の組み合わせを指定できます。大文字小文字は区別されません。
- パスワードは、同じキーを使って設定し入力する必要があります。たとえば、キーボードの数字キーを使ってパスワードを設定した場合、テンキーを使って入力してもパスワードは認識されません。

注：一部のモデルに付属の独立型の数値キー（テンキー）は、キーボードの数字キーと同様に機能しますが、パスワードの入力には、設定したときと同じキーを使う必要があります。

- Windows Vistaで設定したパスワードは、Windows Vistaの画面で入力する必要があります。

パスワードの作成および保存のヒントを以下に示します。

- パスワードを作成する場合、プログラムによって定められている要件に従います。
- パスワードを記録し、コンピュータから離れた他人の目に触れない安全な場所に保管しておきます。
- コンピュータ内のファイルにパスワードを保存しないでください。
- 簡単に推測できる、名前やその他の個人情報を使用しないでください。

次の表で、Windows Vistaパスワードとその機能について説明します。パスワードの設定方法については、43ページの「パスワードの作成」を参照してください。スクリーン セーバのパスワードなど、Windows Vistaパスワードについて詳しくは、[Windowsヘルプとサポート]の検索ボックスに「パスワード」と入力して検索してください。

パスワード	機能
Windows Vista 管理者パスワード	コンピュータの内容への管理者レベルのアクセスを保護します
Windows Vista ユーザパスワード	Windows Vista ユーザ アカウントおよびコンピュータの内容へのアクセスを保護します。スリープ モードまたは退席中モードからの復帰時に入力する必要があります



注意：管理者パスワードを忘れた場合、セットアップ ユーティリティにアクセスできなくなります。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

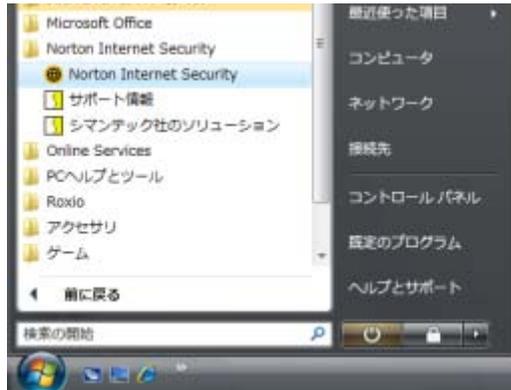
コンピュータで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、コンピュータがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、ソフトウェアプログラム、ユーティリティなどを使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除したり、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウィルスからコンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

コンピュータにプリインストールされている Norton Internet Security には、ウィルス対策プログラムが含まれます。このソフトウェアには、無償アップデート期間があります。無償期間を過ぎた後は、延長アップデート サービスを購入して新しいウィルスからコンピュータを保護することを強くおすすめします。Norton Internet Security ソフトウェアの使用法とアップデート方法、および延長アップデート サービスの購入方法については、Norton Internet Security プログラム内で確認できます。

Norton Internet Securityを起動してアクセスするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 **[Norton Internet Security]**をクリックしてから、再び**[Norton Internet Security]**をクリックします。



コンピュータ ウィルスについて詳しい情報を参照するは、[Windowsヘルプとサポート]の検索ボックスに「ウィルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

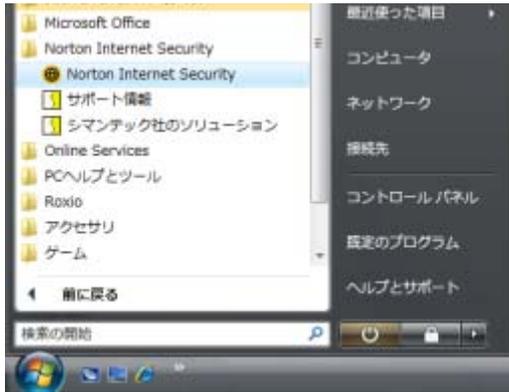
コンピュータで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピュータの情報を第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するには、ファイアウォールソフトウェアを使用します。Windows Vistaには、ファイアウォールソフトウェアが含まれています。また、コンピュータにプリインストールされたNorton Internet Securityにもファイアウォールプログラムが含まれます。

ファイアウォールは、ログ、レポート、自動アラームなどの機能を使って、コンピュータでの送受信の流れを監視します。

Norton Internet Securityを起動してアクセスするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。

3 [Norton Internet Security]をクリックしてから、再び[Norton Internet Security]をクリックします。



状況によっては、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有を妨害したり、承認済みの電子メール添付ファイルをブロックしたりすることがあります。この問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後、再びファイアウォールを有効にします。問題を完全に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

重要なセキュリティ アップデートのインストール



注意：お使いのコンピュータをセキュリティの侵害やコンピュータ ウィルスから保護するため、通知を受け取った時点で速やかに**Microsoft社**が提供する重要なアップデートをすべてインストールしてください。

オペレーティング システムおよびその他のソフトウェアの追加アップデートが、コンピュータの出荷後にリリースされている可能性があります。利用可能なすべてのアップデートをダウンロードし、コンピュータにインストールします。お使いのコンピュータ用の最新のアップデートを取得するには、タスクバーのスタート ボタン→[ヘルプとサポート]→[ソフトウェア、ドライバ、および**BIOS**のアップデート]の順にクリックします。

Windows Vistaおよびその他のMicrosoftプログラムのアップデートは、定期的リリースされます。アップデートがリリースされたら、Microsoft Webサイトからアップデートを取得することができます。また、Microsoft社が提供する最新ソフトウェアをインストールするために、Windows Vista Updateを毎月実行してください。

初めてコンピュータの電源を入れる場合

『かんたんスタート ガイド』に記載されている手順が完了したら、コンピュータの電源を入れることができます。

- 1 モニタの電源ボタンを押します。
- 2 コンピュータ前面の電源ボタンを押します。
- 3 スピーカがある場合は、スピーカの電源を入れます。
- 4 画面の説明に沿って操作し、コンピュータを設定します。お住まいの国または地域を選択する画面が表示された場合は項目を選択し、コンピュータの準備が終わるまで待ちます。(別の言語を選択した場合、1回の言語セットアップに30分程度かかることがあります。)
- 5 画面の説明に沿って操作し、Windows Vistaの設定を行います。
- 6 画面の説明に沿って操作し、ユーザ登録を行い、アップデートを申し込み、オンライン接続します(一部のモデルのみ)。この時点でインターネット接続を設定しない場合は、後で手動でイーージー インターネット サービスを起動して設定することもできます。36ページの「インターネットへの接続」を参照してください。
- 7 Norton Internet Securityが自動的に起動します。コンピュータおよびプライバシーを保護するため、画面の説明に沿ってこのツールの設定を行います。

注: セットアップ手順が完了する前に中止した場合、デスクトップの**[Easy Setup]** (イーージー セットアップ) アイコンをダブルクリックすると、初回起動時のウィザードが起動します。

コンピュータの電源切断

Windows Vistaを使用している時には、コンピュータの修復を行ったり、新しいハードウェアやカードをコンピュータに取り付けたり、バッテリーを交換したりするなど安全上の理由がない限り、コンピュータの電源を切る必要はありません。

コンピュータのシャットダウンの代わりに、コンピュータをロックしたり、スリープモードまたはハイバネーションモードにしたりすることができます。電源タイマを設定すると、自動的にコンピュータをスリープモードまたはハイバネーションモードに変えることができます。

スリープおよびハイバネーションとは、電源の状態を指します。スリープモードを開始するとコンピュータは省電力状態に入り、ユーザの作業内容がメモリに保存されるためユーザは速やかに作業に復帰できます。スリープモードの間、コンピュータ本体のランプは点灯し続け、コンピュータはすぐにスリープモードを解除し、ユーザの元の作業を復帰させる準備ができています。ハイバネーションモードでは、システムメモリがハードディスク上の一時ファイルに保存され、ハードウェアがオフになります。

一部のコンピュータには、退席中モードと呼ばれる低電源状態もあります。退席中モードでは、画面表示が消え、オーディオはミュート（消音）されますが、コンピュータは稼動しつづけます。退席中モードの間、コンピュータは予約されたテレビ番組を録画する、ビデオや音楽ファイルをリモートの場所にストリーミングするなどのタスクを実行できます。

シャットダウンの実行

Windows Vistaを使用している時に電源を切るには、コンピュータ本体のボタンを押さない方法で電源を切ることをおすすめします。

注：スタート ボタンについては、62ページの「スタート ボタン メニューの使用」を参照してください。

- 1 各プログラム ウィンドウの右上隅にある[**X**]をクリックして、開いているソフトウェア プログラムを閉じます。
- 2 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 3 ロック ボタンの隣の矢印（右図参照）をクリックします。
- 4 [シャットダウン]をクリックします。
- 5 モニタの電源を切ります。



シャットダウンした後、コンピュータの電源を入れるには、以下の手順で操作します。

- 1 モニタの電源ボタンを押します。
- 2 コンピュータ前面の電源ボタンを押します。

ロックの使用

コンピュータをロックした場合、ロックしたユーザまたは管理者のみがコンピュータにログオンできます。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタン（右図参照）をクリックします。



スリープ モードの使用

コンピュータをスリープ モードにした場合、コンピュータは省電力状態になります。モニタは電源が切れているかのように何も表示されなくなります。スリープ モードにすると、次のような状態になります。

- 復帰時にコンピュータが通常の起動処理を終わらせることを待つ必要がなく、時間を節約できます。次にコンピュータを使用するとき、コンピュータをスリープ モードにする前に開いていたプログラム、フォルダ、文書をすぐに使用できます。
- FAXを受信できます（実行するように設定されている場合）。

- 電子メールのメッセージを受信したり、インターネットから自動的に情報をダウンロードしたりすることができます（実行するように設定されている場合）。

コンピュータを手動でスリープモードにするには、以下の手順で操作します。

- キーボードにスリープボタン（右図参照）がある場合は、そのボタンを押します。



または

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 画面上の電源ボタン（右図参照）をクリックします。



または

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印（右図参照）をクリックします。
- 3 **[スリープ]**をクリックします。



コンピュータをスリープモードから復帰させるには、以下の手順で操作します。

- キーボードのスリープボタンを押します。

または

- コンピュータ前面の電源ボタンを短く押します。

スリープモードから復帰したとき、コンピュータが正常に動作しない場合は、コンピュータを再起動します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印（右図参照）をクリックします。
- 3 **[再起動]**をクリックします。



または

- コンピュータ前面の電源ボタンを短く押します。

ハイバネーション モードの使用

ハイバネーションモードは、高度な電源設定として利用できます。コンピュータをハイバネーションモードにした場合、コンピュータのメモリ上の内容すべてがハードディスクドライブに保存され、モニタとハードディスクドライブがオフになり、コンピュータ自体もオフになります。コンピュータを再びオンにすると、プログラム、フォルダ、文書が画面に復元されます。

コンピュータを手動でハイバネーションモードにするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印（右図参照）をクリックします。



3 [休止状態]をクリックします（この項目がある場合）。

注：[休止状態]がない場合は、コンピュータが自動的にハイバネーション モードに変わるように設定することができます。35ページの「自動スリープ、ハイバネーション、または退席中モード」を参照してください。

コンピュータをハイバネーション モードから復帰させるには、コンピュータ前面の電源ボタンを押します。

ハイバネーション モードから復帰したとき、コンピュータが正常に動作しない場合は、以下の手順でコンピュータを再起動します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印(右図参照)をクリックします。
- 3 [再起動]をクリックします。



自動スリープ、ハイバネーション、 または退席中モード

指定した時間の間コンピュータが使用されなかった場合、自動的にスリープ、ハイバネーション、または退席中モードに変わるようにコンピュータを設定できます。自動的にコンピュータのモードを変えるには、電源管理設定を変更します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [システムとメンテナンス]をクリックします。
- 4 [電源オプション]をクリックします。
- 5 [コンピュータをスリープ状態にする時間の変更]をクリックします。
- 6 スリープ モードまたは退席中モードの場合は、[コンピュータをスリープ状態にする]ドロップダウン メニューからオプションを選択し、[変更の保存]をクリックします。

または

ハイバネーション モードまたは退席中モードの場合は、以下の手順で操作します。

- a [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
- b [スリープ]の隣のプラス記号 (+) をクリックします。
- c 項目を選択してから、[適用]をクリックします。
- d [OK]をクリックします。

コンピュータの再起動

コンピュータを再起動すると、コンピュータが初めから起動しなおされます。再起動は、ソフトウェアを使用中に発生する多くの問題を解決できる、最も簡単かつ効果的な手段です。

また、ソフトウェア プログラムまたはハードウェア デバイスをコンピュータに追加した時に、コンピュータの再起動が必要になることがあります。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印 (右図参照) をクリックします。
- 3 **[再起動]** をクリックします。



または

コンピュータ前面の電源ボタンを短く押します。

インターネットへの接続

電話モデムを使用して、コンピュータをインターネットに接続することができます。インターネット接続には、LAN (ローカル エリア ネットワーク) またはDSL (デジタル加入者回線) など、電話モデムを使用しない別の方法もあります。接続方法について詳しくは、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に確認してください。

ハードウェア接続を行うには、3ページの「コンピュータのセットアップ」を参照してください。モデムについては16ページの「モデムの接続」を、ネットワークについては11ページの「ローカル エリア ネットワークの設定」を参照してください。

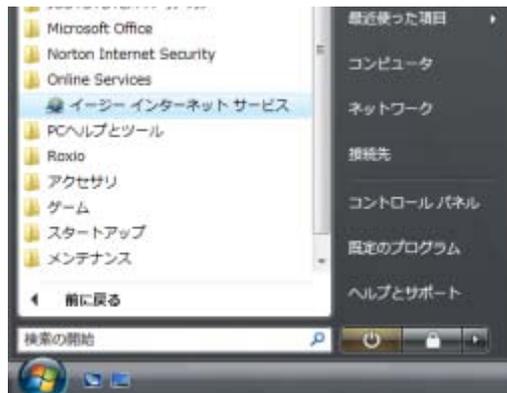
インターネットに接続するには、以下のものがが必要です。

- コンピュータ
- ダイアルアップ モデムまたはケーブル モデム。高速ブロードバンド接続の場合はDSLモデム必要なソフトウェアおよびハードウェアについては、ISPに確認してください。
- ISPが提供するインターネット サービス
- Webブラウザ

インターネットに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 ISPに申し込みます。ISPのアカウントをすでに持っている場合、この手順は省略し、ISPからの指示に沿って操作してください。
- 2 コンピュータの初回セットアップ時にインターネット サービスの設定を行わなかった場合は、**[イージー インターネット サービス]**を使ってインターネット サービスの設定を行います。
 - a タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
 - b **[すべてのプログラム]** をクリックします。
 - c **[Online Services]** をクリックします。

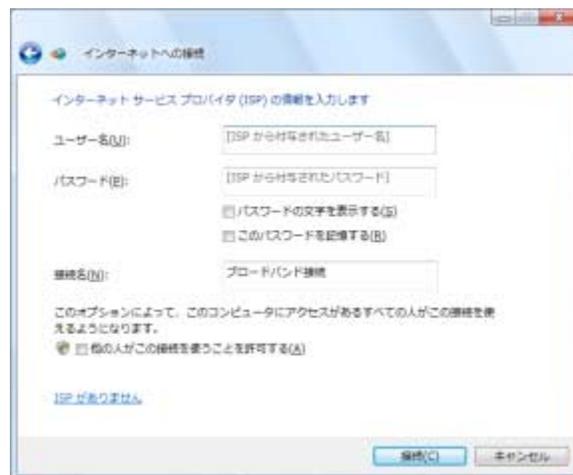
d [イージー インターネット サービス]をクリックします。



e 接続の方法を選択します。



f ISPの情報を入力し、インターネット サービスを設定します。



- 3 インターネットに接続します。ISPを介して接続する必要があります。
 - ISPのデスクトップアイコンをダブルクリックし、ログインします。
- 4 Webブラウザを開き、インターネットを参照します。

任意のWebブラウザを使用できますが、多くのコンピュータにはInternet Explorerがインストールされています。Internet Explorerを開くには、以下の手順で操作します。

- a タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- b [すべてのプログラム]をクリックします。
- c [Internet Explorer]をクリックします。



注：不明な点があれば、ISPに直接お問い合わせください。

ソフトウェアのアップデート

Microsoftでは、継続的にWindows Vistaオペレーティング システムをアップデートしています。毎月1回はアップデートを確認し、ダウンロードしてインストールすることをおすすめします。オペレーティング システムを最新の状態に保つ方法の1つは、自動更新機能を利用することです。インターネットに接続している場合、重要なアップデートが利用できるようになると、Windows Vista Updateはポップアップ メッセージまたは通知領域のアイコンを通して自動的にユーザに通知します。Windows Vista Updateのメッセージが表示されたら、アップデートをシステムにダウンロードすることを許可します。毎週または毎月、システムを更新している場合、ダウンロードにかかる時間はわずかです。

自動更新を設定するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [コントロール パネル]をクリックします。



- 3 [セキュリティ]をクリックします。



4 [Windows Update]をクリックします。



5 [設定の変更]をクリックします。



- 6 以下のように、必要な設定を選択します。
- **[更新プログラムを自動的にインストールする (推奨)]**: 初期設定であり、日時を指定して、推奨されたアップデートを自動的にダウンロードしてインストールできます。
 - **[更新プログラムをダウンロードするが、インストールを行うかどうかは選択する]**
 - **[更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する]**
 - **[更新プログラムを確認しない]**: このオプションはコンピュータの脆弱性が高まるため、おすすめしません。



- 7 **[OK]**をクリックします。

新しいコンピュータへのユーザ アカウントの設定

ユーザ アカウントを使うと、コンピュータの各ユーザに権限を設定することができます。たとえば、各ユーザがアクセスすることを許可するソフトウェア プログラムを設定できます。

Windows Vistaは、3種類のユーザ アカウントを用意しています。

■ 管理

他のユーザのアカウントの種類を変更したり、パスワードを変更したり、システム レベルの設定を変更したり、Windows Vistaに対応しているソフトウェアおよびドライバをインストールしたりすることができます。

■ 制限

他のユーザの設定やパスワードを変更できません。制限されたアカウントでは、一部のソフトウェアをインストールまたは実行することができません。

制限されたアカウントの画像を変更したり、自分のアカウント パスワードを作成、編集、削除することができます。

■ ゲスト

他のユーザの設定やパスワードを変更できません。

ゲスト アカウントを使ってコンピュータにログオンしたユーザは、パスワードで保護されたファイル、フォルダ、設定にアクセスできません。

同じコンピュータに複数ユーザ アカウントを作成した場合、利点もありますが欠点もあります。

■ 複数ユーザ アカウントの利点

- 個々のユーザ設定を作成できる
- 特定のユーザに対し、ソフトウェアへのアクセスを制限できる

■ 複数ユーザ アカウントの欠点

- メモリ (RAM) 使用量が増加する
- ディスク クリーンアップ時に複数の [Temporary Internet Files] フォルダを削除しなければならない
- バックアップするデータが多くなる
- ウィルス スキャンの実行時間が長くなる

パスワードの作成

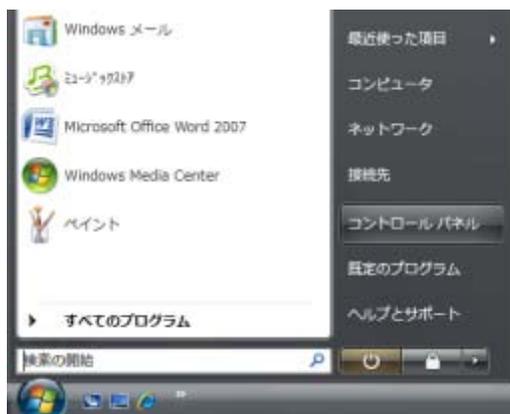
パスワードは、コンピュータを不正なアクセスから保護し、コンピュータ上の情報のプライバシーと安全性を保障する上で役立ちます。パスワードを設定するときの基本的なガイドラインとして、以下の項目を参照してください。

- 自分は覚えやすいが他人は推測しにくいパスワードを選択する
- 8文字以内でなるべく長いパスワード（最低6文字）にする
- アルファベット、数字、記号を組み合わせる
- 簡単に推測できる、個人情報を使用しない（誕生日、子どもの名前、電話番号など）
- コンピュータから離れた人目に触れない安全な場所に保管する場合を除いて、パスワードを書き留めない

ソフトウェアおよびハードウェア デバイスを追加するときのガイドライン

コンピュータを設定した後ソフトウェア プログラムまたはハードウェア デバイスを追加することもできます。以下の重要なガイドラインをお読みください。

- 追加する前に、Microsoftの[システム復元]プログラムを使って復元ポイントを作成します。
 - a タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
 - b [コントロール パネル]をクリックします。



- c [システムとメンテナンス]をクリックします。



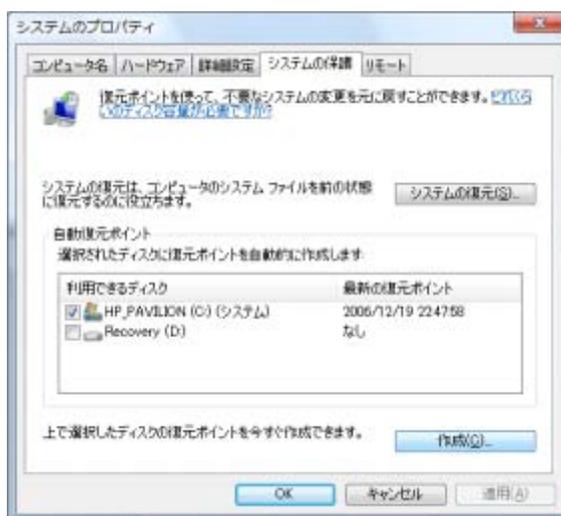
- d [バックアップと復元センター]をクリックします。



- e **[復元ポイントの作成または設定の変更]**をクリックします。



- f **[続行]**をクリックします。
g **[システムのプロパティ]**ウィンドウの**[システムの保護]**タブで、**[作成]**をクリックします。画面の説明に沿って操作します。



復元ポイントは、コンピュータ設定のスナップショットです。[システムの復元]を利用することにより、安定した設定を確保できていくことになります。[システムの復元]については、以下のMicrosoft Webサイトを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/>

- コンピュータに対応しているソフトウェアの選択：新しいソフトウェアが対応しているオペレーティング システム、メモリ、その他の要件を確認します。

- ソフトウェアの製造販売元が提供している説明に沿って操作し、新しいソフトウェアをインストールします。解決できない点がある場合は、製造販売元の説明書またはサポート窓口で確認してください。
- ウィルス対策ソフトウェアの場合は、既存のソフトウェア プログラムをアンインストールした後、再インストールまたは新しいウィルス対策ソフトウェアのインストールを実行します。

注：ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすることは違法行為であり、不安定な動作またはコンピュータのウィルス感染を招く危険性があります。

古いコンピュータから新しいコンピュータへの ファイルおよび設定の転送

CD、DVD、メモリ スティック、パーソナル メディア ドライブなどのメディアを使って、古いコンピュータから新しいコンピュータにファイルをコピーすることができます。また、Windows 転送ツール ソフトウェアを使って、Web ブラウザのお気に入りやアドレス帳などの特定の設定をコピーすることもできます。

詳しい情報を参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [ヘルプとサポート]をクリックします。



- 3 検索ボックスに「ファイルの転送」と入力します。



- 4 「別のコンピュータからファイルと設定を転送する」という記事をクリックします。この記事には、新しいコンピュータへのファイルの移動に関するMicrosoftの説明が記載されています。



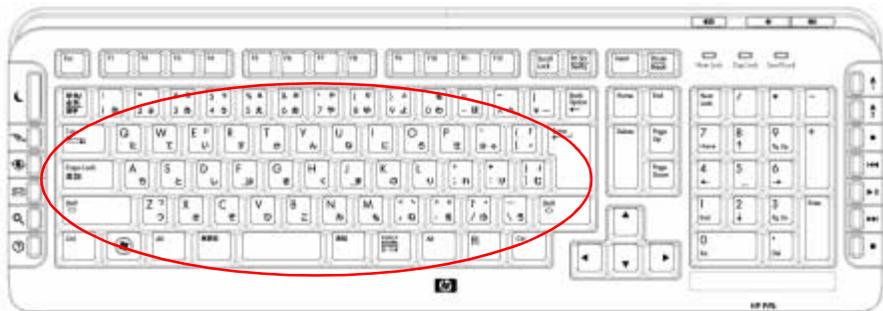
キーボードの使用

お使いのコンピュータには、標準キーボードまたは無線キーボードが付属しています。キーボードは、コンピュータに文字やコマンドを入力する主要な装置です。標準キーボードは、コンピュータの背面にあるキーボード コネクタに接続します。無線キーボード（一部のモデルのみ）は、コンピュータとの通信にコネクタ ケーブルでなく、受信機/送信機を利用します。受信機のランプは、受信機の動作を示します。

キーボード機能の説明

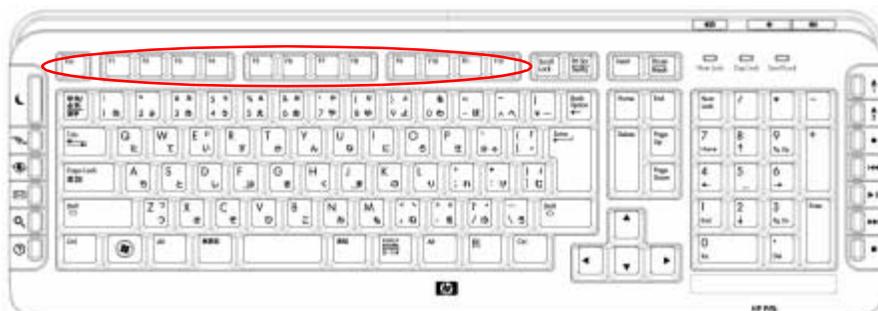
キーボードには、標準キー配列、インジケータ ランプ、および特殊ボタン（一部のモデルのみ）があります。お使いのキーボードが次の図と異なることもあります。

文字キー



文字キーは、文字入力に使用する標準的なキーです。

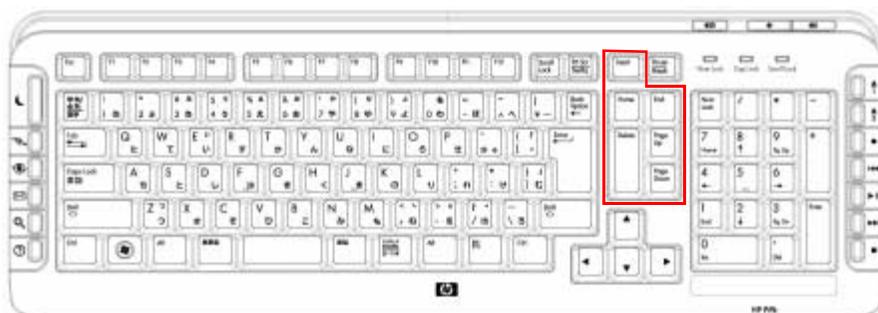
ファンクション キー



ファンクション キーは文字キーの上に配置されており、[F1]から[F12]まであります。多くのファンクション キー操作は、ソフトウェア プログラムごとに異なります。[F1]および[F3]は常に利用することができます。

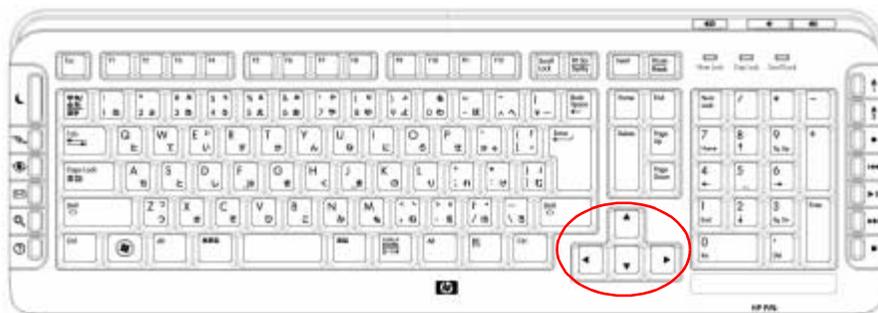
- [F1]を押すと、使用しているソフトウェア プログラムのヘルプ ウィンドウが表示されます。
- [F3]を押すと、検索ウィンドウが表示されます。

編集キー



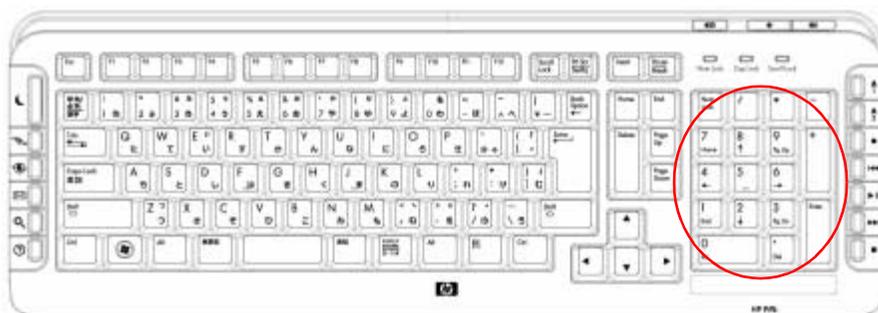
編集キーは、[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]、および[Page Down]キーです。これらのキーを使うと、文字を挿入または削除したり、画面上でカーソルをすばやく移動したりすることができます。編集キーの機能は、一部のソフトウェア プログラムでは異なります。

矢印キー



矢印キーは、上、下、右、左に移動するために使用します。Web ページ上、文書内、またはゲームの中で移動するときに、マウスではなくこれらのキーを使ってカーソルを移動できます。

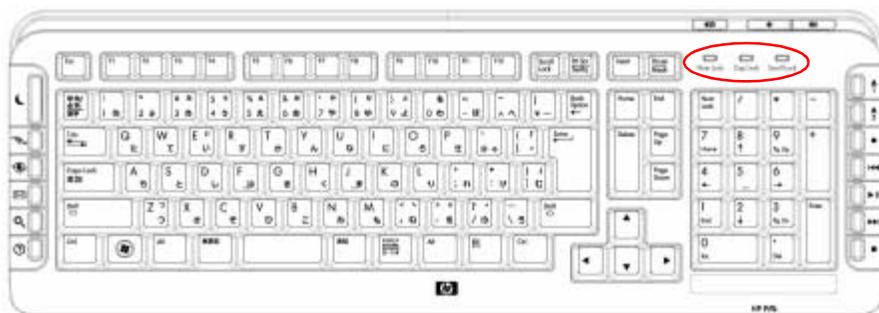
数値キー（テンキー）



テンキー機能を有効/無効にするには、[Num Lock]キーを押します。

- キーボードの[Num Lock]ランプが点灯している場合、テンキーを使用して通常の計算機の数字キーおよび演算キーと同じ機能を実行できます。
- キーボードの[Num Lock]ランプが消灯している場合、数値キーは方向キーとして、カーソルの移動やゲームのプレイに使用されます。

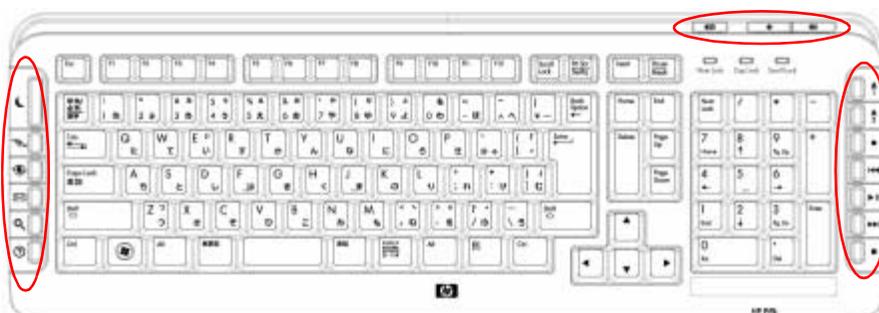
キーボード インジケータ



キーボード インジケータとは、キーボードの状態を示すランプおよび名前またはアイコンのことです。お使いのキーボードには、以下のアイコンまたは文字が印字されています。

アイコン	名前	説明
1	Num Lock	点灯している場合、テンキーが数字キーおよび演算キーとして機能します
A	Caps Lock	点灯している場合、文字キーでアルファベットを入力すると、大文字になります
↓	Scroll Lock	点灯している場合、スクロール機能が設定されています

特殊キーボード ボタン



キーボードの一番上には、特殊ボタンがあります（一部のモデルのみ）。これらのボタンは、コンピュータにインストールされているCDプレーヤまたはDVDプレーヤの操作、スピーカの音量の制御、インターネットへのアクセス、または、特定の機能へのすばやいアクセスを提供します。（一部のモデルのキーボードでは、メイン キーの左側にこれらの特殊ボタンの一部があったり、インターネット ボタンがなかったり、右上隅に異なる配置でボタンが置かれていたりする場合があります。）

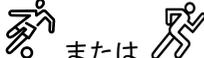
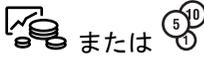
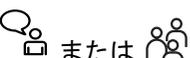
特殊キーボード ボタンの説明

お使いのキーボードに、ここで説明するボタンの一部がない場合もあります。

注：ボタンの数、場所、名称は、キーボードのモデルによって異なります。

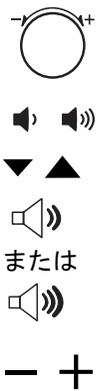
アクセス ボタン

アイコン	機能	説明
	スリープ	コンピュータの電源節約モードの切り替えを行います。画面が表示されるまで、10～30秒程度かかることがあります
 または Club	HP Club	HP Webサイトに移動します
 または 	インターネット	インターネット ブラウザを開きます。別のWebサイトまたはソフトウェア プログラムを開くように再設定できます
 または 	電子メール	電子メール プログラムを開きます。別のWebサイトまたはソフトウェア プログラムを開くように再設定できます
 または 	検索	インターネット検索用のページを開きます。別のWebサイトまたはソフトウェア プログラムを開くように再設定できます
 または 	情報	[Windowsヘルプとサポート]を開きます
	ユーザ	コンピュータのユーザを切り替えます
 または 	画像(写真)	画像ソフトウェア プログラムを開きます。別の機能に再設定できます
 または 	音楽	音楽ソフトウェア プログラムを開きます。別の機能に再設定できます

アイコン	機能	説明（続き）
	ビデオ	ビデオ ソフトウェア プログラムを開きます。別の機能に再設定できます
	電卓	電卓を開きます。別の機能に再設定できます
	ショッピング	
	スポーツ	
	ファイナンス	人気のあるWebサイトに移動します。別のサイトまたはソフトウェア プログラムを開くように再設定できます
	チャット	
	エンターテイメント	
	サービス	

メディア コントロール ボタンまたは再生ボタン

アイコン	ラベル	説明
	Eject 1および Eject 2	上下のオプティカルドライブ トレイを開閉します
	Rec	選択されたメディアに録音を開始します
	Stop	メディアを停止します
	Play/Pause	メディアを再生または一時停止します
	Prev	メディアを巻き戻します
	Next	メディアを早送りします

アイコン	ラベル	説明（続き）
	<p>Volume</p>	<p>音量のつまみは、スピーカの音量を制御します。スピーカの音量を上げるには右に回し、音量を下げるには左に回します</p> <p>注：音量のつまみは、最大音量に達した後も回転します</p> <p>音量上げボタンおよび音量下げボタンは、スピーカの音量を制御します。音量上げボタンを押すと音量が上がり、音量下げボタンを押すと音量が下がります</p>
	<p>Mute</p>	<p>スピーカのオン/オフを切り替えます</p>

キーボード ボタンのカスタマイズ

キーボードの特殊ボタンの一部は、別のプログラムやファイルを開いたり、お気に入りのWebサイトに移動したりするようにカスタマイズできます（一部のモデルのみ）。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[コントロール パネル]**をクリックします。
- 3 **[ハードウェアとサウンド]**がある場合は、それをクリックします。
- 4 **[キーボード]**をクリックします。
- 5 **[ボタン]**タブをクリックし、変更するボタンをダブルクリックします。
- 6 リストの右側の下向き矢印をクリックして、ボタンの機能を選択します（[Complex remote page with label]（ラベル付きの複雑なリモート ページ）、[Simple local file with label]（ラベル付きの簡単なローカル ファイル）など）。
- 7 表示ラベルとアドレス情報を入力します。Webページの場合は、URLを入力します。
- 8 **[OK]**をクリックします。
- 9 [ボタン]タブで**[適用]**をクリックします。
- 10 カスタマイズするボタンごとに、手順5～9を繰り返します。
- 11 **[OK]**をクリックして終了します。

注: すべてのボタンを購入時の設定に戻すには、**[既定値に戻す]**をクリックします。

キーボード ショートカット

キーボード ショートカットは、特定の操作を実行するために押すキーの組み合わせです。たとえば、Windows Vistaデスクトップで[Alt]キー、[Ctrl]キー、および[S]キー（文字のS）キーを押すと、コンピュータのサポート情報（モデル番号、シリアル番号、サービスIDなど）が表示されます。このキーの組み合わせは、[Alt] + [Ctrl] + [S]キーと記載されます。Windows Vistaでは、[Ctrl] + [C]キーを押すと、ハイライトまたは選択している項目がコピーされ、[Ctrl] + [V]キーを押すとコピーされた項目が貼り付けられ、[Ctrl] + [Z]キーを押すと前に実行した操作が取り消されます。ショートカットの機能はメニューから行う操作と同じですが、作業時間を節約でき、マウス クリックの回数が少なくて済みます。

マウスの使用

コンピュータには、Windows Vistaデスクトップ上のカーソル（ポインタ）を制御するためのマウスが付属しています。マウスは、回転ボールか光学技術（光とセンサ）を使って動きを感知し、画面上のカーソルを移動させます。マウスは平らな面で使用します。

注：光学式マウスは、ガラス製、半透明、または、反射する面の上では機能しません。

無線マウス（一部のモデルのみ）は、コンピュータとの通信にコネクタ ケーブルでなく、受信機/送信機を利用する光学式マウスです。受信機のランプは、受信機の動作を示します。

注：無線マウスは、20分間何も操作が行われないと、スリープ モードに入ります。通常モードに復帰させるには、マウスのボタンをクリックします。（無線マウスを動かすだけでは復帰しません。）

マウス ボタンの使用

マウスには、2つまたは3つのボタンが付いています。

- マウスの左ボタン（**A**）をクリックすると、カーソルを置いたり、項目を選択したりすることができます。
- マウスの右ボタン（**C**）をクリックすると、クリックした項目のコマンドのメニューが表示されます。
- 一部のモデルでは、縦と横のスクロール操作に中央のスクロール ホイール ボタン（**B**）を使用します。

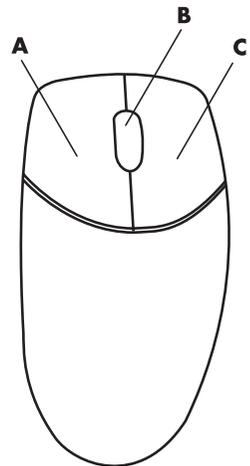
注：お使いのマウスの外観は、ここに記載したものと異なる場合があります。

マウスを使うには、次の用語を確認してください。

- 「クリック」は、マウスの左ボタンを1回押して離すことを意味します。
- 「ダブルクリック」は、マウスの左ボタンをクリックし、素早くもう一度クリックすることを意味します。
- 「右クリック」は、右ボタンを1回押して離すことを意味します。

項目を選択するには、その項目をクリックします。

リストやグループ内で連続した複数の項目を選択するには、リストの最初の項目をクリックした後、キーボードの[Shift]キーを押したまま、最後の項目をクリックします。



連続していない複数の項目を選択するには、リスト内で最初の項目をクリックした後、キーボードの[Ctrl]キーを押したまま、追加する項目をクリックします。

左手で使用する場合は、左と右のボタンの機能を入れ替えることができます。59ページの「マウス ボタン機能の入れ替え」を参照してください。

スクロール

マウスの左ボタンをクリックして文書内にカーソルを置いた後、以下の操作を行います。

- 文書の先頭に向かってスクロールするには、スクロール ホイールを上方向に（自分の体から離れた方向へ）回転させます。
- 文書の最後に向かってスクロールするには、スクロール ホイールを下方向に（自分の体の方向へ）回転させます。

自動スクロール

- 1 文書内のどこかにカーソルを置き、スクロール ホイール ボタンを1回押します。自動スクロール アイコン（右図参照）が表示されます。
- 2 スクロールしたい方向にマウスを動かします。開始地点から遠くまでマウスを移動するほど、文書が高速にスクロールします。
- 3 自動スクロールを中止するには、スクロール ホイール ボタンをもう一度押します。



注：自動スクロールは、一部のソフトウェア プログラムでは利用できません。

横スクロール

- 1 文書内のどこかにカーソルを置き、スクロール ホイール ボタンを押したままにします。
- 2 スクロールしたい方向（左右どちらか）にマウスをゆっくり動かします。開始地点から遠くまでマウスを移動するほど、文書が高速にスクロールします。
- 3 横スクロールを中止するには、スクロール ホイール ボタンを離します。

注：横スクロールは、ウィンドウで水平スクロール バーがアクティブな場合のみ機能します。横スクロールは、一部のソフトウェア プログラムでは利用できません。

マウス ボタン機能の入れ替え

左手で使用する場合に左と右のマウス ボタンの機能を入れ替えるには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [ハードウェアとサウンド]があれば、それをクリックします。
- 4 [マウス]をクリックします。
- 5 [ボタン]タブをクリックし、[主と副のボタンを切り替える]にチェックを入れます。
- 6 新しく主となったボタンを使用して、[適用]→[OK]の順にクリックします。

マウス ポインタの速度の変更

マウスの移動速度に対する画面上のカーソルの速度を変更するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [ハードウェアとサウンド]があれば、それをクリックします。
- 4 [マウス]をクリックします。
- 5 [ポインタ オプション]タブをクリックします。
- 6 [速度]領域のスライダのつまみを使ってポインタの速度を調整します。
- 7 [適用]→[OK]の順にクリックします。

コンピュータ ソフトウェアの使用

コンピュータの動作は、以下の2種類のソフトウェアによって制御されます。

- モニタにデスクトップの画像を表示し、コンピュータのハードウェア、周辺機器、およびソフトウェア プログラムを制御する、Windows Vistaオペレーティング システム
- 文書処理などの特定の機能を実行する、各ソフトウェア プログラム

コンピュータに付属するソフトウェア プログラムは、モデルおよび国/地域によって異なります。

ソフトウェアに関する詳細情報

ソフトウェアの使用法およびWindows Vistaオペレーティング システムに関する情報は、このガイドと画面上のヘルプで調べることができます。Windows Vistaについては、オペレーティング システムに組み込まれている[Windowsヘルプとサポート]を開いて調べることもできます。

- キーボードのヘルプ ボタン（疑問符マークが付いています）を押します（一部のモデルのみ）。

または

- タスクバーにあるスタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。

特定のソフトウェアについては、プログラム内の画面のヘルプを参照してください。

デスクトップの使用

「デスクトップ」は、モニタ画面に表示される作業領域です。デスクトップには、1辺にタスクバーがあり、また、必要なものを簡単に見つけることができるショートカット アイコンがあります。

タスクバーには、スタート ボタン、開いている各ウィンドウのボタン（プログラム間の切り替えが可能）、および、時計が含まれる通知領域があります。

「ショートカット アイコン」は小さな画像として表示され、クリックすると、フォルダを開いたり、プログラムを起動したりすることができます。ごみ箱は特別な機能を持つデスクトップ アイコンで、ユーザが削除したファイルやショートカットが集められています。ごみ箱を空にすると、ファイルやショートカットが完全に削除されます。空にするまでは、ごみ箱内の項目を元の場所に戻すことができます。

デスクトップ アイコンの削除

大部分のデスクトップ アイコンは、削除操作によって削除することができます。デスクトップ アイコンを削除するには、以下の手順で操作します。

- 1 デスクトップ上の削除したいアイコンを右クリックします。
- 2 **[削除]**をクリックします。

デスクトップ アイコンの復元

- 1 デスクトップにある**[ごみ箱]**を開きます。
- 2 復元したいアイコンをデスクトップまでドラッグしてドロップします。

スタート ボタン メニューの使用

タスクバーにあるスタート ボタンをクリックし、[スタート]メニューを開きます。[スタート]メニューから、以下の操作を実行できます。

- プログラムまたは文書を開く。
- [Windowsヘルプとサポート]を開く。
- 検索を開始する。
- プログラムを実行する。
- [コントロール パネル]を開いて、設定を表示または変更する。

[すべてのプログラム]メニューの使用

コンピュータ上のソフトウェア プログラムを見つけるには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。

[すべてのプログラム]メニューには、タスクに従って整理されたフォルダ リストが表示されます（一部のモデルのみ）。

フォルダには、項目のリストがあります。各項目は、実際にはプログラム、文書、他のフォルダへのショートカット、またはリンクです。たとえば、[音楽]フォルダには、ユーザが音楽CDの再生に使用しているプログラムのショートカットが入っています。

[すべてのプログラム]リストの整理

項目の名前を変更するには、以下の手順で操作します。

- 1 項目を右クリックします。
- 2 **[名前の変更]**をクリックします。
- 3 新しい名前を入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。
- 4 表示されたメッセージで**[はい]**をクリックします。

項目をコピーするには、以下の手順で操作します。

- 1 項目を右クリックします。
- 2 **[コピー]**をクリックします。
- 3 デスクトップまたはフォルダに移動し、空の領域で右クリックしてから、**[貼り付け]**をクリックします。

[コントロール パネル]の[プログラムの追加と削除]を使ってソフトウェア プログラムを削除した場合、[すべてのプログラム]内のショートカットは削除されないことがあります。ショートカットを削除するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**スタート ボタン**をクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 フォルダをクリックします。
- 4 ショートカットを右クリックし、**[削除]**をクリックします。

[コントロール パネル]の使用

[コントロール パネル]は、モニタ、キーボード、マウス、モデム、ネットワーク接続、およびコンピュータのその他のコンポーネントと機能に対し、プロパティおよび設定を指定/変更できる領域です。また、システムのパフォーマンスの変更、ハードウェアの追加、プログラムの追加または削除、その他のタスクを実行するためのツールも提供しています。

[コントロール パネル]を開くには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**スタート ボタン**をクリックします。
- 2 **[コントロール パネル]**をクリックします。

ウィンドウのサイズ変更

すべてのウィンドウには、右上隅に3つのボタンがあります。中央のボタンは、ウィンドウの状態に応じて、[最大化]ボタンか[元に戻す（縮小）]ボタンかのどちらかになります。



機能	名前	説明
	最小化	ウィンドウは最小化されタスクバーに格納されます（ウィンドウは終了されません）。ウィンドウを元のように表示するには、ウィンドウの名前が付いているタスクバー ボタンをクリックします
	最大化	ウィンドウを全画面サイズに広げます
	元に戻す (縮小)	全画面サイズからウィンドウを小さくし、ウィンドウが画面の一部のみを占めるようにします
	閉じる	ウィンドウを閉じ、プログラムまたはタスクを中止します
	サイズ変更	ウィンドウのサイズを変更します。（ウィンドウが最大化されている場合は使用できません。）ウィンドウの境界にマウスカーソルを移動して、カーソルが2方向を向いた矢印に変わるようにします。マウスの左ボタンをクリックして押したままにします。幅を変更するには、境界を左または右にドラッグします。高さを変更するには、境界を上または下にドラッグします
	スクロール バー	情報が画面領域に収まらない場合、ウィンドウにスクロールバーが表示されます。垂直スクロールバーをクリックしてドラッグすると、画面が上下に移動します。水平スクロールバーをクリックしてドラッグすると、画面が左右に移動します

デジタル画像の操作

デジタルカメラやデジタルビデオカメラなどのデジタル画像ソースを、直接またはカメラに付属のドッキングステーションなどを介してコンピュータに接続することができます。デバイスからコピーまたはダウンロードしたデジタル画像ファイルは、[ピクチャ]フォルダに表示されます。

デジタルカメラやその他のデジタル画像装置は、メモリカードまたはメディアを使用してデジタル画像ファイルを保存します。メモリカードリーダーを使うことにより、デジタルカメラやその他のデジタル画像装置で使用したメモリカードから、デジタル画像ファイルをコピーできます（一部のモデルのみ）。

インターネットについて

ここでは、Webブラウザおよび電子メールの使用方法を含め、インターネットへの接続とその使用方法について説明します。

インターネットを利用すると、Web上の情報やサービスを検索したり、電子メールのメッセージを受信して読んだり、送信したりすることができます。

「インターネット」は、電話回線、デジタルサービス、ケーブル回線を通して互いに通信する、コンピュータのグループです。個々のインターネットコンピュータは独立しており、インターネットユーザに公開するファイルをコンピュータの操作者が選択します。コンピュータをインターネットに接続し、情報とサービスを利用できるようにするには、インターネットサービスプロバイダ（ISP）が必要です。

ISPは、インターネットへのアクセスをユーザに提供している企業であり、その多くは電子メールサービスを提供しています。通常、ISPは、サービスに月額料金を課しています。コンピュータがインターネットに接続する場合、実際にはコンピュータはISPに属するインターネットコンピュータと通信しています。ISPは、ユーザのアカウントを確認した後、ユーザがインターネットにアクセスできるようにします。Webサイトの情報を検索し表示するには、Webブラウザプログラムを使います。一部のISPは、ユーザがブラウザプログラムを選択できるようにしていますが、独自のブラウザを提供しているISPもあります。

ISPへの接続は、従来のダイヤルアップモデム、ローカルエリアネットワーク（LAN）、デジタル加入者回線（DSL）、非対称デジタル加入者回線（ADSL）などを経由します。（DSL、ADSL、ケーブル接続のISPは、国/地域によっては利用できない場合があります。）

WWW（World Wide Web）は、Webとも呼ばれ、個人、企業、政府、組織によって使用されるインターネットの公開された領域です。個人やグループが何百万ものWebサイトを作成し、自分たちの活動に生かしています。Webサイトは、1ページ以上のWebページから構成されています。Webページは、ユーザがファイルの場所、またはURL（Uniform Resource Locator）を入力することによってアクセスできる、ファイルまたはファイルの集合です。

URLは、Webサイトの場所を識別し、通常、`http://www.名前.拡張子/`という形式です（たとえば、**`http://www.hp.com/`**）。URLには、サイト内の特定のファイルのパスを含めることもできます。URLの各ピリオド（ドット）は、アドレス内の要素を区切っています。たとえば、URLに「.com」が付いている場合は、企業（company）によって使用されています。URLをブラウザのアドレスボックスに入力し、キーボードの[Enter]キーを押すと、ブラウザはその場所にアクセスし、Webページをユーザに表示します。

新聞を読んでいると想像してください。第1面で「関連記事は、3面下段」と目にしたとします。続きを読むためには、ページをめくるでしょう。Webページに置かれた「ハイパーリンク」は、これと同様の働きをします。ただし、この場合はハイパーリンクをクリックすることによって、新しいページに移動します。ハイパーリンクがファイル同士をリンクする方法、これがWebの名前の由来です。ハイパーリンクによってWeb（くもの巣）が張り巡らされ、世界中のアイデアを結び付けられるからです。

「電子メール アドレス」は、誰かからユーザに電子メールを送信できる電子的な私書箱の宛先です。電子メール アドレスの形式は、「名前@ドメイン.拡張子」です。通常、「ドメイン」の部分は、ISPまたは組織の名前です。「拡張子」の部分は、組織の種類を表します。たとえば、名前がJane Jonesで、ISPがXYZの場合、電子メールアドレスはJaneJones@xyz.comになる可能性があります。「.com」は、XYZが企業であることを意味します。電子メールの使用方法については、68ページの「電子メールの送受信」を参照してください。

ブラウザの使用

Webブラウザ プログラムは、Webサイトの情報を検索し、表示します。インターネットを探索する方法は、ISPがブラウザを用意しているか、ユーザ自身が選択できるようにしているかによって異なります。

インターネットに接続すると、ブラウザにホームページが表示されます。別のWebサイトに移動することもできます。これを行うには、ブラウザのアドレスボックスにアドレス（`http://www.hp.com/`など）を入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。または、ブラウザの検索機能を使い、Web上で特定の単語またはフレーズを検索してみることもできます。

インターネットの検索

大部分のWebブラウザプログラムには、検索機能があります。検索機能を表示するために、ブラウザプログラムの種類によっては、ボタンをクリックするか、メニュー オプションを選択する必要があります。質問、または探したい情報を表す単語を検索ボックスに入力し、[Enter]キーを押します。

Windowsの検索機能は、一部でInternet Explorerの検索をそのまま使用します。

注：ISPがブラウザを提供している場合、インターネットの検索にInternet Explorerを使用できないことがあります。

検索を開始するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 単語または質問を入力します。入力した内容が自動的に検索ボックスに表示されます。入力すると、検索結果が左側の枠内に表示されます。
- 3 以下のどれかを実行します。
 - 結果を開くには、それをクリックします。
 - 検索結果を消去し、プログラムのメイン リストに戻るには、**[X]**をクリックします。
 - 詳細な項目のフォルダを表示するには、**[コンピュータの検索]**をクリックします。
 - ブラウザを開いてインターネットを検索するには、**[インターネットの検索]**をクリックします。

インターネット コンテンツの制限

インターネットは多様な情報を提供していますが、情報によっては全利用者に適していないものもあります。コンテンツ アドバイザ (Internet Explorerの機能) を使うと、以下のことを実行できます。

- パスワードの設定
- インターネット アクセスの制御
- コンピュータを使用するユーザが表示できないWebサイト リストの作成
- コンピュータ ユーザが許可を得て表示できるコンテンツと許可なく表示できるコンテンツの種類の調整

コンテンツ アドバイザで規制レベルを設定した場合、ユーザは、承認するよう設定されたWebサイトおよびその他のページを表示できます。しかし、規制されていないWebサイトまたはWebページを表示するには、設定済みのコンテンツ アドバイザのパスワードを入力する必要があります。このため、ユーザがパスワードを知らない場合、規制されていないページ（ヘルプとサポートやInternet Explorerであっても）はどれも表示できません。規制されていないサイトまたは承認したページへのアクセスを許可し、それらを開くには、パスワード ウィンドウが表示されたときに[このWebサイトを常に表示する]、[このWebページを常に表示する]、または[今回のみ表示する]オプションを選択します。

コンテンツ アドバイザを有効にするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [Internet Explorer]をクリックします。
- 4 [ツール]→[インターネット オプション]の順にクリックします。
- 5 [コンテンツ]タブをクリックします。
- 6 [コンテンツ アドバイザ]領域で、[有効にする]をクリックします。
- 7 [全般]タブをクリックし、[パスワードの作成]をクリックしてから、パスワードを入力します。
- 8 [OK]をクリックし、もう一度[OK]をクリックします。

電子メールの送受信

電子メールでは、文字、写真、はがき、さらに音楽やビデオ クリップを送受信することができます。

注：電子メールのメッセージ本体または添付ファイルには、ウィルスが含まれることがあります。コンピュータを保護するため、見覚えのない宛先からのメッセージや怪しそうなメッセージは開かないでください。こうしたメッセージは開かずに削除してください。

お使いのコンピュータには、Windows メールというMicrosoft提供の電子メール プログラムが含まれています（一部のモデルのみ）。また、他社が提供する電子メール プログラムを使用することもできます。一部のISPは、独自の電子メール プログラムを提供しています。電子メール プログラムを使うと、メッセージを送受信したり、整理したりすることができます。オフライン（インターネットに接続していない）時であっても、新しいメッセージを整理、閲覧、作成することができます。

Windowsメールの使用

Windowsメールを設定するには、ISPからの情報が必要です。電子メール アドレス、ユーザ名、パスワード、受信および送信電子メール サーバの名前、場合によってはその他の詳細情報が必要です。

Windowsメールを初めて起動する場合は、コンピュータがインターネットに接続されていることを確認し、ウィザードの説明に沿って操作してアカウントを設定します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[Windowsメール]**をクリックします。

Windowsメールにアカウントを追加するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[Windowsメール]**をクリックします。
- 4 **[ツール]→[アカウント]**の順にクリックします。
- 5 **[追加]→[電子メール アカウント]→[次へ]**の順にクリックします。
- 6 画面の説明に沿って操作し、アカウントを追加します。

ISPが提供する電子メール プログラムの使用

ISPが提供している説明に沿って操作し、Webブラウザおよび電子メール プログラムをインストールし、自分の電子メール アカウントを設定して使用します。コンピュータがISPに接続しているときに、電子メールを送受信できるようになります。

ファイルの管理

ファイルは、情報の単位であり、コンピュータのハードディスクドライブまたはその他の電子記憶メディア（たとえば、CDやデジタルカメラ）に名前付きで保存されます。ファイルには、アプリケーションプログラム、画像、音楽またはサウンド、文書、またはデータが含まれます。コンピュータ上で実行する作業のほとんどすべては、ファイルの操作を伴います。

コンピュータはメモリカード、CD、DVDなど、コンポーネントドライブ内の他の記憶メディアにファイルをコピーすることができます。また、プリンタなどの出力デバイスにファイルを送信することもできます。

フォルダを使ったファイルの整理

Windows Vistaでは、フォルダを使ってコンピュータ上のファイルを整理することができます。紙のファイルフォルダと同様に、コンピュータ上のフォルダは関係するファイル同士をグループ化する役目をします。

フォルダにはあらゆる種類のファイルを含めることができ、さらに他のフォルダを含めることもできます。1つのフォルダ内の各ファイルには個別の名前を付ける必要がありますが、2つの異なるフォルダには同じ名前のファイルがあってもかまいません。

コンピュータ上のファイルとフォルダを操作する方法は、次の2通りあります。

- [コンピュータ]ビューを使うと、コンピュータ上の特定のフォルダ内にあるすべてのファイルとフォルダをすばやく確認できます。ここには、コピー、移動、削除、名前の変更など、一般的なファイル管理作業へのリンクも含まれます。

[コンピュータ]ビューを開くには、タスクバーにあるスタートボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。

- Windowsエクスプローラを使うと、コンピュータ上のすべてのフォルダとファイルをすばやく確認できます。また、あるフォルダから別のフォルダへのファイルの移動やコピーを簡単に行えます。

Windowsエクスプローラを開くには、タスクバーにあるスタートボタンを右クリックしてから、[エクスプローラ]をクリックします。

[コンピュータ]ビューおよびWindowsエクスプローラビュー内を移動するには、フォルダをダブルクリックします。フォルダの中身が開き、表示されます。

[戻る]矢印ボタンをクリックすると、それまで開いてきたフォルダをさかのぼることができます。

フォルダの作成

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
または
タスクバーにあるスタート ボタンを右クリックしてから、[エクスプローラ]をクリックします。
- 2 新しいフォルダを作成する場所に移動します。
- 3 [整理]→[新しいフォルダ]の順にクリックします。
- 4 フォルダの名前を入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

ファイルの移動



注意：インストールされたプログラムに含まれるファイルは移動しないでください。プログラムが使用できなくなる可能性があります。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
または
タスクバーにあるスタート ボタンを右クリックしてから、[エクスプローラ]をクリックします。
- 2 移動するファイルを見つけ、クリックして選択します。
- 3 [整理]→[切り取り]の順にクリックします。
- 4 ファイルを置くフォルダを見つけて開きます。
- 5 [整理]→[貼り付け]の順にクリックします。

注：ファイルを新しい場所までドラッグして移動することもできます。(同時に2つ以上、Windowsエクスプローラ ウィンドウを開くことができます。)[コンピュータ]ビューまたはWindowsエクスプローラで項目を選択し、右ボタンを押しながら、項目を別のフォルダに移動します。マウス ボタンを放し、[ここに移動]をクリックして新しい場所にその項目を置きます。

ファイルの検索

ファイルを検索するには、すべてのフォルダの一番上にある検索ボックスか、スタート ボタン メニューの検索ボックスを利用します。後者では、コンピュータ全体が検索されます。

フォルダの検索ボックスから検索するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
または
タスクバーにあるスタート ボタンを右クリックしてから、[エクスプローラ]をクリックします。
- 2 検索するフォルダを見つけます。現在のフォルダとすべてのサブフォルダが検索されます。
- 3 ウィンドウの一番上の検索ボックスをクリックし、入力を開始します。
入力した内容に応じて、検索ボックスから検索されます。条件がファイル名、タグ、その他のファイル プロパティと一致した場合は、ファイルが表示されます。条件が文書ファイル内のテキストに含まれている場合は、テキスト文書が表示されます。

スタート ボタン メニューから検索するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 単語または質問を入力します。入力した内容が自動的に検索ボックスに表示されます。入力すると、検索結果が左側の枠内に表示されます。
- 3 以下のどれかを実行します。
 - 結果を開くには、その項目をクリックします。
 - 検索結果を消去し、プログラムのメイン リストに戻るには、[X]をクリックします。
 - 詳しい項目のフォルダを表示するには、[検索結果をすべて表示]をクリックします。
 - ブラウザを開いてインターネットを検索するには、[インターネットの検索]をクリックします。

ファイル名の変更



注意：ファイル名の拡張子（ファイル名末尾のピリオドの後ろの3文字）を変更しないでください。拡張子を変更すると、コンピュータがファイルの種類を認識できなくなる可能性があります。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
または
タスクバーにあるスタート ボタンを右クリックし、[エクスプローラ]をクリックします。
- 2 名前を変更するファイルまたはフォルダを見つけ、クリックして選択します。
- 3 **[整理]**→**[名前の変更]**の順にクリックします。
- 4 新しい名前を入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

注：ファイルを右クリックしてから**[名前の変更]**をクリックすることでも、ファイル名を変更できます。

ファイルの削除



注意：インストールされたプログラムに含まれるファイルを削除しないでください。プログラムが使用できなくなる可能性があります。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
または
タスクバーにあるスタート ボタンを右クリックし、[エクスプローラ]をクリックします。
- 2 削除するファイルを見つけ、クリックして選択します。
- 3 **[整理]**→**[削除]**の順にクリックします。
- 4 ファイルを削除し、ごみ箱に送るには、**[はい]**をクリックします。

間違えて削除したファイルを元に戻す必要がある場合は、75ページの「ごみ箱からのファイルの回復」を参照してください。

注：ファイルを右クリックしてから**[削除]**をクリックすることでも、ファイルを削除できます。

ごみ箱からのファイルの回復

削除したファイルが必要なことに気付いた場合、通常、ごみ箱から元の場所に戻すことができます。ファイルを削除した場合、ファイルはごみ箱に移動します。ごみ箱が手動で空にされるまで、または、新しく削除したファイルのための場所を空けるためにファイルが消去されるまで、ごみ箱内に置かれます。

- 1 デスクトップにある**[ごみ箱]**をダブルクリックします。
- 2 元に戻すファイルを見つけ、クリックして選択します。
- 3 **[この項目を元に戻す]**をクリックします。
ファイルがごみ箱から移動され、元の場所に戻ります。

ファイルのコピー

- 1 タスクバーにある**スタート ボタン**→**[コンピュータ]**の順にクリックします。
または
タスクバーにある**スタート ボタン**を右クリックしてから、**[エクスプローラ]**をクリックします。
- 2 コピーするファイルを見つけ、クリックして選択します。
- 3 **[整理]**→**[コピー]**の順にクリックします。
- 4 ファイルを置くフォルダを見つけて開きます。
- 5 **[整理]**→**[貼り付け]**の順にクリックします。

注：ファイルを新しい場所までドラッグしてファイルをコピーすることもできます。**[コンピュータ]**ビューまたはWindowsエクスプローラで項目を選択し、右ボタンを押しながら、項目を別のフォルダに移動します。マウス ボタンを放し、**[ここにコピー]**をクリックして新しい場所に項目をコピーします。

プリンタの使用

プリンタの接続方法と使用方法については、プリンタに付属の説明書を参照してください。

プリンタは、プリンタドライバと呼ばれるソフトウェアプログラムを介して、コンピュータから指示を受け取ります。多くの場合、コンピュータと連携する特定のプリンタに必要なプリンタドライバを、コンピュータが自動的に見つけます。これが行われなかった場合、プリンタに付属の説明書の記述に沿って操作し、特定のプリンタドライバを手動でインストールします。

プリンタがコンピュータに接続され、かつ、プリンタに必要なソフトウェアがコンピュータにインストールされている場合、多くのソフトウェアプログラムおよびWebサイトから、テキストや画像を印刷することができます。

印刷するには、以下の手順で操作します。

- 1 プログラムメニューバーで[ファイル]→[印刷]の順にクリックします。
- 2 印刷オプションを選択します。
 - プリンタを選択します。
 - ページ範囲を選択します（たとえば、すべてのページ、現在のページ、またはページ範囲）。
 - 部数を決定します。
 - 範囲内のすべてのページ、奇数ページ、または偶数ページを印刷するか指定します。
- 3 [OK]または[印刷]をクリックします。

メモリ カード リーダーの使用

デジタル カメラおよびその他のデジタル画像デバイスは、デジタル画像ファイルの保存にメモリ カードまたはメディアを使用します。オプションのメモリ カードリーダー（一部のモデルのみ）は、さまざまな種類のメモリ カードおよびIBM Microdriveに読み書きすることができます。

カードリーダーには、コンピュータ前面から直接アクセスできます。カードリーダーには、メモリ カードおよびMicrodriveを収容する、4個または2個の横向きのカード スロットがあります。

1つ以上のカード スロットにメディアを挿入し、各メディアを個別に使用することができます。各スロットには、一度に1つのメディアのみ取り付けられます。

各カード スロットには、固有のドライブ文字とアイコンがあります。メディアを挿入すると、表示される名前がメディアのタイトルに変わる可能性があります（タイトルがある場合）。

メディアを挿入すると、[ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウが表示される可能性があります。このウィンドウが表示された場合、または、間違えてこのウィンドウを開いてしまった場合は、**[閉じる]**をクリックします。



注意: USB大容量記憶装置が選択された状態では、[ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウで**[停止]**をクリックしないでください。これを実行した場合、メモリ カードリーダーがオペレーティング システムから認識されなくなり、メモリ カードリーダーを再び表示するためにコンピュータを再起動する必要が生じます。

- 1 メディアをカード スロットに完全に挿入します。

メモリ カード リーダーの動作ランプ (A : 78ページおよび80ページの図を参照してください) が点灯し、コンピュータが自動的にメディアを検出します。

注：メディアを正しく挿入する必要があります。メディアの角が切れている方向に注意してください。詳しくは、78ページの「メディア挿入ガイド」を参照してください。CompactFlashおよびMicrodriveは、誤った方向で挿入できない形になっています。このメディアの端子側をスロットに向けて挿入します。

- 2 [自動再生]ウィンドウが開きます。ファイルにアクセスするプログラムを選択します。プログラムが起動し、メディアの内容にアクセスできるようになります。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。

または

[自動再生]ウィンドウが開かない場合、タスクバーにあるスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックしてから、[メモリ カード]アイコンをダブルクリックし、メモリ カード上のファイルを表示します。

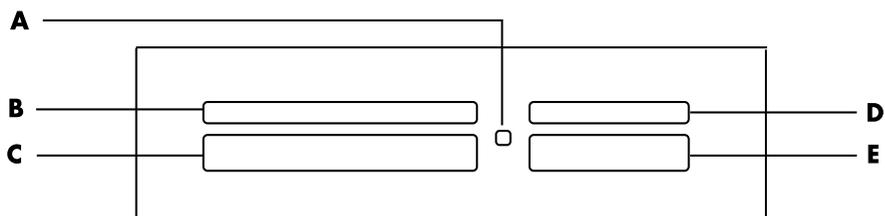
- 3 終了後、ドライブ アイコンを右クリックして[取り出し]をクリックし、動作ランプが点滅ではなく点灯していることを確認してから、メディアを取り出します。動作ランプが点灯している（点滅していない）状態は、コンピュータがメモリ カードの読み書きを行っていないことを示します。



注意：動作ランプの点滅時にメディアを取り出さないでください。これを行うと、データが失われる可能性があります。

メディア挿入ガイド

4スロット メモリ カード リーダー（一部のモデルのみ）



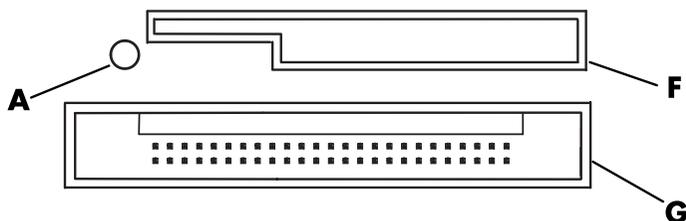
- A 動作ランプ
- B 左上のスロット
- C 左下のスロット
- D 右上のスロット
- E 右下のスロット

カード	メディアの挿入方向	挿入するスロット
SM (SmartMedia) メモリ カード	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	B (左上) 
xDメディア	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	B (左上) 
CompactFlash Type Iメディア	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	C (左下)
CompactFlash Type IIメディア	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	C (左下)
IBM Microdrive	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	C (左下)
SD (Secure Digital) メモリ カード	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
MiniSD (Mini Secure Digital) メモリ カード*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
マルチメディア カード (MMC)	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
Reduced Sizeマルチメディア カード (RSMMC)*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
マルチメディア カード プラス (MMC+)*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
マルチメディア カード モバイル (MMC Mobile)*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	D (右上) 
メモリ スティック (MS)	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	E (右下) 
メモリ スティックPRO (MS-PRO)	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	E (右下) 
メモリ スティックPRO Duo (MS-PRO Duo)*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	E (右下) 
メモリ スティックDuo (MS-Duo)*	ラベルの面を上 (金色の端子を下に向ける)	E (右下) 

*一部のモデルのみ。利用できない国/地域もあります。

注：CF Ultra/IIIなどの一部のメモリカードは、お使いのコンピュータに付属のメモリカードリーダーに対応していません。

2スロット メモリカードリーダー（一部のモデルのみ）



- A** 動作ランプ
- F** 上のスロット
- G** 下のスロット

カード	メディアの挿入方向	挿入するスロット
SD (Secure Digital) メモリカード	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
マルチメディアカード (MMC)	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
メモリスティック (MS)	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
メモリスティックPRO (MS-PRO)	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
SM (SmartMedia) メモリカード	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
xDメディア	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	F (上) 
IBM Microdrive	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	G (下)
CompactFlash Type I メディア	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	G (下)
CompactFlash Type II メディア	ラベルの面を上（金色の端子を下に向ける）	G (下)

注：メモリカードリーダーでSmartMediaとxDメディアを同時に使用しないでください。最初に挿入されたメディアだけがメモリカードリーダーに認識されません。

動作ランプについて

メモリカードリーダーの動作ランプは、メディアカードが1枚もスロットに差し込まれていない時は消灯しています。

メディアカードがスロットに挿入されると、ランプは点灯します。

カードとコンピュータの間でデータが転送されているとき、ランプは点滅します。

メモリカードのフォーマット

未使用のメモリカードを使用する場合、または、カードが破損した場合、カードを使用する前にフォーマットする必要があることがあります。

注：一部のメモリカードには、ロック機能があります。写真を表示または編集するには、メモリカードのロックが解除されていることを確認します。

- 1 デジタルカメラでメモリカードをフォーマットします。デジタルカメラの説明書に沿って操作します。
または
所定の位置に固定されるまで、メディアをリーダーの正しいカードスロットにしっかりと差し込みます。メモリカードリーダーの動作ランプが点灯し、コンピュータが自動的にメディアを検出します。
- 2 タスクバーにあるスタートボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。
- 3 [リムーバブル記憶域があるデバイス]領域で、正しいメモリカードアイコンを右クリックします。
- 4 [フォーマット]を選択し、名前をラベルボックスに入力します。
- 5 互換性を高くするには、ファイルシステム設定として[FAT]を選択します。
- 6 [開始]をクリックします。
- 7 [フォーマットを完了しました]ウィンドウで[OK]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

メモリ カード リーダーのトラブルシューティング

メモリ カードの読み取りや書き込みで問題が発生した場合は、以下を試してください。

- 一部のカードには、読み取り/書き込みスイッチまたはセキュリティ スイッチが付いています。データをカードに書き込む前に、書き込みが許可されるように読み取り/書き込みスイッチが設定されていることを確認します。
- 保存しようとするデータ量がメモリ カードの記憶容量の上限を超えていないことを確認します。
- メモリ カードが、リーダーでサポートされている種類であることを確認します。サポートされている種類は、CompactFlash Type IおよびII、Microdrive、メモリ スティック、メモリ スティック PRO、マルチメディア カード、Secure Digital、SmartMedia、およびxDメディアです。
- メモリ カードが正しいスロットにしっかりと挿入されていることを確認します。
- 動作ランプが点滅していないときにメモリ カードを取り出し、空のスロットを懐中電灯で照らします。ピンのどれかが曲がっている場合は、メモリ カード リーダーを交換します。ピンが他のピンに触れている場合は、コンピュータを修理します。少し曲がったピンをまっすぐにするには、コンピュータの電源を切った状態で、芯を引っ込めた細いボールペンの先端を使用します。
- 接続の障害になっているものがないか、メモリ カードの端子を調べます。毛羽立たない布に少量のアルコールを含ませて、接触部分を拭きます。必要に応じて、メモリ カードを交換します。
- メモリ カード リーダーは、[ハードウェアの安全な取り外し]タスクを使用するデバイスです。これは、タスクバー アイコンとして時計の隣に表示されます。[ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウで[停止]をクリックしないでください。これをクリックした場合、ドライブの接続が切断されます。接続が切断された場合は、コンピュータを再起動してください。
- 動作ランプの点滅時にメモリ カードを挿入したり取り外したりしないでください。これらを実行した場合、データが失われたり、カード リーダーに回復不能な損傷を与えたりする可能性があります。
- メモリ カードを使用する前に、メモリ カードをフォーマットします。81ページの「メモリ カードのフォーマット」を参照してください。

スタート ガイド

スピーカまたはマイクの接続

注：さらに詳しい情報については、次のHPサポートWebサイトにある、お使いの製品のスピーカおよびサウンド オプションの設定に関する情報を参照してください。

<http://www.hp.com/support/>

スピーカの使用

スピーカはモニタに装備されている場合（一部のモデルのみ）もありますが、別売の場合もあります。ステレオ スピーカをコンピュータに接続する方法については、『かんたんスタート ガイド』を参照してください。

注：スピーカの種類にはパッシブ（電源ボタンや電源コードがない）またはアクティブ（電源ボタンまたは電源コードがある）があります。お使いのコンピュータでは、アクティブ（電源のある）スピーカ システムのみサポートします。つまり、スピーカ システムに電源コードが必要です。

ステレオ スピーカとは、左右の2チャンネルのスピーカ システムのことです。マルチチャンネルのオーディオ スピーカ システムは3チャンネル以上のシステムであり、サブウーファがある場合もあります。たとえば、6スピーカ モードとして知られる5.1チャンネルは、2つのフロント スピーカ（左右）、2つのリア スピーカ（左右）、センター スピーカおよびサブウーファがあります。

コンピュータにマルチチャンネル オーディオ スピーカの機能がある場合（一部のモデルのみ）、4つのスピーカ出力に4チャンネル、または5.1スピーカ出力に6チャンネルを接続できます。

スピーカ システムをコンピュータに接続し、サウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。

サウンド コネクタの種類

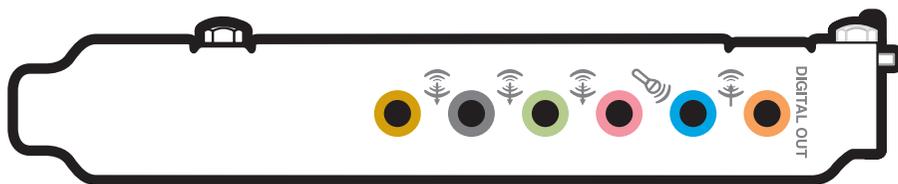
お使いのモデルには、コンピュータの背面に以下の3種類のアナログ サウンド コネクタのうちの1つが装備されています。

- 3コネクタ
- 6コネクタ
- サウンド カード

コネクタは、コンピュータの背面からスピーカやマイクに接続する3.5 mmのステレオ ミニ コネクタです。

システムには別のデジタル出力接続がある場合もあります（一部のモデルのみ）。ソフトウェア設定は、手順に書かれているように、コネクタの種類によって異なります。

サウンド コネクタ	図	種類
3コネクタ お使いのモデルのコンピュータには3つのサウンド コネクタがあります。最大5.1オーディオ システムまでをコンピュータに接続できます		3
6コネクタ お使いのモデルのコンピュータには、背面に6つのサウンド コネクタがあります。最大7.1オーディオ システムまでをコンピュータに接続できます		6
サウンド カード コネクタ コンピュータにサウンド カードが取り付けられている場合があります。コンピュータのサウンド カードには、最大5.1オーディオ システム（一部のモデルのみ7.1オーディオ システム）または、デジタルスピーカを接続できます	以下の図を参照してください。	5



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

取り付け手順に書かれているように、ケーブルの取り付け時には、お使いのモデルのコンピュータに合ったサウンド コネクタを使用してください。

次の表に、コンピュータ システムの背面にあるサウンド コネクタを示します。

サウンド コネクタ

Type 3	Type 6	Type S	説明
			8スピーカ システム (7.1) のサイド スピーカ用のライン サイド (灰色) コネクタ
			A マルチチャンネル オーディオ設定でのセンタ/サブウーファ スピーカ用のライン C/Sub (金色) コネクタ
			B マルチチャンネル オーディオ設定でのリア スピーカ用のライン リア (黒色) コネクタ
			C フロント スピーカ用ライン出力 (黄緑色)
			D マイクに接続するマイク (ピンク色) (Type 3 は、マルチチャンネル オーディオの設定が有効な場合にセンタ/サブウーファ ライン出力としても機能します)
			E コンピュータへ入力するCDプレーヤなどアナログオーディオ デバイス用のライン入力 (水色) コネクタ (Type 3 は、マルチチャンネル オーディオの設定が有効な場合にリア ライン出力としても機能します)
			F デジタル出力 (オレンジ色) コネクタは、デジタル入力 (ホーム オーディオ レシーバ/アンプ) やデジタルスピーカのあるデジタル オーディオ デバイスに接続します (一部のモデルのみ)

注：

- Type 3は3コネクタです。
 - Type 6は6コネクタです。
 - Type Sはサウンド カードです。
-

マイクの接続

コンピュータの背面にはマイク コネクタが1つあります。一部のモデルのコンピュータには、2つ目のマイク コネクタが前面にあります。一度に使用できるマイク コネクタは1つのみで、マルチチャンネル オーディオ スピーカ オプションでない限りは、背面のコネクタが使用されます。マルチチャンネル オーディオ スピーカ オプションのあるコンピュータでは、コンピュータ前面のマイク コネクタが存在する場合は使用することができます。

コンピュータ前面のマイク（一部のモデルのみ）を使用するには、機能しているマイクを用意します。

HPコンピュータは多くのオーディオ オプション、サウンド接続、スピーカ構成をサポートしています。2つのステレオ スピーカ、またはマルチチャンネル オーディオ スピーカ システム用にコンピュータを設定できます。スピーカ システムをコンピュータに接続し、サウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。コンピュータにステレオ スピーカを接続する方法については、『かんたんスタート ガイド』を参照してください。

この章では、最も一般的なオプションについて説明します。お使いのシステムにはさまざまなコンポーネントがあります。

スピーカはモニタに装備されている場合（一部のモデルのみ）もありますが、別売の場合もあります。

注：スピーカの接続について詳しくは、コンピュータに付属の『かんたんスタート ガイド』やスピーカに付属の説明書を参照してください。

スピーカの構成

お使いのコンピュータでは、以下の構成がサポートされます。

名称	スピーカ システム	参照先
ヘッドフォン	なし、ミュート（消音）	
2（ステレオ）	左スピーカ、右スピーカ	91ページの「2/2.1（2スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続」
2.1	左スピーカ、右スピーカ、サブウーファ	91ページの「2/2.1（2スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続」
4.1	2つのフロントスピーカ、2つのリアスピーカ、サブウーファ	92ページの「4.1（4スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続」
6/5.1	2つのフロントスピーカ、2つのリアスピーカ、センタスピーカ、サブウーファ	93ページの「5.1（5スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続」
8/7.1	2つのフロントスピーカ、2つのリアスピーカ、2つのサイドスピーカ、センタスピーカ、サブウーファ（一部のモデルのみ）	95ページの「7.1（7スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続」
ホームオーディオシステム	パッシブスピーカでのホームステレオまたはホームシアタオーディオシステム	97ページの「ホームオーディオシステムへのコンピュータの接続」
デジタルオーディオ	デジタルスピーカまたはオーディオシステムのデジタル入力コネクタ	104ページの「デジタルオーディオの接続」
マルチストリーミングオーディオ	2つのフロントスピーカ、2つのリアスピーカ、2つのサイドスピーカ、センタスピーカ、サブウーファ（一部のモデルのみ）	

スピーカの種類

スピーカはモニタに装備されているか（一部のモデルのみ）、別売です。スピーカの説明書を参照してください。

お使いのコンピュータはアクティブ（電源あり）スピーカ システムのみサポートします。アクティブ スピーカ システムにはスピーカ システム自体の電源コードが必要です。ホーム オーディオ システムは、レシーバにアンプがついているため、アクティブ スピーカを必要としません。

ステレオ スピーカは左右の2チャンネルのスピーカ システムです。マルチチャンネル オーディオ スピーカ システムは左右のフロント チャンネルおよび左右のリア チャンネルがあり、サブウーファおよびセンタ スピーカがある場合もあります。より高度なシステムではサイド スピーカもあります。サブウーファは、迫力のある低音を提供します。

「.1」はサブウーファを示します。たとえば、8スピーカ モードと呼ばれる7.1チャンネルは、2つのフロント スピーカ（左右）、2つのサイド スピーカ（左右）、2つのリア スピーカ（左右）、センタ スピーカとサブウーファがあります。

2/2.1（2スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続

左右のステレオ アクティブ スピーカまたは、2チャンネル（2.1スピーカ）出力用の2つのスピーカおよびサブウーファを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 スピーカ ケーブルをコンピュータの背面にある黄緑色のオーディオ ライン入力コネクタに接続します。



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

- 3 ケーブルをオーディオ システムに接続します。コンピュータに同梱されていた2.1スピーカ（一部のモデルのみ）の場合は、オーディオ ライン出力コネクタをサブウーファに接続します。
- 4 左右のスピーカをサブウーファに接続します。スピーカの説明書を参照してください。
- 5 コンピュータの電源を入れます。

注：スピーカ システムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

- 6 スピーカ システムのプラグを電源コンセントに差し込みます。
- 7 スピーカ システムの電源を入れます。

手順8は、2スピーカをセットアップする場合は必須ではありません。

- 8 スピーカをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

次の図に、一般的な2.1オーディオの取り付け方を示します。



4.1 (4スピーカーとサブウーファ) オーディオ スピーカーの接続

4チャンネル (4.1スピーカー) 出力を行うために2つのフロント スピーカ、2つのリア スピーカ、サブウーファを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 フロント スピーカ ケーブルをコンピュータの背面にある黄緑色のオーディオ ライン入力コネクタに接続します。



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

- 3 リア スピーカ ケーブルをコンピュータの背面にある黒色のコネクタに接続します。



Type 3のコネクタ システムでは、青色のオーディオ ライン入力コネクタは、マルチチャンネル オーディオ設定が有効な場合に、リア ライン出力として機能します。

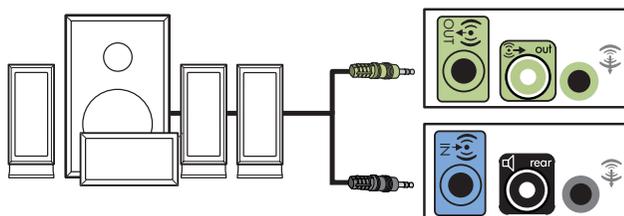
- 4 ケーブルをオーディオ システムに接続します。
- 5 フロントおよびリア スピーカをサブウーファに接続します。スピーカーの説明書を参照してください。
- 6 コンピュータの電源を入れます。

注：スピーカー システムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

- 7 スピーカ システムのプラグを電源コンセントに差し込みます。

- 8 スピーカ システムの電源を入れます。
- 9 スピーカをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

次の図に、一般的な4.1オーディオの取り付け方を示します。



5.1（5スピーカとサブウーファ）オーディオスピーカの接続

6チャンネル（5.1スピーカ）出力を行うために2つのフロントスピーカ、2つのリアスピーカ、センタスピーカ、サブウーファを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 フロントスピーカケーブルをコンピュータの背面にある黄緑色のオーディオライン入力コネクタに接続します。



注：

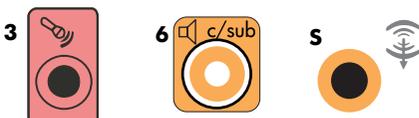
- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンドカードです。

- 3 リア スピーカ ケーブルをコンピュータの背面にある黒色のコネクタに接続します。



Type 3のコネクタ システムでは、青色のオーディオ ライン入力コネクタは、マルチチャンネル オーディオ設定が有効な場合に、リア ライン出力として機能します。

- 4 センタ/サブウーファ スピーカ ケーブルを、コンピュータの背面にある金色（またはピンク色のマイク用）のコネクタに接続します。



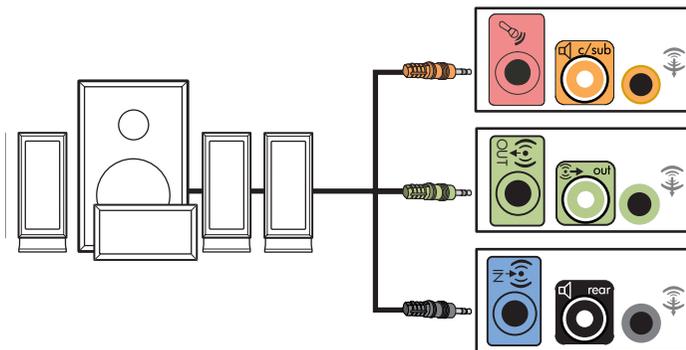
Type 3のコネクタ システムでは、ピンク色のマイク コネクタが、マルチチャンネル オーディオ設定が有効な場合に、センタ/サブウーファ スピーカ ライン出力として機能します。

- 5 ケーブルをオーディオ システムに接続します。
- 6 フロント、リア、センタのスピーカをサブウーファに接続します。スピーカの説明書を参照してください。
- 7 コンピュータの電源を入れます。

注：スピーカ システムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

- 8 スピーカ システムのプラグを電源コンセントに差し込みます。
- 9 スピーカ システムの電源を入れます。
- 10 スピーカをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

次の図に、一般的な5.1オーディオの取り付け方を示します。



7.1（7スピーカーとサブウーファ）オーディオスピーカーの接続

（一部のモデルのみ）

8チャンネル（7.1スピーカー）出力を行うために2つのフロント スピーカ、2つのサイド スピーカ、2つのリア スピーカ、センタ スピーカ、サブウーファを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 フロント スピーカ ケーブルをコンピュータの背面にある黄緑色のオーディオライン入力コネクタに接続します。



- 3 リア スピーカ ケーブルをお使いのコンピュータの背面にある黒色のコネクタに接続します。



- 4 Type 6コネクタのみ、サイド スピーカ ケーブルをコンピュータ背面の灰色のコネクタに接続します。



- 5 センタ スピーカおよびサブウーファースピーカのケーブルをコンピュータ背面の金色コネクタに接続します。

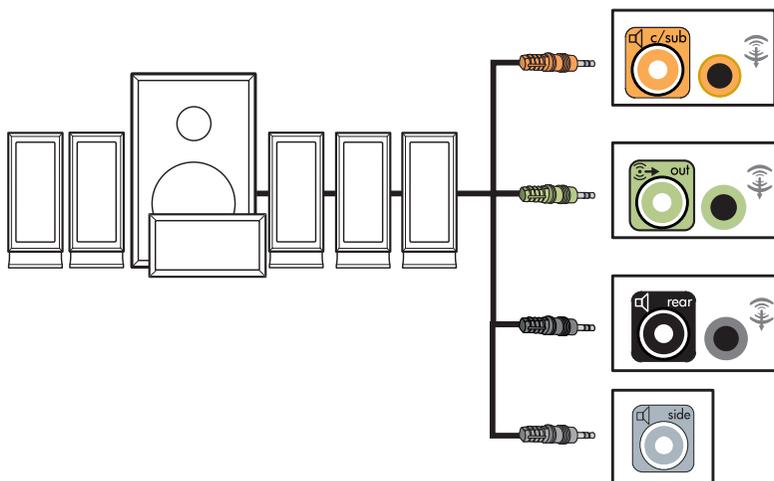


- 6 ケーブルをオーディオシステムに接続します。
7 フロント、リア、サイド、センタースピーカをサブウーファに接続します。スピーカの説明書を参照してください。
8 コンピュータの電源を入れます。

注：スピーカシステムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

- 9 スピーカシステムのプラグを電源コンセントに差し込みます。
10 スピーカシステムの電源を入れます。
11 スピーカをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

次の図に、一般的な7.1オーディオの取り付け方を示します。



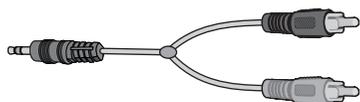
ホーム オーディオ システムへのコンピュータの接続

既存のスピーカを使用して、コンピュータをホーム ステレオやホーム シアタのマルチチャンネル オーディオ レシーバ/アンプに接続できます。

例については、98ページの「2.1ホーム ステレオの取り付け」または99ページの「5.1ホーム オーディオの接続」を参照してください。

Yアダプタ ケーブル

多くのホーム レシーバ/アンプにはRCAタイプの入力コネクタがあります。コンピュータおよびレシーバ/アンプの間をYアダプタ ケーブルで接続する必要があります。Yアダプタ ケーブルには、一方の端に3.5 mmのステレオ ミニ コネクタが1つあり、もう一方の端には2つのRCAコネクタがあります。これらのケーブルは別売です。



ホーム ステレオ システムの接続に必要なYアダプタ ケーブルの数は、取り付けるスピーカの数によって異なります。

- 2/2.1スピーカ システム : Yアダプタ ケーブル1本
- 4/4.1スピーカ システム : Yアダプタ ケーブル2本
- 6/5.1スピーカ システム : Yアダプタ ケーブル3本
- 8/7.1スピーカ システム : Yアダプタ ケーブル4本

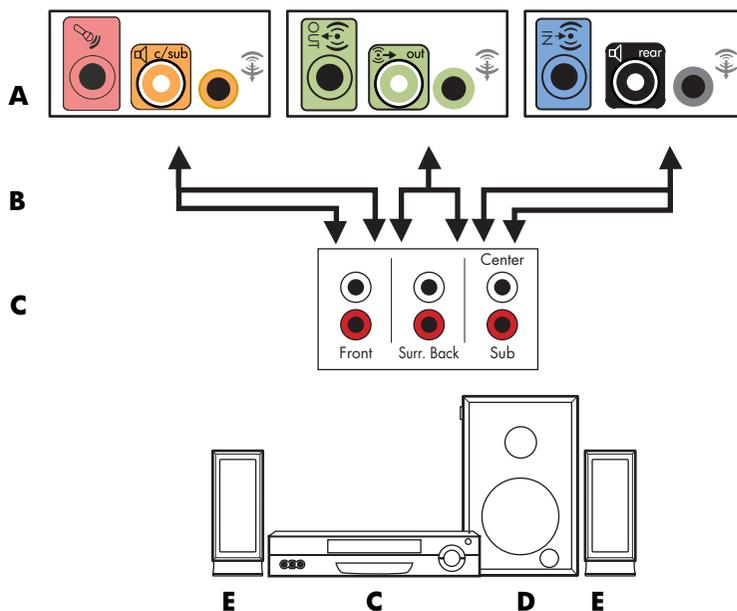
ホーム ステレオをコンピュータに接続するには、通常、コンピュータからステレオまで接続するために十分な長さのオーディオ ケーブルが必要です。RCAまたはミニ拡張ケーブルの購入も必要になる場合があります。

注 : Yアダプタおよび拡張ケーブルは別売です。

2.1 ホーム ステレオの取り付け

次の図に、パッシブ ステレオ スピーカを使用し、ホーム ステレオの標準の左右の入力コネクタに差し込む、一般的な2チャンネル（2.1スピーカー）の取り付け方を示します。

この設定は一例です。お使いのシステムによって設定が異なる場合もあります。

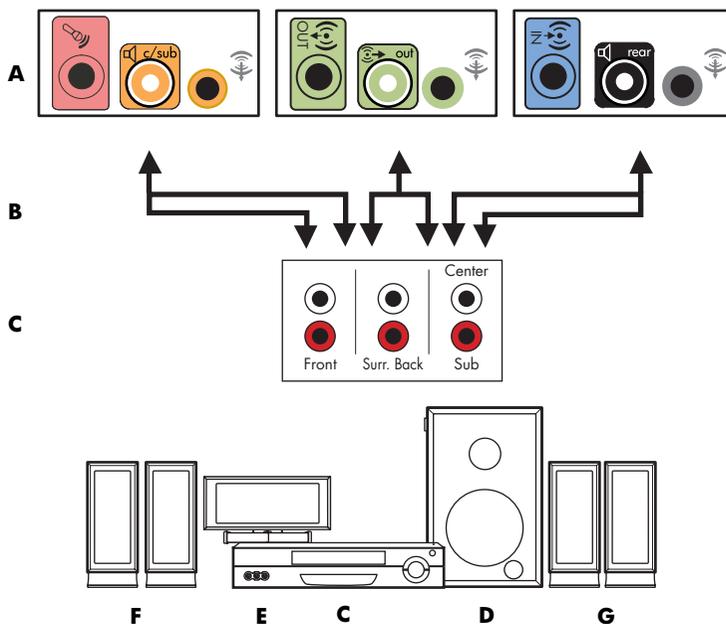


コンピュータから2.1マルチチャンネル オーディオ システムへの接続

- A コンピュータ背面のコネクタ（Type 3、Type 6、またはサウンド カード）
- B Yアダプタ ケーブル
- C レシーバ/アンプ（オーディオ入力コネクタ）
- D サブウーファ
- E フロント スピーカ（左右）

5.1 ホーム オーディオの接続

次の図に、レシーバ/アンプでマルチチャンネル入力が必要な、通常のアドバンスホームシアターオーディオの6チャンネル（6/5.1スピーカ）の接続を示します。この設定は一例です。お使いのシステムによって設定が異なる場合もあります。



コンピュータから5.1マルチチャンネル オーディオ システムへの接続

- A** コンピュータ背面のコネクタ（Type 3、Type 6、またはサウンド カード）
- B** Yアダプタ ケーブル
- C** レシーバ/アンプ（オーディオ入力コネクタ）
- D** サブウーファ
- E** センタ スピーカ
- F** フロント スピーカ（左右）
- G** リア スピーカ（左右）

5.1 ホーム オーディオの接続手順

6チャンネル（5.1スピーカ）ホーム オーディオ システムをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 レシーバ/アンプの電源を切ります。
- 3 Yアダプタ ケーブルのフロント ステレオのミニ コネクタの端を、コンピュータの背面にある黄色のオーディオ ライン出力コネクタに接続します。



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

注：レシーバ/アンプ入力コネクタは、サラウンド、5.1チャンネル入力、6チャンネル入力、CD、DVD、またはDVD入力などと書かれている場合があります。

Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプの背面にあるフロント用の左（L）と右（R）入力コネクタに接続します。

- 4 リア スピーカがある場合は、Yアダプタ ケーブルのリア ステレオ ミニ コネクタの端を、コンピュータの背面にあるオーディオ ライン入力（青色）コネクタまたはリア スピーカ出力（黒色）コネクタに接続します。



- Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプの背面にあるリアの左（L）と右（R）入力コネクタに接続します。

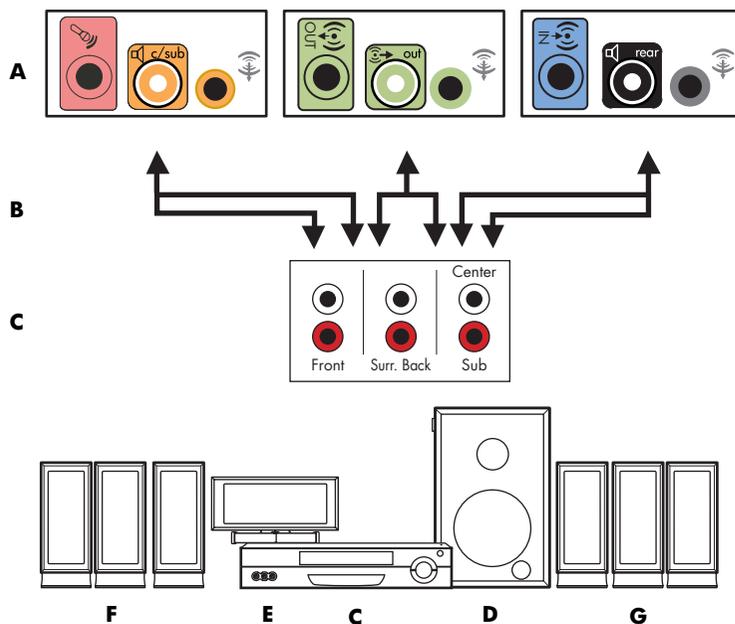
- 5 センタ/サブウーファ スピーカがある場合、コンピュータの背面にあるYアダプタのステレオ ミニ コネクタをマイク コネクタ（ピンク色）またはセンタスピーカ/サブウーファ コネクタ（金色）に接続します。



- Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプ（6/5.1またはより高度なチャンネル システム）の背面のセンタ/サブウーファ入力コネクタに接続します。
 - サブウーファを使用しない場合でも、Yアダプタ ケーブルをレシーバ背面のサブウーファ コネクタに差し込みます。
- 6 レシーバ/アンプの電源を入れます。
- 7 Yアダプタ ケーブルを差し込むレシーバ/アンプ入力コネクタを選択します。
- 8 コンピュータの電源を入れます。
- 9 オーディオ システムをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

7.1 ホーム オーディオの接続

次の図に、レシーバ/アンプでマルチチャンネル入力が必要な、通常のアドバンスホームシアターオーディオの8チャンネル（8/7.1スピーカー）の接続を示します。この設定は一例です。お使いのシステムによって設定が異なる場合もあります。



コンピュータから7.1マルチチャンネル オーディオ システムへの接続

- A コンピュータ背面のコネクタ（Type 3、Type 6、またはサウンド カード）
- B Yアダプタ ケーブル
- C レシーバ/アンプ（オーディオ入力コネクタ）
- D サブウーファ
- E センタ スピーカ
- F フロント スピーカ（左右）
- G リア スピーカ（左右）

7.1 ホーム オーディオの接続手順

8チャンネル（7.1スピーカ）ホーム オーディオ システムをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 レシーバ/アンプの電源を切ります。
- 3 Yアダプタ ケーブルのフロント ステレオのミニ コネクタの端を、コンピュータの背面にある黄緑色のオーディオ ライン出力コネクタに接続します。



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

注：レシーバ/アンプ入力コネクタは、サラウンド、7.1チャンネル入力、チャンネル入力、CD、DVD、またはDVD入力などと書かれている場合があります。

Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプの背面にあるフロント用の左（L）と右（R）入力コネクタに接続します。

- 4 リア スピーカがある場合は、Yアダプタ ケーブルのリア ステレオ ミニ コネクタの端を、コンピュータの背面にあるオーディオ ライン入力（青色）コネクタまたはリア スピーカ出力（黒色）コネクタに接続します。



- Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプの背面にあるリアの左（L）と右（R）入力コネクタに接続します。

- 5 センタ/サブウーファ スピーカがある場合は、コンピュータの背面にあるYアダプタのステレオ ミニ コネクタをマイク コネクタ（ピンク色）またはセンタ スピーカ/サブウーファ コネクタ（金色）に接続します。

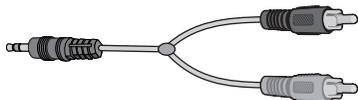


- Yアダプタ ケーブルの左右の端を、レシーバ/アンプ（8/7.1またはより高度なチャンネル システム）の背面のセンタ/サブウーファ入力コネクタに接続します。
 - サブウーファを使用しない場合でも、Yアダプタ ケーブルをレシーバ背面のサブウーファ コネクタに差し込みます。
- 6 レシーバ/アンプの電源を入れます。
- 7 Yアダプタ ケーブルを差し込むレシーバ/アンプ入力を選択します。
- 8 コンピュータの電源を入れます。
- 9 オーディオ システムをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

デジタル オーディオの接続

（一部のモデルのみ）

サウンド カードがあり、ホーム ステレオAVレシーバにデジタル出力経由で接続している場合は、3.5 mmステレオ プラグをサウンド カードのデジタル出力コネクタに差し込みます。3.5 mmYアダプタ ケーブルの赤色のRCAステレオ プラグをAVレシーバのデジタル入力コネクタに接続します。赤色のRCAステレオ プラグが動作しない場合は、白色のステレオ プラグを試してください。コネクタのうち1つは使用されません。



デジタル オーディオを接続するには、コンピュータにサウンド カードが取り付けられているか、背面にデジタル出力コネクタがある必要があります。デジタル出力を接続する場合は、マルチチャンネル スピーカ出力に接続する必要はありません。

デジタル オーディオ スピーカを接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 コンピュータの背面のデジタル出力コネクタを、デジタル スピーカまたはデジタル オーディオ システムのデジタル入力 (S/PDIF) コネクタに接続します。



注：

- Type 3は3コネクタです。
- Type 6は6コネクタです。
- Type Sはサウンド カードです。

-
- 3 コンピュータの電源を入れます。

注：スピーカ システムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

- 4 スピーカ システムのプラグを電源コンセントに差し込みます。
- 5 スピーカ システムの電源を入れます。
- 6 スピーカをコンピュータに接続した後、お使いのモデルのコンピュータに対応したサウンド出力用オーディオ ソフトウェアを設定します。85 ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

Creative Sound Blaster X-Fiサウンド カードを 使用したスピーカの接続

この項では、Creative Sound Blaster X-Fiサウンド カードの接続の概要を説明します。

注：スピーカの接続について詳しくは、スピーカに付属の説明書を参照してください。

スピーカの接続

コネクタ	説明
	AD_Link X-Fi I/Oコンソール対応AD-Link (X-Fiコンソールは別売)
	ライン出力3 (オレンジ色または黄色) 5.1オーディオ設定：フロント センタ、サブウーファ 6.1オーディオ設定：フロント センタ、サブウーファ、リア センタ 7.1オーディオ設定：フロント センタ、サブウーファ、サイド レフト
	ライン出力2 (黒色) 4.1、5.1、6.1オーディオ設定：リア左右 7.1オーディオ設定：リア左、リア右、サイド右
	ライン出力1 (黄緑色) 2/2.1オーディオ設定：フロント左右
	ライン入力、マイク、デジタル入出力用のFlexiJack (白色) FlexiJackは3つの機能をサポートします。Creative Console Launcherで機能を選択する必要があります。107ページの「FlexiJackコネクタの接続」を参照してください

X-Fiサウンド カードをスピーカに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 オーディオ接続ケーブルを使用して、オーディオ システムをサウンド カードに接続します。
- 2 コンピュータの電源を入れます。
- 3 スピーカ システムのプラグを電源コンセントに差し込み、電源を入れます。

スピーカ システムをサウンド カードに接続した後、107ページの「FlexiJackコネクタの接続」の手順に沿ってCreative Sound Blaster X-Fiソフトウェアでスピーカの設定を行います。

FlexiJackコネクタの接続

FlexiJackコネクタには以下の3つの機能があります。

- デジタル入出力
- ライン入力
- マイク

Creative Console Launcherで機能を選択する必要があります。

注： FlexiJackをデジタル入力接続として使用し、デジタル スピーカを出力デバイスとして使用する場合は、Creative製の別のコネクタが必要です。

テレビ信号とビデオ ケーブルの接続

この項では、お使いのコンピュータをテレビに接続する方法と、そのために使用するケーブルについて説明します。

注：DVIコネクタが装備されたグラフィックス カードもありますが、このコンピュータにはDVIからVGAへのコンバータが同梱されています（一部のモデルのみ）。お使いのモニタにVGAコネクタがあり、DVIコネクタがない場合は、DVIからVGAへのコンバータを使用します。このコンバータを使用してコンピュータに接続するには、DVIからVGAへのコンバータをコンピュータのグラフィックス カードのDVIコネクタに接続し、VGAケーブルをコンバータとモニタに接続します。



テレビ ケーブルの使用

お使いのコンピュータにはテレビ信号に接続するためのビデオ ケーブルおよびオーディオ ケーブルが付属しています。

ビデオ ケーブルおよびオーディオ ケーブルは、以下の接続に使用します。

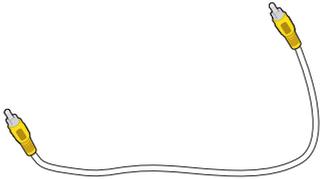
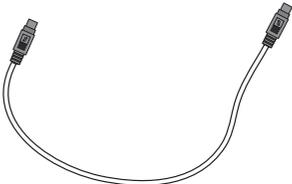
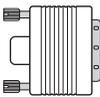
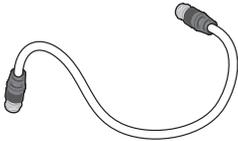
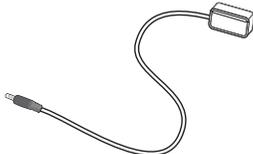
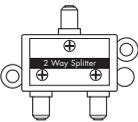
- コンピュータからテレビへのビデオ出力
- コンピュータへのテレビ信号のビデオ入力
- コンピュータからテレビへのオーディオ出力
- コンピュータへのテレビ信号のオーディオ入力

注：コネクタの場所と数は、モデルによって異なる場合があります。

オーディオ ケーブルおよびビデオ ケーブル

次の表に、コンピュータからテレビへの接続に必要なケーブルの種類を示します。

注：お使いのコンピュータへの接続に必要なケーブルの数と種類は、モデルによって異なる場合があります。ケーブルによっては、一部のモデルにのみ付属しているものもあります。

ケーブル	名称	説明
	コンポジットビデオケーブル	黄色のRCA端子が付いたコネクタ。コンポジットビデオ出力コネクタやテレビ入力コネクタなどのRCAコネクタに差し込みます
	Sビデオケーブル	Y/C、4ピンのコネクタ。Sビデオ出力コネクタやテレビ入力コネクタなどのSビデオコネクタに差し込みます 輝度信号と色信号を分離することによって、コンポジットビデオケーブルより鮮明な画像を実現します
	アナログビデオケーブル/アダプタ (一部のモデルのみ)	アナログビデオ出力コネクタで使用します。Sビデオ出力およびコンポジットビデオ出力を行います
	DVI-HまたはDVI-Dケーブル	デジタルビデオ出力コネクタ。ハイビジョン対応テレビまたはモニタのDVI-HまたはDVI-D入力コネクタに差し込みます
	テレビ同軸ケーブル	ケーブルセットトップボックスまたはアンテナからテレビ信号入力コネクタに差し込みます
	リモート赤外線ケーブル (赤外線トランスミッタ)	セットトップボックスからのテレビ信号の制御に使用します 注：単一のテレビチューナーの場合は1本、デュアルチューナーの場合は2本が付属しています
	スプリッタ	1つの信号を2つのRF入力コネクタに接続するために使用します

ケーブル	名称	説明（続き）
	RCAステレオ	赤色および白色のRCA端子が付いたコネクタ。テレビ信号のオーディオ入力およびオーディオ出力をテレビへ行うために使用します

必要に応じて、追加のケーブルを別途購入してください。お使いのコンピュータには、コンピュータのセットアップに必要なケーブルがすべて付属していない場合があります。また、付属しているケーブルはモデルによって異なります。

たとえば、お使いのテレビにSビデオ入力コネクタがある場合は、Sビデオケーブルを使用してコンピュータのテレビ出力コネクタからテレビへ接続することもできます。

テレビ信号の接続

テレビ入力の同軸コネクタ、またはSビデオかコンポジット ビデオの入力コネクタを使用して、テレビ信号を接続します。

注：コネクタの場所と数は、モデルによって異なる場合があります。

- 1 テレビ同軸ケーブルのコネクタをコンピュータ背面のTV/Cable Antコネクタに差し込み、コネクタを回して固く締めます。

または

ケーブルをコンピュータ背面のSビデオまたはコンポジット ビデオの入力コネクタに差し込みます。Sビデオ ケーブル（付属していません）またはコンポジット ビデオ ケーブルを使用します。ケーブルのもう一方の端を、セット トップ ボックスまたはテレビ信号を提供する別のデバイスに差し込みます。

- 2 Sビデオまたはコンポジット ビデオ出力でセット トップ ボックスを使用する場合は、オーディオ ケーブル（付属していません）を、セット トップ ボックスからコンピュータ背面の右側のオーディオ入力（赤色）コネクタおよび左側のオーディオ入力（白色）コネクタに差し込みます。4ページの「コンピュータの接続」を参照してください。

セット トップ ボックスを使用する場合は、リモート エミッタ ケーブルを接続します。114ページの「リモート センサの接続」を参照してください。

デュアル チューナの接続

(一部のモデルのみ)

注：テレビ（電子）番組ガイドは、国や地域によっては利用できない場合があります。

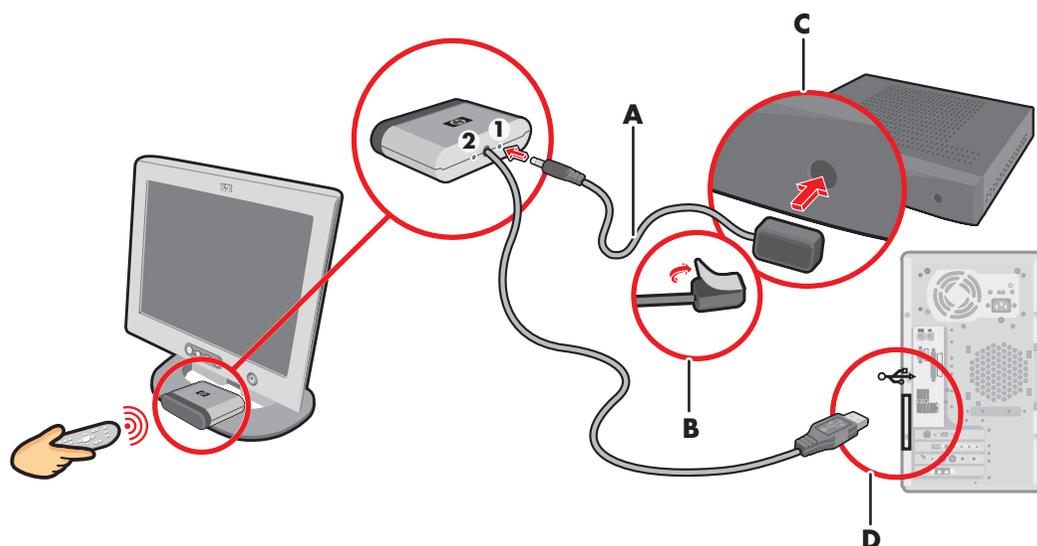
お使いのコンピュータでは、テレビ番組を録画したり、テレビのチャンネルを切り替えたりできます。お使いのコンピュータは以下の2つのチューナ設定をサポートしています。

TVチューナ	説明	要件
シングル チューナのテレビ ソース	NTSCまたはPAL形式で1つの番組のみ視聴または録画します	<ul style="list-style-type: none">■ テレビ アンテナまたは標準のケーブル コネクタを使用している場合、信号は信号チューナに送られます
デュアル チューナのテレビ ソース	1つのチャンネルで1つの番組を視聴している間、Windows Media Centerで別のチャンネルの別番組を録画できます。同時に2つの別の番組を録画することもできます	<ul style="list-style-type: none">■ テレビ アンテナまたは標準のケーブル コネクタを使用している場合、信号は内部で両方のチューナに送られます■ ケーブル テレビや衛星放送のセット トップ ボックスを使用している場合、2つ目の入力セットを接続する必要があります。そうでない場合は、2つ目のセット トップ ボックスを背面のコネクタの2つ目のセットに接続します■ テレビ ソースは、ケーブル テレビ、デジタル ケーブル テレビ、衛星放送、または地上波のうち、同じ種類である必要があります■ テレビ ソースのチャンネルも同じである必要があります。たとえば、2つの衛星放送を使用している場合、チャンネルがまったく同じである必要があります■ テレビの視聴およびスケジュール設定にはWindows Media Centerのテレビ（電子）番組ガイドを使用するため、両方のテレビソースに同一のテレビ番組ガイドが必要です

リモート センサの接続

リモート センサは、コンピュータに接続し、Windows Media Centerのプログラムを遠隔操作する小さなデバイスです。

- 1 ケーブルテレビのセット トップ ボックス、衛星放送のセット トップ ボックス、またはテレビ信号を制御するその他のセット トップ ボックスがある場合は、リモート コントロール センサ ケーブル (エミッタ) (A) を、リモート センサの背面のコネクタ (1) に接続します。そうでない場合は、手順3に進みます。2つ目のセット トップ ボックスがある場合はコネクタ (2) も使用できます。
- 2 ケーブルの端 (B) のテープをはがし、ケーブル テレビのセット トップ ボックス (C) の赤外線センサにケーブルの端を押し当てます。ケーブル テレビのセット トップ ボックスの赤外線センサの位置を確認するには、通常ボックスの前面にあるプラスチック部分に、懐中電灯で光を当てます。
- 3 リモート コントロール センサ ケーブルを、コンピュータ背面のUSBコネクタ (D) に差し込みます。
- 4 リモート センサを、リモート コントロールからの信号が簡単に届く場所に置きます。(モニターや机の上が理想的です。)

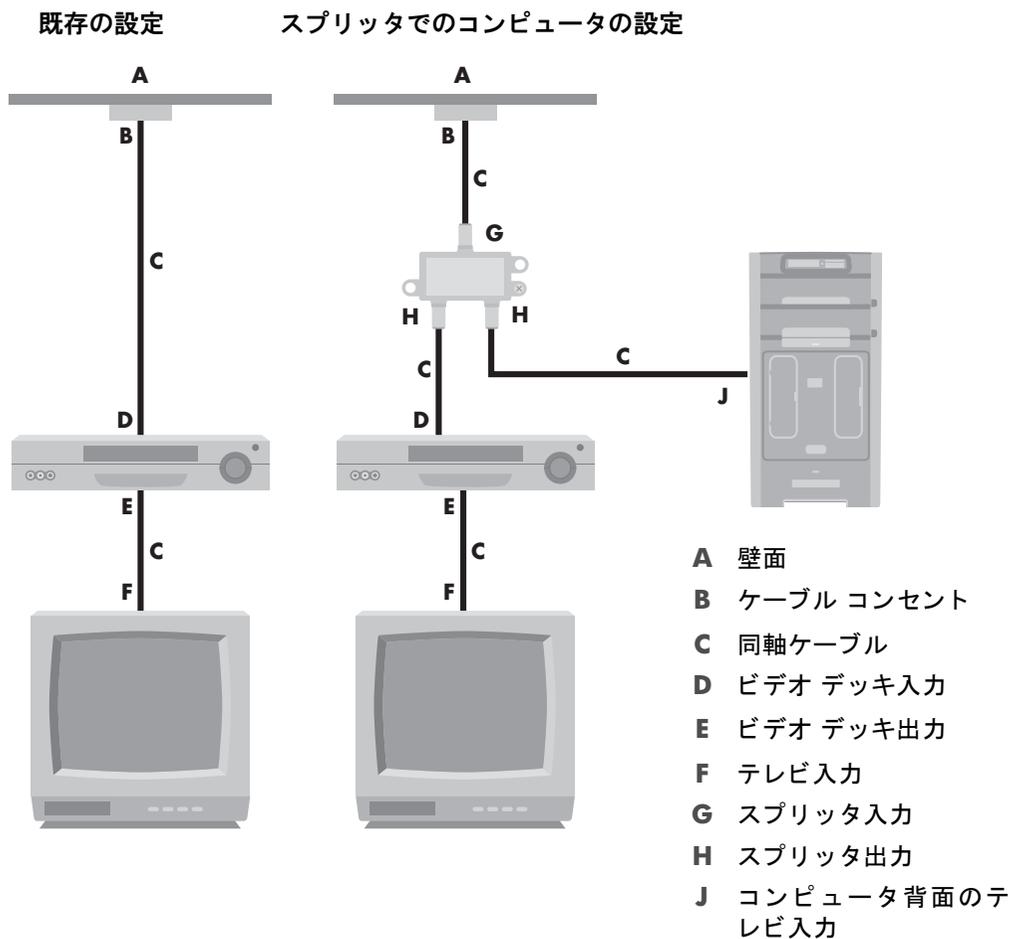


既存の設定がある場合のテレビ信号の接続

この項では、コンピュータを既存のテレビ信号の設定に接続する方法について説明します。

壁面からビデオ デッキを通じてテレビへ、 同軸ケーブル使用

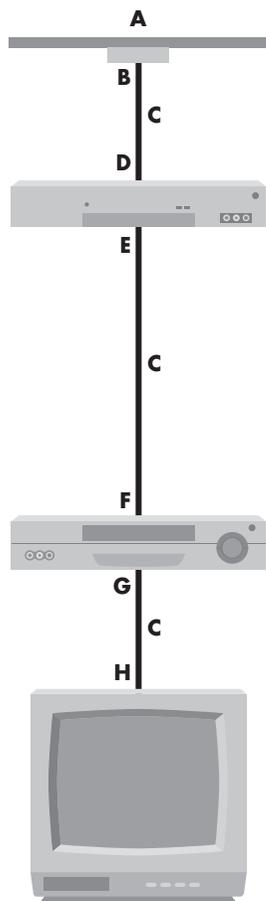
- 1 ビデオ デッキへの入力に使用されている同軸ケーブルを取り外し、同軸ケーブルの信号スプリッタ（付属していません。電気製品販売店で購入可能）の入力コネクタに接続します。
- 2 2つの同軸ケーブルをスプリッタの出力コネクタに接続します。
- 3 どちらかのケーブルをビデオ デッキの入力コネクタに接続し、もう一方をコンピュータのテレビ コネクタに接続します。



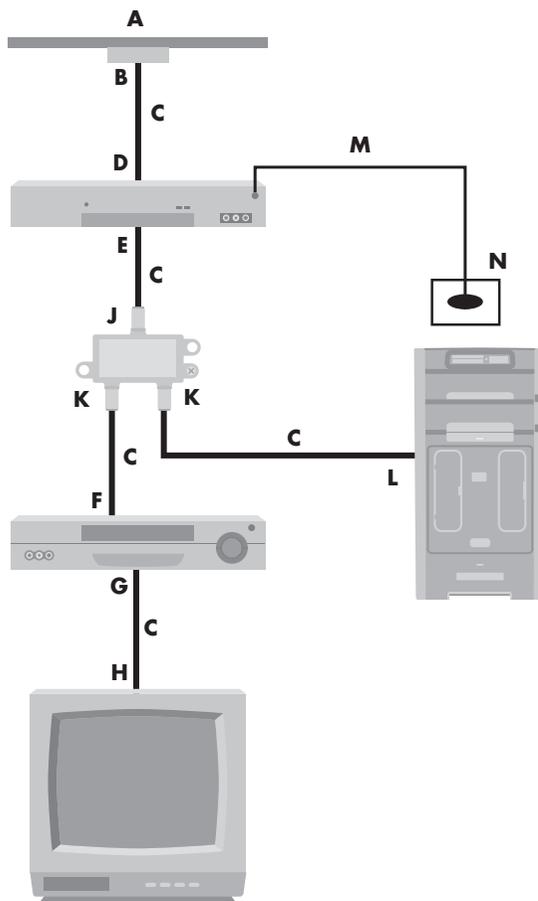
壁面からケーブル テレビ/衛星放送のセット トップ ボックスを通じてビデオ デッキ、テレビへ、 同軸ケーブル使用

- 1 ビデオ デッキへの入力に使用されている同軸ケーブルを取り外し、同軸ケーブルの信号スプリッタ（付属していません。電気製品販売店で購入可能）の入力コネクタに接続します。
- 2 2つの同軸ケーブルをスプリッタの出力コネクタに接続します。
- 3 どちらかのケーブルをビデオ デッキの入力コネクタに接続し、もう一方をコンピュータのテレビ コネクタに接続します。
- 4 リモート コントロール センサ ケーブル（エミッタ）を接続し、セット トップ ボックスに置きます。これによって、コンピュータがボックスを使用してチャンネルを変更できるようになります。114ページの「リモート センサの接続」を参照してください。

既存の設定



スプリッタでのコンピュータの設定



A 壁面

B ケーブル コンセント

C 同軸ケーブル

D セット トップ ボックス/サテライト
入力

E セット トップ ボックス/サテライト
出力

F ビデオ デッキ入力

G ビデオ デッキ出力

H テレビ入力

J スプリッタ入力

K スプリッタ出力

L コンピュータ背面のテレビ入力

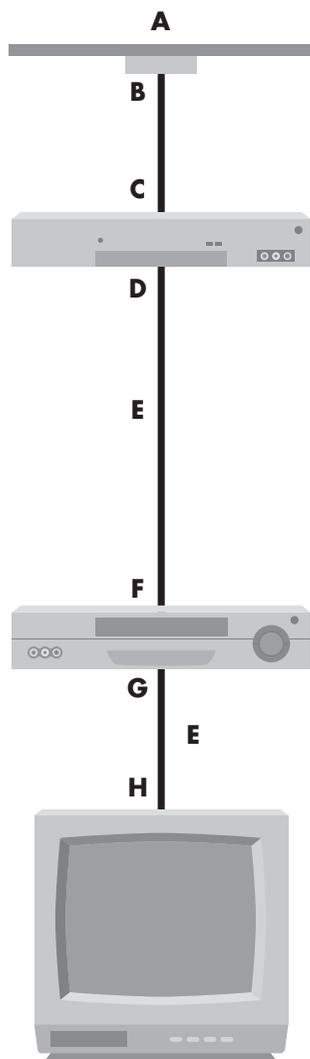
M リモート コントロール センサ ケー
ブル

N リモート コントロール センサ

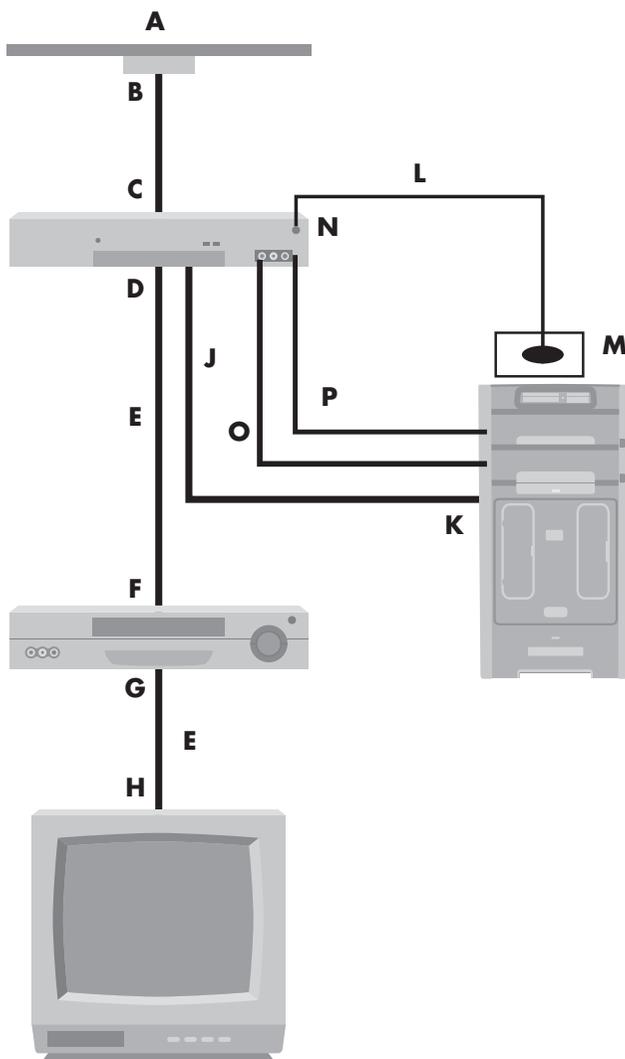
壁面からケーブル テレビ/衛星放送のセット トップ ボックスを通じてビデオ デッキ、テレビへ、ボックス とビデオ デッキ/テレビ間にSビデオ ケーブル/ コンポジット ビデオ ケーブルを使用

- 1 既存の設定からケーブルを取り外さないでください。
- 2 以下の手順に沿って、追加のケーブルを接続します。
 - Sビデオ ケーブル（付属していません）の一方の端を、セット トップ ボックスの2つ目の出力コネクタに接続します。もう一方の端をコンピュータ背面のSビデオ入力コネクタに接続します。または
 - コンポジット ビデオ ケーブルの一方の端を、セット トップ ボックスの2つ目の出力コネクタに接続します。Sビデオへのもう一方の端をコンポジット ビデオ アダプタ ケーブルに接続し、アダプタをコンピュータ背面のSビデオの入力コネクタに接続します。
- 3 コンポジット ビデオまたはSビデオ ケーブルを使用する場合、セット トップ ボックスから、コンピュータ背面の右側のオーディオ入力コネクタ（赤色）および左側のオーディオ入力コネクタ（白色）に、オーディオ ケーブル（付属していません）を接続する必要があります。
- 4 リモート コントロール センサ ケーブル（エミッタ）を接続し、セット トップ ボックスに配置します。これによって、コンピュータがボックスを使用してチャンネルを変更できるようになります。114ページの「リモート センサの接続」を参照してください。

既存の設定



コンピュータ使用



- A 壁面
- B ケーブル コンセント
- C セット トップ ボックス/衛星入力
- D セット トップ ボックス/衛星出力
- E Sビデオまたはコンポジット ケーブル
- F ビデオ デッキ入力
- G ビデオ デッキ出力
- H テレビ入力

- J アダプタ付きSビデオまたは
コンポジット ケーブルの追加
- K コンピュータ背面のSビデオ入力
- L リモート コントロール センサ
ケーブル
- M リモート コントロール センサ
- N セット トップ ボックス/2つ目の出力
- O R (右) オーディオ
- P L (左) オーディオ

モニタとしてのテレビの使用

(一部のモデルのみ)

お使いのコンピュータにはTV出力機能（つまり、DVI出力、コンポーネント出力、Sビデオ出力などのビデオ出力コネクタ）が装備されている場合があります。その場合、テレビを出力コネクタ セットのどれかに接続して、テレビ画面でコンピュータの画像を表示させたり、DVDを観たり、ゲームをしたりすることができます。テレビ出力コネクタはオプションの機能です。

コンピュータをテレビに接続するためのケーブル

コンピュータをテレビに接続するには、ビデオ ケーブルおよびオーディオ ケーブルが必要です。必要なビデオ ケーブルの種類は、お使いのテレビの接続コネクタによって異なります。

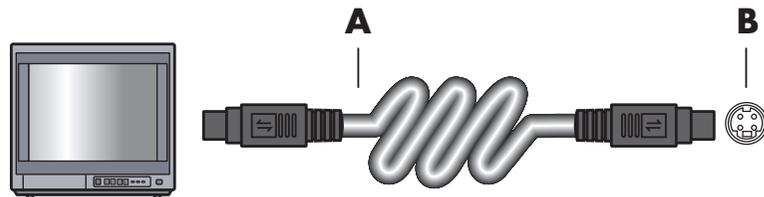
- お使いのテレビにSビデオ入力コネクタがある場合、Sビデオ ケーブルが必要です。
- テレビにコンポジット ビデオ コネクタがある場合、コンポジット ビデオ ケーブルが必要です。コンピュータ背面のコネクタによっては、Sビデオ アダプタ ケーブルも必要になる場合もあります。

テレビへのコンピュータの接続

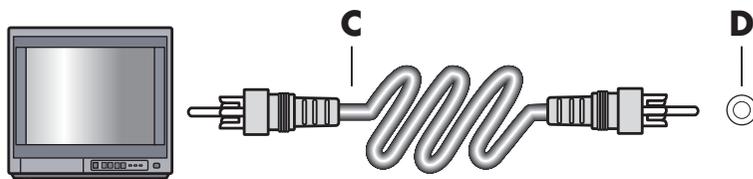
- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 お使いのテレビの接続コネクタに応じて、以下の手順のどちらかに沿って、テレビ ケーブルを接続します。

注：お使いのコンピュータの背面には、2種類のSビデオ接続コネクタ（ビデオ カードのSビデオ出力コネクタ（一部のモデルのみ）、TVチューナ カードのSビデオ入力コネクタ）が装備されている場合があります。

- テレビにSビデオ コネクタがある場合、Sビデオ ケーブル **(A)**（付属していません）をテレビのSビデオ入力コネクタからコンピュータ背面のSビデオ出力コネクタ **(B)** に接続します（一部のモデルのみ）。



- テレビにコンポジット ビデオ入力コネクタがあり、コンピュータにコンポジット ビデオ出力コネクタがある場合、コンポジット ビデオ ケーブル (C) をテレビのビデオ入力コネクタおよびコンピュータ背面のコンポジット ビデオ出力コネクタ (D) に接続します (一部のモデルのみ)。



- 3 コンピュータではなくテレビから音声を出力するには、オーディオ ケーブルをテレビのオーディオ入力コネクタ (オーディオ ライン入力) に差し込み、オーディオ ケーブルのもう一方の端を、コンピュータ背面のオーディオ出力コネクタ (緑色コネクタ) に差し込みます。
- 4 テレビの電源を入れ、テレビ入力ビデオ ソースを選択します。詳しくは、お使いのテレビの操作説明書を参照してください。
- 5 コンピュータの電源を入れますコンピュータの画像をテレビで表示させます。詳しくは、121ページの「テレビ画面でのコンピュータ画像の表示」を参照してください。

テレビ画面でのコンピュータ画像の表示

コンピュータのビデオ カードの種類によって、コンピュータのテレビ出力オプションの選択方法が決まります。

テレビをコンピュータから取り外すには、テレビの出力オプションを無効にし、お使いのコンピュータの解像度を元に戻す必要があります。

- 1 デスクトップの空いている領域を右クリックして、**[個人設定]**をクリックします。
- 2 **[ディスプレイの設定]**タブをクリックします。
- 3 必要に応じて、モニターまたはテレビを選択します。
- 4 **[詳細設定]**ボタンをクリックします。
- 5 グラフィックス カードに対応したタブをクリックします。(タブには、**[ディスプレイ]**、**[ATI Displays]** (ATIディスプレイ)、**[Ge Force xxx]**、**[nView]**、または**[デバイス]**という名前が付いている場合があります。)
- 6 **[TV]**オプションを選択し、画面の説明に沿って操作します。

画面解像度の調整

画面の解像度を変更するには、以下の手順で操作します。

- 1 デスクトップの空いている領域を右クリックして、**[個人設定]**をクリックします。
- 2 **[ディスプレイの設定]**をクリックします。
- 3 必要場合はモニタを選択し、画面の解像度を調整します。
- 4 **[適用]**をクリックします。
- 5 **[はい]**がある場合は、それをクリックします。
- 6 **[OK]**をクリックします。

複数のディスプレイの接続

複数のディスプレイ デバイス（CRTモニタ、フラット パネル モニタ、テレビなど）をコンピュータに同時に接続できます（一部のモデルのみ）。[Alt] + [F5] キーを押すことで、コンピュータの画像を表示するデバイスをすばやく変更できます。[Alt] + [F5] キーを押すたびに、コンピュータの画像を表示するデバイスは次のように切り替わります。[Alt] + [F5] キーを押しても機能しない場合は、コンピュータを再起動し、再度試してください。

Windows Media Centerセットアップ ウィザードを使用したテレビ画面のオプション設定

テレビをコンポジットまたはSビデオ接続でコンピュータに接続する場合、Windows Media Centerセットアップ ウィザードではお使いのテレビ画面表示に対して自動的に設定を調整できません。この自動調整は、[ディスプレイでのWindows Media Centerの表示を最適化する]ステップ内の[オプション設定]中でのみ有効です。

Windows Media CenterをセットアップしWindowsのデスクトップのプロパティを使用してテレビの画像を調整するには、以下の手順で操作します。

注：コンピュータのビデオ カードの種類によって、コンピュータのテレビ出力オプションの選択方法が決まります。この手順に記載されているオプションおよびメニューは、お使いのコンピュータに表示される内容と異なる場合があります。

- 1 リモート コントロールでWindows Media Centerのスタート ボタンを押します。または、タスクバーにあるスタート ボタンをマウスでクリックし、**[Windows Media Center]**をクリックします。
- 2 [タスク]メニューから、**[設定]**→**[TV]**の順にクリックします。
- 3 **[テレビまたはモニタの構成]**をクリックして、**[ディスプレイの設定]**画面に進みます。

- 4 **[次へ]**をクリックします。
- 5 ディスプレイを指定し、**[次へ]**をクリックします。
- 6 ディスプレイの種類とテレビの接続の種類を選択します。
 - **[コンジットまたはSビデオ]**オプションを選択した場合は、以下の手順で操作します。
 - **[次へ]**をクリックし、ディスプレイを最適化する画面に進みます。
 - 適切な設定を選択し、**[次へ]**をクリックします。
 - すべてのディスプレイ設定の調整が終了したら、**[ウィザードを完了する]**をクリックします。
 - **[DVI、VGA、または HDMI]**または**[コンポーネント (YpbPr)]**オプションを選択した場合は、以下の手順で操作します。
 - 適切な設定を選択し、**[次へ]**をクリックします。
 - すべてのディスプレイ設定の調整が終了したら、**[ウィザードを完了する]**をクリックします。
- 7 Windows Media Centerのウィンドウを閉じるか最小化します。
- 8 デスクトップの空いている領域を右クリックして、**[個人設定]**をクリックします。
- 9 **[ディスプレイの設定]**をクリックします。
- 10 必要に応じて、モニタまたはテレビを選択します。
- 11 **[詳細設定]**ボタンをクリックします。
- 12 グラフィックス カードに対応したタブをクリックします。(タブには、**[ディスプレイ]**、**[ATI Displays]** (ATIディスプレイ)、**[Ge Force xxx]**、**[nView]**、または**[デバイス]**という名前が付いている場合があります。)
- 13 **[TV]**オプションを選択し、画面の説明に沿って操作します。

テレビ出力オプションの無効化

テレビをコンピュータから取り外し、コンピュータの画像を元のモニターで表示するには、テレビ オプションを無効にし、コンピュータの解像度を元に戻す必要があります。

注：ディスプレイを変更するには、テレビがコンピュータに接続されている必要があります。

- 1 デスクトップの空いている領域を右クリックして、**[個人設定]**を選択します。
- 2 **[ディスプレイの設定]**タブをクリックします。
- 3 必要に応じて、テレビを選択します。
- 4 **[詳細設定]**ボタンをクリックします。
- 5 グラフィックス カードに対応したタブをクリックします。(タブには、**[ディスプレイ]**、**[ATI Displays]** (ATIディスプレイ)、**[Ge Force xxx]**、**[nView]**、または**[デバイス]**という名前が付いている場合があります。)
- 6 (表示先としてモニターのみを選択することで) **[TV]**オプションを無効にし、画面の説明に沿って操作します。

テレビの取り外し

- 1 テレビ出力のオプションを無効にします。124ページの「テレビ出力オプションの無効化」を参照してください。
- 2 テレビおよびコンピュータ本体の電源を切ります。
- 3 ビデオ ケーブルおよびオーディオ ケーブルをテレビとコンピュータから取り外します。

モニタまたはハイビジョン テレビへの接続

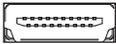
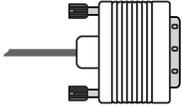
使用するAV接続の選択

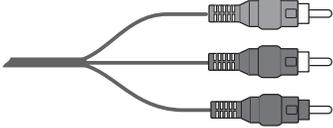
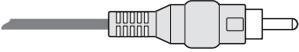
オプションのデバイスを信号ソースとして接続する場合、デバイスのコネクタの種類により、使用可能な種類の種類が制限される場合があります。オプションのデバイスに出力コネクタの種類が複数ある場合は、画質が最も高い接続を選択します。最高の結果を得るには、オプションのデバイスがサポートしている接続のうち最も品質が高い種類を選択します。

注：コンピュータに搭載されているグラフィックスカードによってはDVIコネクタが装備されており、コンピュータにはDVI-VGAコンバータが同梱されています（一部のモデルのみ）。お使いのモニタにVGAコネクタがありDVIコネクタがない場合、モニタをコンピュータに接続するには、DVI-VGAコンバータをコンピュータのグラフィックスカードのDVIコネクタに接続してから、VGAケーブルをコンバータとモニタに接続します。



次の表に、利用可能なAV接続の種類を、画質が高いものから順に示します。

ケーブル	ポート	接続の説明
		Hdmi は、完全デジタル信号を送信します。デジタルDVDやDVRの再生におすすめします ビデオ、オーディオ、およびコントロール信号があるため、非圧縮のデジタルオーディオおよびデジタルビデオ信号の両方の送信が可能です 詳しくは、127ページの「HDMIデバイスの接続」を参照してください
		Dvi は、デジタルDVDやDVRの再生時に、完全デジタルビデオ信号を送信します 詳しくは、128ページの「DVIデバイスの接続」を参照してください

ケーブル	ポート	接続の説明（続き）
		<p>コンポーネント ビデオは、分離された赤色 (pr)、緑色 (y)、青色 (pb) の信号としてビデオを送信します。標準精細度と高精細度 (hd) バージョンを利用可能です</p> <p>Sビデオやコンポジット ビデオの接続より高品質です</p> <p>例：テレビからDVDプレーヤへ</p> <p>詳しくは、129ページの「コンポジット ビデオへの接続」を参照してください</p>
		<p>Sビデオはビデオを送信します (sは「separate」(分離) を意味します)</p> <p>コンポジット ビデオ接続より鮮明な画像を送信します</p> <p>例：テレビからビデオ デッキへ</p> <p>詳しくは、130ページの「Sビデオへの接続」を参照してください</p>
		<p>コンポジット ビデオはビデオを単一の信号として送信します。通常、端子は黄色です</p> <p>コンポジット ビデオやsビデオ接続より鮮明度は低くなります</p> <p>例：DVDやVHSプレーヤからテレビへ</p>

この項の残りでは、オーディオ接続など、オプション機器の接続方法について説明します。上の表と同じ順序で記載します。

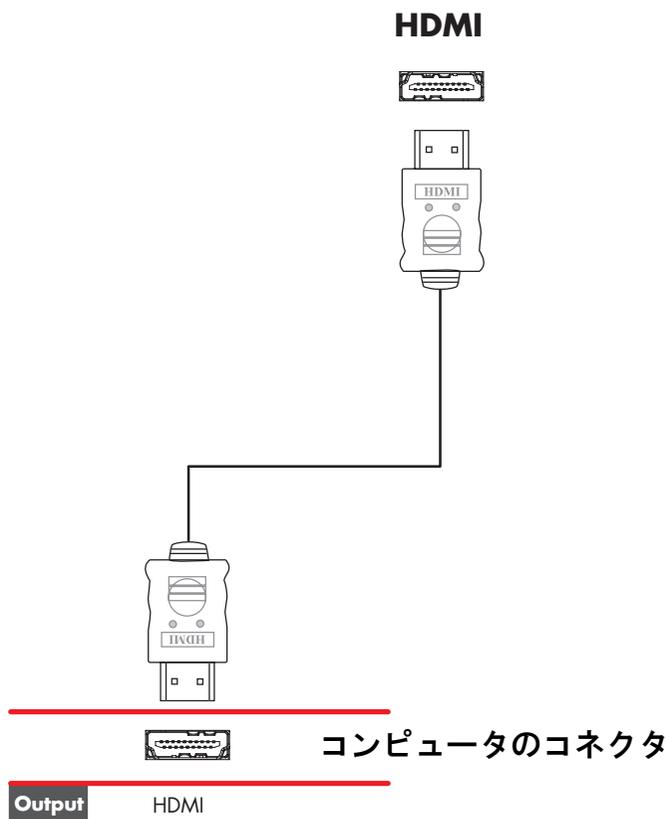


警告：オプション機器を接続する前に、テレビおよび接続されたすべてのコンポーネントの電源コードを抜いてください。オプション機器の電源が切れていることを確認してください。

HDMIデバイスの接続

ビデオおよびオーディオの接続におすすめします。HDMIケーブルは別売です。

- 1 HDMIケーブルをコンピュータのHDMIコネクタに接続します。(HDMIのオーディオ入力コネクタは1つだけです。)

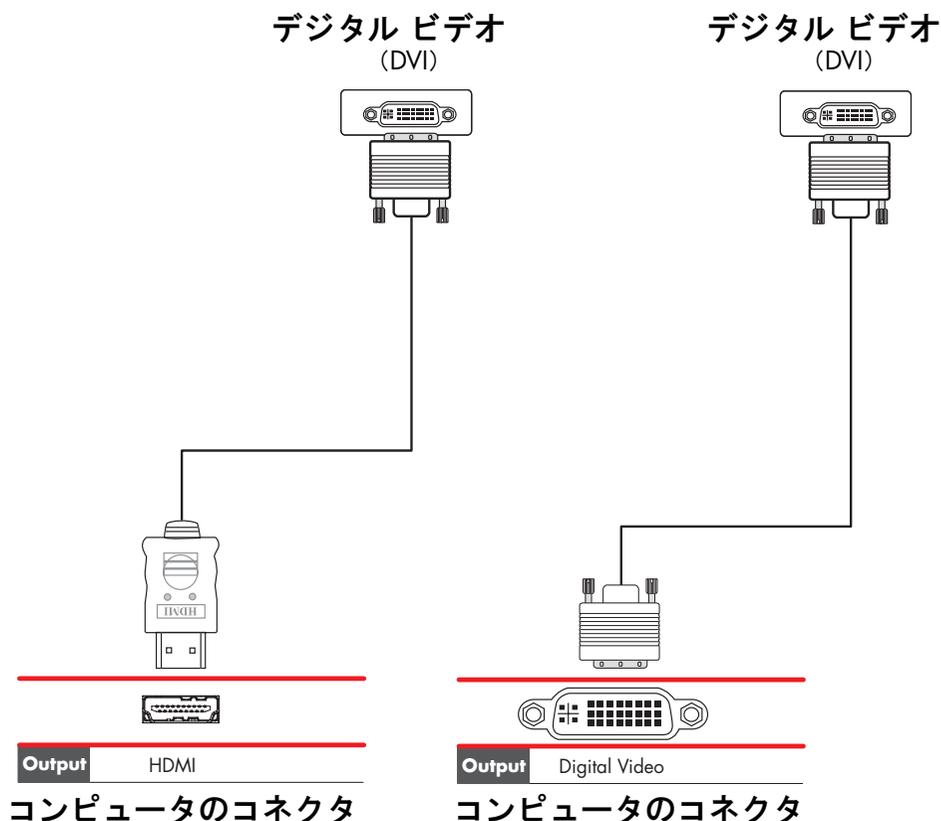


- 2 ケーブルをHDMIデバイスに接続します。
- 3 HDMIデバイスの電源を入れて、再生します。
- 4 コンピュータの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
- 5 コンピュータの電源を入れます。
- 6 [TV Option] (テレビ オプション) メニューで、HDMIの項目を設定します。

DVIデバイスの接続

DVIケーブル、DVI-HDMIコンバータ、およびオーディオ ケーブルは別売です。

- 以下の手順でビデオ ケーブルを接続します。
 - コンピュータにHDMIコネクタがある場合は、DVIビデオ ケーブルをDVI-HDMIコンバータと一緒に使用します。コンバータのHDMI側の端をコンピュータのデジタルビデオコネクタに接続し、DVIケーブルをDVI機器に接続します。または
 - コンピュータにDVIコネクタがある場合は、DVIビデオ ケーブルを使用して、ケーブルをコンピュータとDVI機器に接続します。
- オーディオ ケーブルをDVI機器とコンピュータに接続します。



- DVIデバイスの電源を入れて、再生します。
- コンピュータの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
- コンピュータの電源を入れます。

標準のテレビへの接続

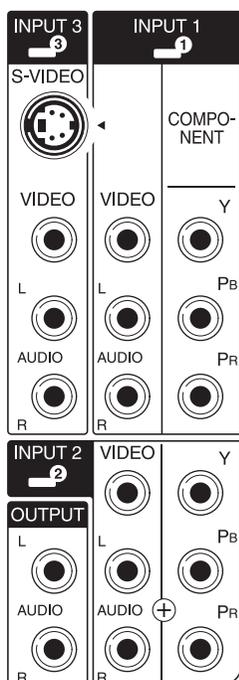
ケーブルは別売です。

コンポジット ビデオへの接続



警告：この例では、入力1と入力2にはそれぞれコンポーネントとビデオの両方のコネクタがあり、左右のオーディオ コネクタを共有しています。各入力セットに対して、1つのビデオ入力のみ接続します。

- 1 コンポジット ビデオ ケーブルをコンポーネント (Y、Pb、Pr) コネクタに接続します。この例では、利用可能なコンポーネント コネクタが2セット (入力1および入力2) あります。



- 2 コンポーネント オーディオ ケーブルをコンポーネント入力の左右のオーディオ コネクタに接続します。
- 3 ケーブルをコンポーネント デバイスに接続します。
- 4 デバイスの電源を入れて、再生します。
- 5 コンピュータの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
- 6 コンピュータの電源を入れます。

Sビデオへの接続



警告：この例では、入力3にはSビデオとビデオの両方のコネクタがあり、左右のオーディオコネクタを共有しています。入力3に対して、1つのビデオ入力のみ接続します。

- 1 Sビデオ機器をSビデオコネクタ（この例では入力3）に接続します。

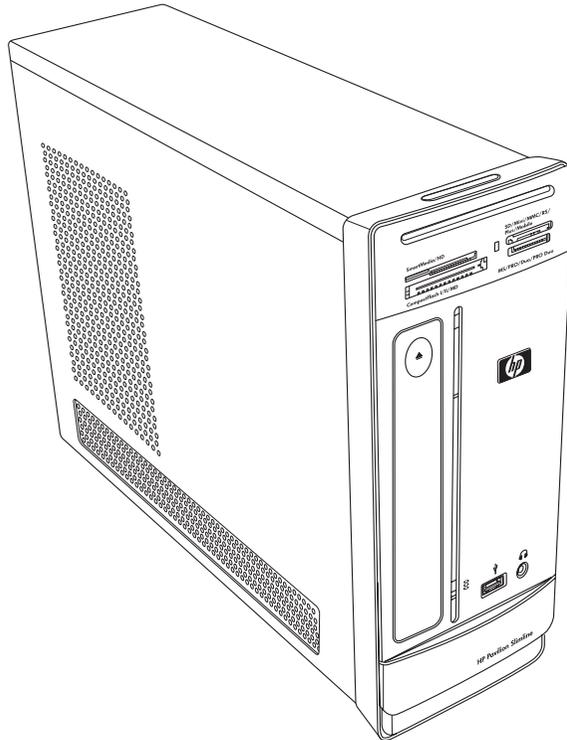


- 2 オーディオケーブルコネクタを入力3の左右のオーディオコネクタに接続します。
- 3 ケーブルをデバイスに接続します。
- 4 デバイスの電源を入れて、再生します。
- 5 コンピュータの電源コードを電源コンセントに差し込みます。
- 6 コンピュータの電源を入れます。

アップグレード ガイド

アップグレード ガイド

はじめに



『アップグレード ガイド』では、お買い上げいただいたHP Pavilion Desktop PCの以下のハードウェア部品の取り付けおよび取り外しの方法について説明します。

- オプティカルドライブ
- ハードディスクドライブ
- メモリ モジュール
- PCIカード
- PCI-Eカード
- バッテリ

安全情報

作業を始める前に、安全に関する以下の重要な情報をお読みください。

本製品は、「IT」電源システム（アースへの直接接続（IEC 60950 で規定）を持たないAC配電システム）への接続検証は行っていません。



警告：システムを設置して電源システムに接続する前に、『サポート ガイド』の「規定および安全に関する情報」をお読みください。



警告：動作中のファンに手を触れないでください。コンピュータの電源が入っている時は、指や道具をファンに近づけないでください。電源コードがコンセントに差し込まれている時、またコンピュータの電源が入っている時には、絶対にカバーを開けないでください。コンピュータが損傷したり、回転しているファンの羽根で怪我をしたりする恐れがあります。



警告：コンピュータ内部の尖った部分に触れないでください。

コンピュータを開く

コンピュータの部品を交換する前に、コンピュータおよびその部品を安全に取り扱えるようにコンピュータを準備しておきます。

コンピュータの部品交換または修理を試みる前に、次の項目をお読みください。

- 部品を取り外したり交換したりする前に、この説明書を印刷しておきます。
- ここに記載する情報は、コンピュータに関する一般的な用語、安全上の習慣、および、電気機器を使用し変更を加える上で必要な規制についてお客様が十分に理解していることを前提としています。
- システムのモデル番号とシリアル番号、取り付けられているすべてのオプション製品、およびその他のシステム情報を記録し、保存しておいてください。この情報が後で必要になった時に、コンピュータを開いて確認する必要がなくなります。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプション製品の電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

- 電子部品を取り扱う時は、静電気防止用ストラップおよび伝導性のフォームパッドを使用することをおすすめします。
- プラスのネジ回しが必要です。

コンピュータの準備

けがや機器の損傷を防ぐため、コンピュータを開く前に必ず以下の順序で作業してください。

- 1 以下のものをすべて取り出します。
 - メモリ カード リーダー内のメモリ カード
 - オプティカルドライブ内のオプティカル ディスク (CDやDVD)
 - Pocket Media Drive (ポケット メディア ドライブ) トレイ内のPocket Media Drive
- 2 コンピュータの電源を切ります。スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン (右図参照) →シャットダウンの順にクリックします。
- 3 モデム/電話ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを抜きます。



警告：カバーを開く前に、必ずモデム ケーブルを電話回線から取り外してください。

- 4 電源コンセントから電源コードを抜き、次にコンピュータから電源コードを抜きます。



警告：感電や火傷の危険がありますので、コンピュータの電源コードが電源コンセントから抜き取ってあることを確認してください。次に、コンピュータの電源コードを抜いてから、コンピュータのカバーを取り外します。これらを行わずにコンピュータを開けたり、その他の作業を行ったりすると、けがや機器の損傷の原因になる可能性があります。

- 5 取り付けられているその他のすべてのケーブル (キーボード、マウス、ネットワーク、モニタのケーブルなど) を取り外します。
- 6 すべての外付けデバイスを取り外します。

コンピュータのカバーの取り外し



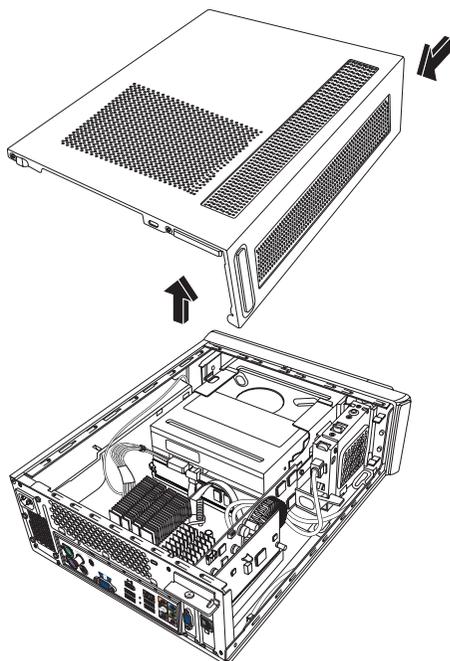
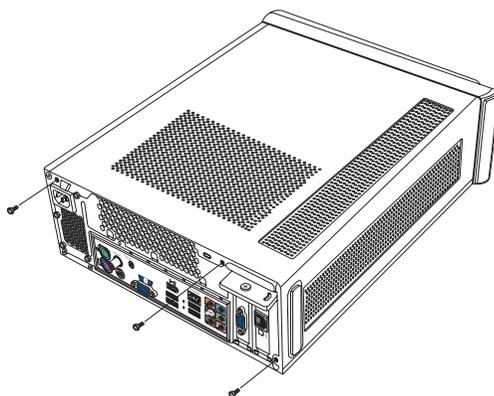
警告：コンピュータのカバーを取り外す前に、電源を切ってください。また、本体内部の温度が下がっていることを確認してください。

- 1 135ページの「コンピュータの準備」の作業を行います。
- 2 コンピュータを平らで安定した場所に置きます。
- 3 カバー背面の3つのネジを緩めます。プラスのネジ回しが必要です。



警告：コンピュータ内部の尖った部分に触れないでください。

- 4 コンピュータのカバーを1.25 cm程度後ろにスライドさせた後、持ち上げてコンピュータから取り外します。取り外したカバーは、作業の妨げにならない安全な場所に置いておきます。



注：カバーを緩めるために、必要に応じて、カバー背面のネジのスロットを使用します。



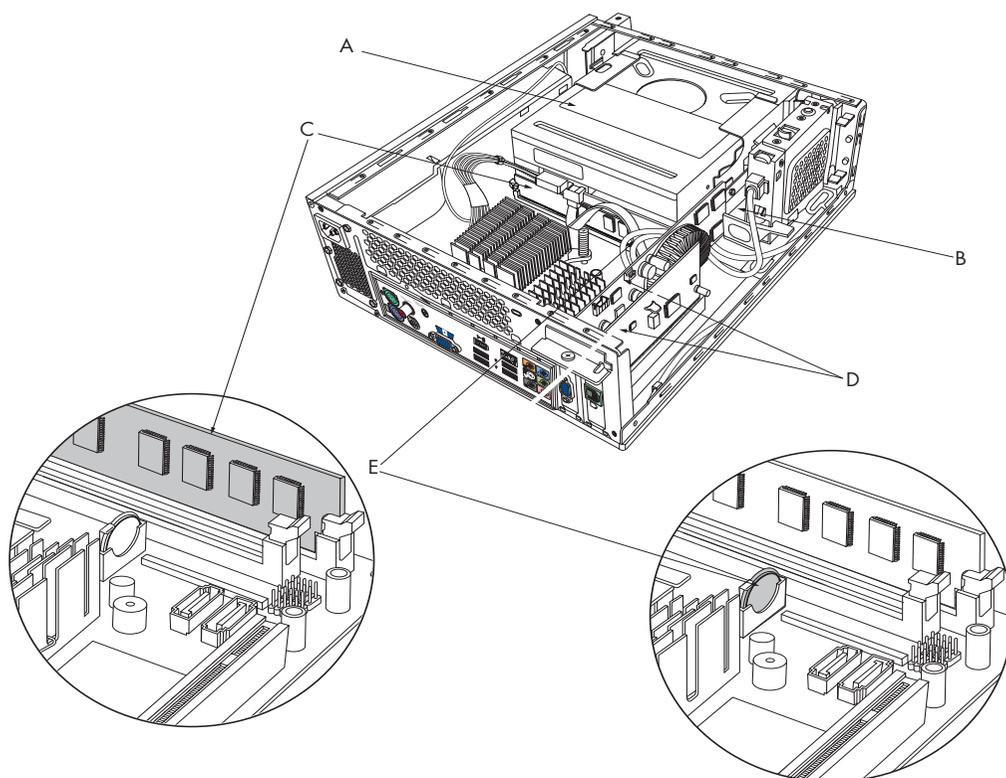
コンピュータ内部の部品の位置

コンピュータの部品構成は、モデルによって異なります。以下の部品を取り外したり交換したりできます。

部品	参照先
A オプティカルドライブ。CD-ROM、CD-RW、DVD-ROM、DVD+RW、またはマルチドライブを使用できます	140ページの「オプティカルドライブの取り外しおよび取り付け」
B ハードディスクドライブ（オプティカルドライブベイの下にあります）	144ページの「ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け」
C メモリモジュール（×2）	149ページの「メモリの取り外しおよび取り付け」
D モデムカード（PCIカード）およびグラフィックスカード（PCI-Eカード）	152ページの「PCIカードの取り外しおよび取り付け」
E バッテリー	157ページの「バッテリーの取り外しおよび取り付け」

各部の作業手順の冒頭にある「作業を始める前に」をお読みください。ここには、交換可能な部品の要件や重要な情報が記載されています。

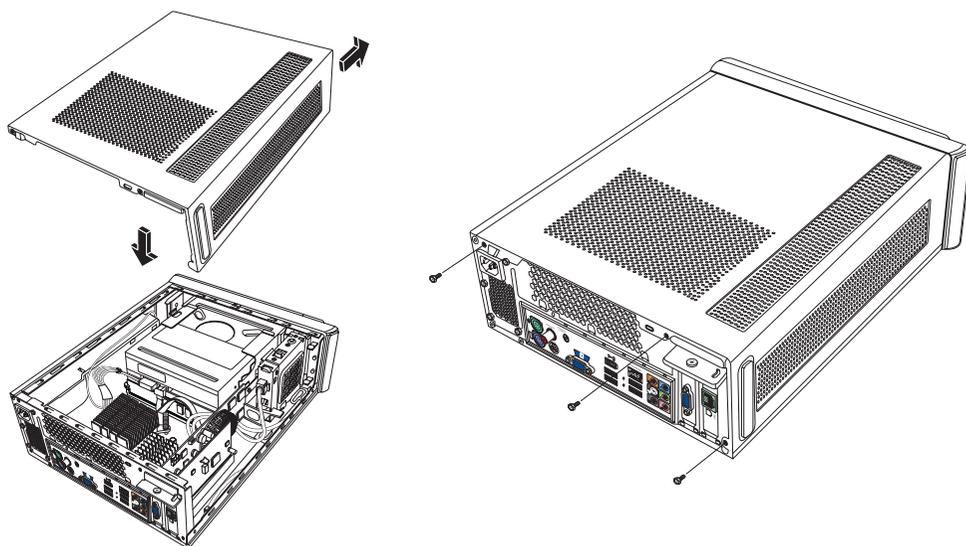
以下の図に、各部の位置を示します。



コンピュータを閉じる

コンピュータのカバーの取り付け

- 1 コンピュータ内部のケーブルをすべて正しく配線します。
- 2 カバーをコンピュータから2.5 cm程度後ろにずらして置きます。コンピュータ本体のスロットとカバーのタブの位置を合わせます。
- 3 所定の位置に固定されるまで、カバーを前方にスライドさせます。カバーの下部がコンピュータ本体の位置に合っていることを確認します。



- 4 コンピュータ カバーのネジを、本体背面のネジ穴の位置に合わせます。ネジをカバーに差し込んで締めます。
- 5 140ページの「コンピュータを閉じた後で」の作業を行います。

コンピュータを閉じた後で

けがや機器の損傷を防ぐため、コンピュータを閉じた後は必ず以下の順序で作業してください。



警告：感電や火災が発生したり、装置を損傷したりする場合がありますので、電話回線のモデム ケーブルをイーサネット ネットワーク コネクタに接続しないでください。

- 1 モデム / 電話ケーブルを接続しなおし、取り外したすべてのケーブル（キーボード、マウス、ネットワーク、モニタのケーブルなど）を接続しなおします。
- 2 プリンタなどの外付けデバイスを接続しなおします。
- 3 電源コードを接続しなおします。
- 4 コンピュータおよびすべての周辺機器（モニタなど）の電源を入れます。

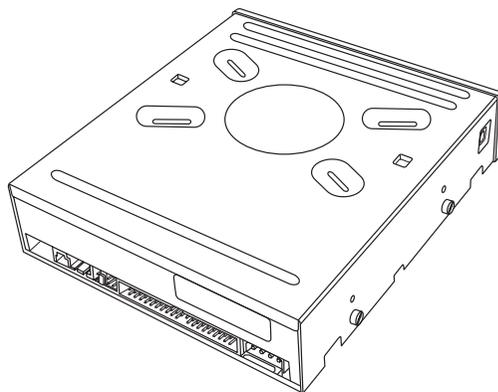
オプティカルドライブの取り外しおよび取り付け

お使いのコンピュータには、交換またはアップグレード可能なオプティカルドライブが装備されています。137 ページの「コンピュータ内部の部品の位置」を参照してください。

作業を始める前に

部品を取り外したり取り付けたりする前に、以下の条件を確認してください。

重要：コンピュータのサイズが小さいため、取り付けるオプティカルドライブの奥行きは、170 mm より小さい必要があります。



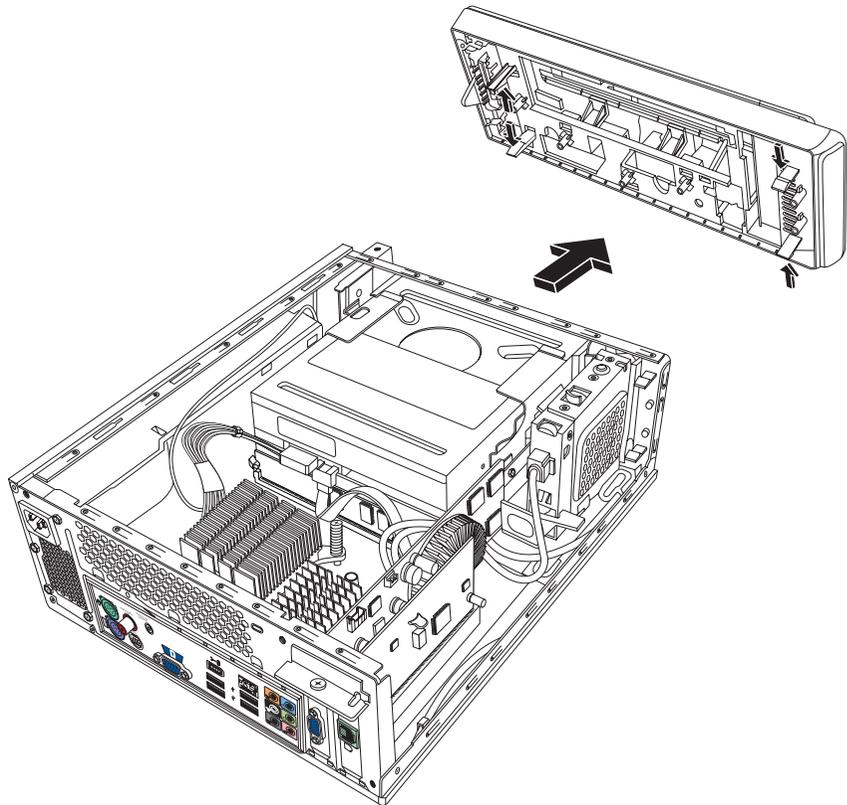
オプティカルドライブ

お使いのコンピュータには、細いデータ ケーブルとラッチ付きの SATA（シリアル ATA）ドライブが装備されています。

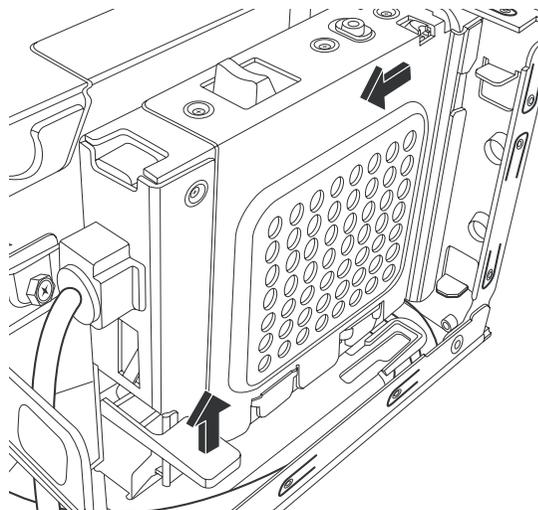
この作業にはプラスのネジ回しが必要です。

オプティカルドライブの取り外し

- 1 コンピュータの準備作業を行い、コンピュータ カバーを取り外します。134ページの「コンピュータを開く」から136ページの「コンピュータのカバーの取り外し」までの作業を行います。
- 2 コンピュータ前面のカバーを取り外します。カバーの下部にある2つのタブを外側に向けて押し、カバーの上部にある2つのタブを内側に向けて押ししてから、カバーを押し出します。

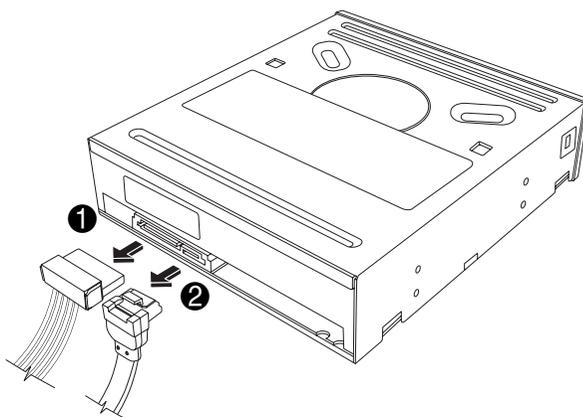


- 3 お使いのコンピュータに Pocket Media Drive が装備されている場合は、Pocket Media Drive のケージのタブを引き上げます。次に、ケージを後方に引いてコンピュータから取り出します。



- 4 オプティカルドライブの背面のケーブルを取り外す前に、各ケーブルおよびプラグの方向を書き止めておきます。

- 5 オプティカルドライブの背面から電源ケーブルを取り外し(1)、次にデータケーブルを取り外します(2)。データケーブルのタブを引きます。電源ケーブルは、ゆっくりと揺らしながら抜きます。



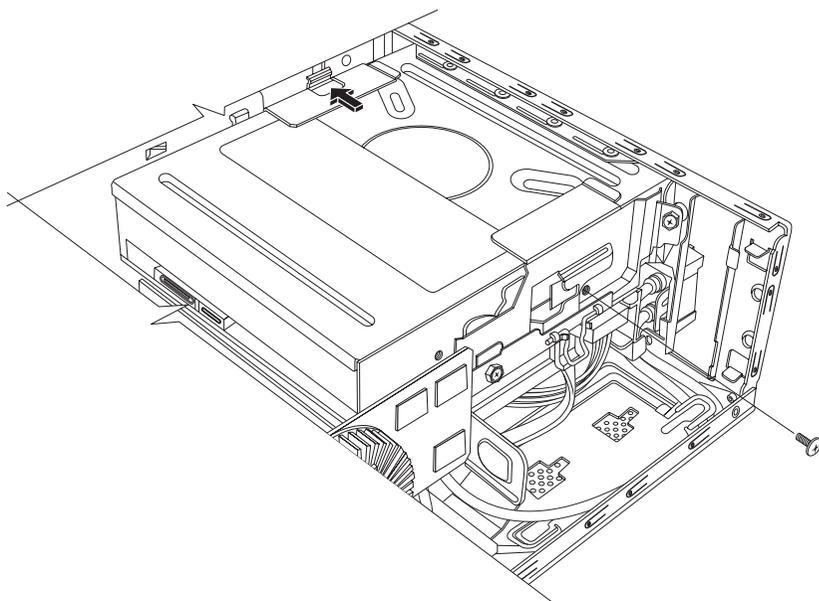
注：SATA データ ケーブルにはラッチが付いている場合があります。その場合にデータ ケーブルをドライブから抜き取るには、ラッチを押してプラグを引きます。



注意：ケーブル類を取り外す時は、ケーブル線の部分ではなく、コネクタの部分を持って引き抜いてください。

- 6 サウンド ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを抜きます。

- 7 オプティカルドライブ側面のネジを取り外します。

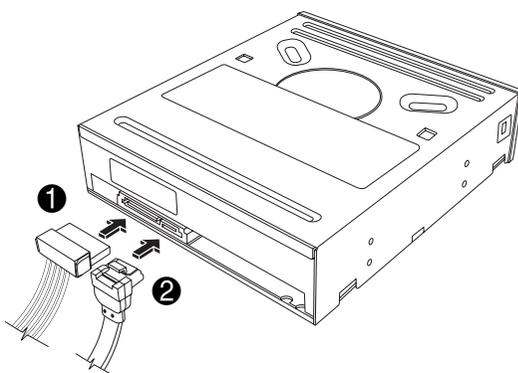


- 8 ラッチをドライブと反対方向に引き、ドライブをコンピュータの前面に押し出します。

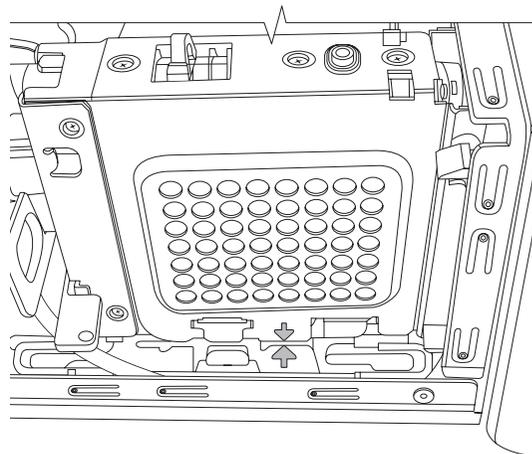
重要：取り外す時にドライブを傾けないでください。

オプティカルドライブの取り付け

- 1 140ページの「オプティカルドライブの取り外しおよび取り付け」の作業を行います。
- 2 新しいオプティカルドライブを、コンピュータ前面のスロットにゆっくりと押し込みます。
- 3 オプティカルドライブ側面のネジを取り付けます。
- 4 オプティカルドライブの背面に電源ケーブル(1)およびデータケーブル(2)を取り付けます。ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。



- 5 ドライブの一部のモデルには、サウンド ケーブルが付属している場合があります。その場合は、サウンド ケーブルを取り付けます。
- 6 お使いのコンピュータに Pocket Media Drive が装備されている場合は、Pocket Media Drive のケージを挿入します。
 - a Pocket Media Drive のケージの矢印を、コンピュータ内部の底面にある矢印に合わせます。
 - b 所定の位置に固定されるまで、Pocket Media Drive のケージを、コンピュータの前面の方向に押し込みます。
- 7 コンピュータ前面のカバーを取り付けます。
- 8 コンピュータのカバーを取り付けて、コンピュータを閉じます。139ページの「コンピュータを閉じる」の作業を行います。

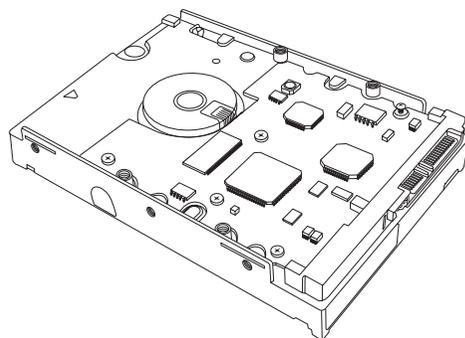


ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け

お使いのコンピュータには、交換またはアップグレード可能なハードディスクドライブが装備されています。137ページの「コンピュータ内部の部品の位置」を参照してください。

あらかじめ取り付けられているハードディスクドライブには、コンピュータのシステム復元用のパーティションが含まれています。このハードディスクドライブを取り外した場合は、静電気の影響を受けない容器に密封しておきます。

このハードディスクドライブは、細いデータ ケーブルとラッチ付きの SATA (シリアルATA) ドライブです。



ハードディスクドライブ

作業を始める前に

部品を取り外したり取り付けたりする前に、以下の条件を確認してください。



注意：ハードディスク ドライブを取り外す前に、ハードディスク ドライブ上の個人用ファイルを、**DVD、CD、USB**ドライブなどの外部記憶装置にバックアップします。バックアップを行わないと、データが損失します。

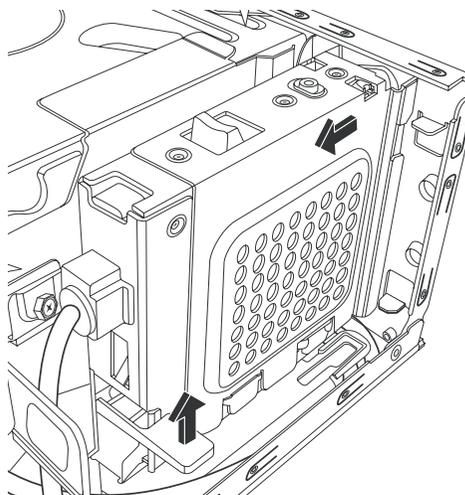
ハードディスク ドライブを交換したら、システムの復元を行います。リカバリ ディスクを使用して、工場出荷時に含まれていたファイルをロードします。システムの復元の手順については、『サポート ガイド』の「トラブルシューティングおよびメンテナンス」を参照してください。

重要：ハードディスク ドライブをアップグレードする前に、リカバリ ディスクが用意してあることを確認してください。リカバリ ディスクについて詳しくは、『サポート ガイド』の「システム リカバリの概要」を参照してください。

この作業にはプラスのネジ回しが必要です。

ハードディスク ドライブの取り外し

- 1 コンピュータの準備作業を行い、コンピュータ カバーを取り外します。134ページの「コンピュータを開く」から 136 ページの「コンピュータのカバーの取り外し」までの作業を行います。
- 2 お使いのコンピュータにPocket Media Driveが装備されている場合は、Pocket Media Driveのケージのタブを引き上げます。次に、ケージを後方に引いてコンピュータから取り出します。



- 3 ハードディスク ドライブからケーブルを取り外す前に、ドライブに取り付けられている各ケーブルを書き止めておきます。
- 4 ワイヤ ラッチを持ち上げて、ハードディスク ドライブの背面から電源ケーブルおよびデータ ケーブルを取り外します。
- 5 ドライブ トレイから固定ネジを取り外します。

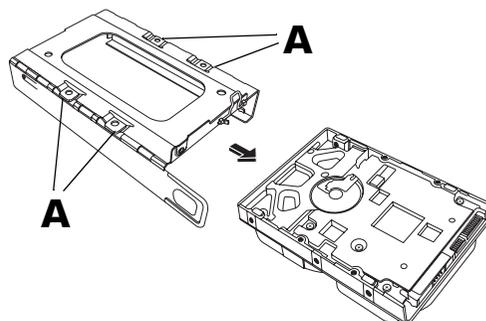
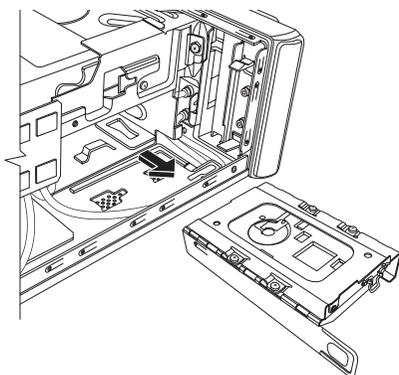
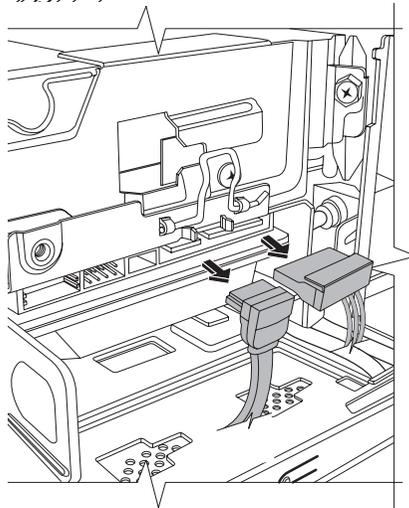
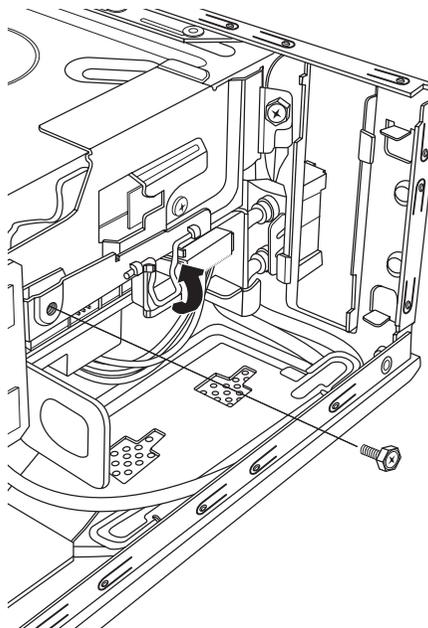


注意：ハードディスクドライブの取り扱いには注意してください。ハードディスクドライブを落としたりぶつけたりすると、データが失われる恐れがあります。

- 6 ハードディスク ドライブ トレイのタブを引いて、トレイをドライブ ベイからスライドさせて取り出します。

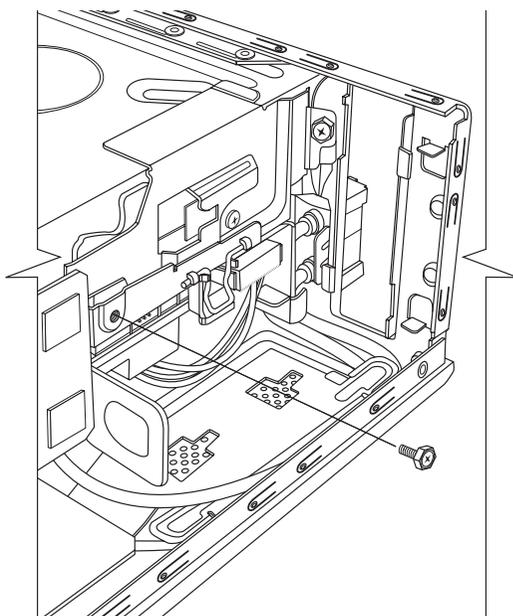
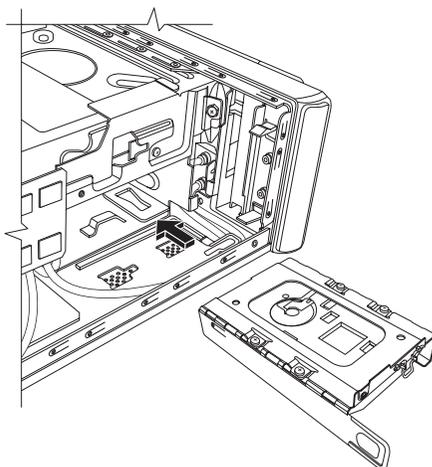
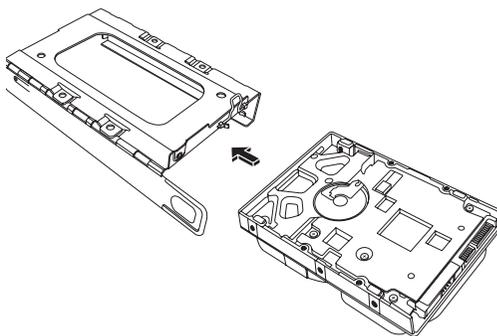
注：ドライブ トレイを取り出す時は、コンピュータのケーブルが引っかからないようにしてください。トレイを取り出す前に、必要に応じて端に寄せます。

- 7 ハードディスク ドライブをドライブトレイに固定している4つのネジを、右下の図のAの位置から取り外して、ハードディスクドライブをトレイからスライドさせて取り出します。

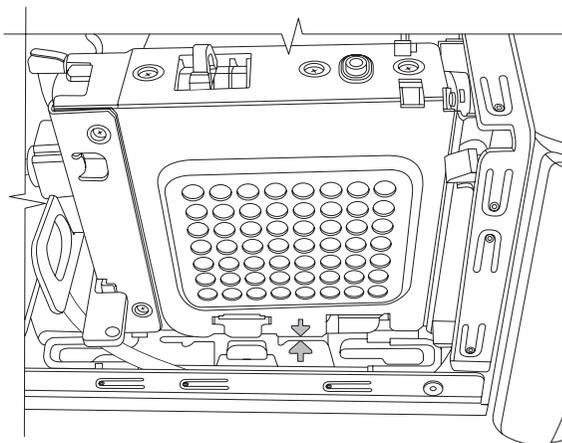
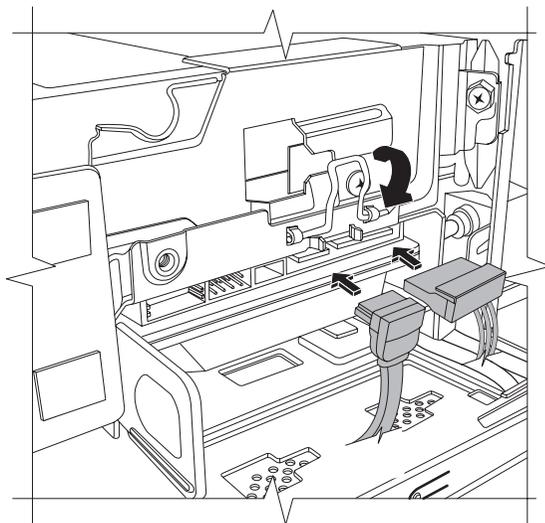


ハードディスク ドライブの取り付け

- 1 144ページの「ハードディスク ドライブの取り外し」の作業を行います。
- 2 ハードディスク ドライブをトレイにスライドさせます。
- 3 4つのネジを締めてハードディスク ドライブをドライブトレイに固定します。
- 4 トレイを付けたハードディスク ドライブをコンピュータのドライブベイにスライドさせて挿入します。
- 5 ハードディスク トレイの固定ネジをドライブトレイに挿入して締めます。



- 6 データケーブルおよび電源ケーブルをハードディスクドライブの背面に取り付けて、ワイヤラッチを閉じます。
- 7 お使いのコンピュータに Pocket Media Drive (PMD) が装備されている場合は、Pocket Media Drive のケージを挿入します。
 - a Pocket Media Drive のケージの矢印を、コンピュータ内部の底面にある矢印に合わせます。
 - b 所定の位置に固定されるまで、Pocket Media Drive のケージを、コンピュータの前面の方向に押し込みます。
- 8 コンピュータのカバーを取り付けなおします。139ページの「コンピュータを閉じる」を参照してください。
- 9 必要に応じて、システムの復元を行います。リカバリ ディスクを使用して、工場出荷時に含まれていたファイルを元に戻します。システムの復元の手順については、『サポート ガイド』の「トラブルシューティングおよびメンテナンス」を参照してください。



メモリの取り外しおよび取り付け

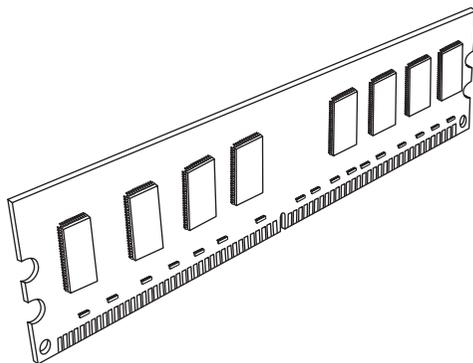
マザーボードには、ダブル データ レート (DDR) デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) 用のソケットが1基または2基あります。

作業を始める前に

部品を取り外したり取り付けたりする前に、以下の条件を確認してください。

お使いのコンピュータで使用されるメモリ モジュールの種類および速度、また特定のメモリ モジュールの情報や仕様を確認するには、以下の手順で操作します。

- 1 Webブラウザで
<http://www.hp.com/support/>にアクセスします。
- 2 お住まいの国または地域、および言語を選択します。
- 3 [サポート & ドライバ] ページで[サポート & 問題解決情報を表示する]をクリックし、お使いのコンピュータのモデル番号を入力して、[>>]をクリックします。



メモリ モジュール



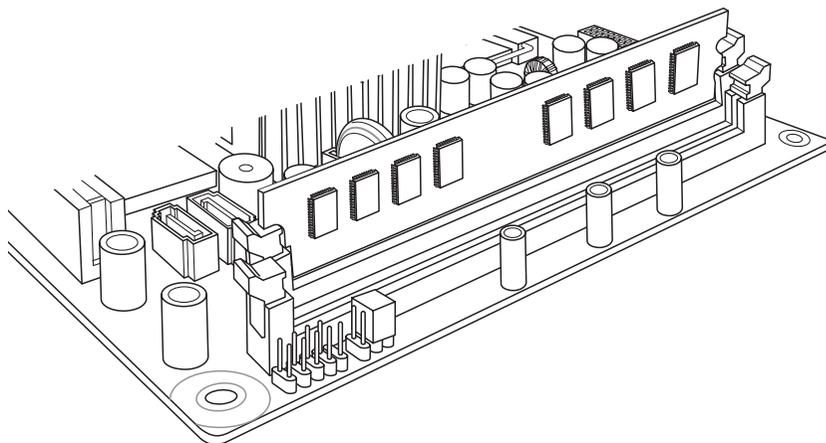
警告：誤った種類のメモリ モジュールを使用すると、システムに損傷を与える可能性があります。



警告：メモリ モジュールの取り扱いには注意してください。メモリ モジュールの端子には手を触れないでください。金属の端子に触れると、モジュールが損傷する恐れがあります。メモリ モジュールを持つときは、左右の端を持ち、メモリ チップにも触れないようにしてください。

メモリ モジュールの取り外し

- 1 オプティカルドライブを取り外します。141ページの「オプティカルドライブの取り外し」を参照してください。
- 2 マザーボードにあるメモリ ソケットの位置を確認します。

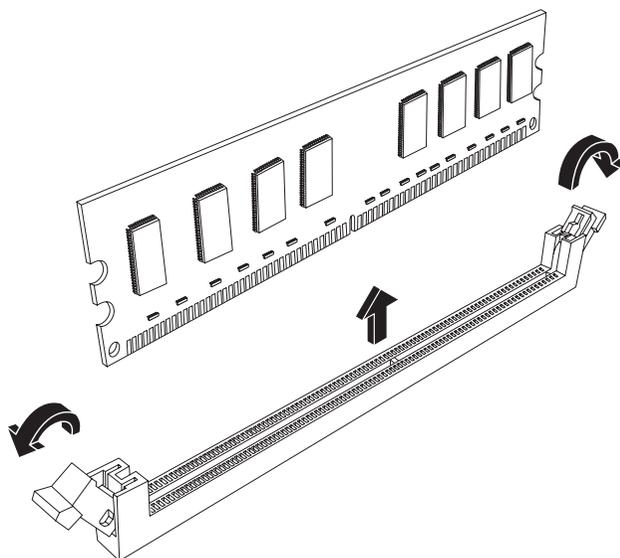


- 3 必要に応じて、内部のケーブルを作業の妨げにならない場所に寄せます。



警告：ソケットからメモリ モジュールを無理に引っ張り出さないでください。モジュールを取り出す時は、次の手順のように留め具を使用します。

- 4 メモリ モジュールがソケットから少し出てくるまで、メモリ ソケットの左右の端にある2つの留め具を押し下げます。メモリ モジュールをソケットから引き上げる時は、必ず左右の端を持ちます。



- 5 静電気の影響を受けない容器にメモリ モジュールを保管しておきます。

メモリ モジュールの取り付け

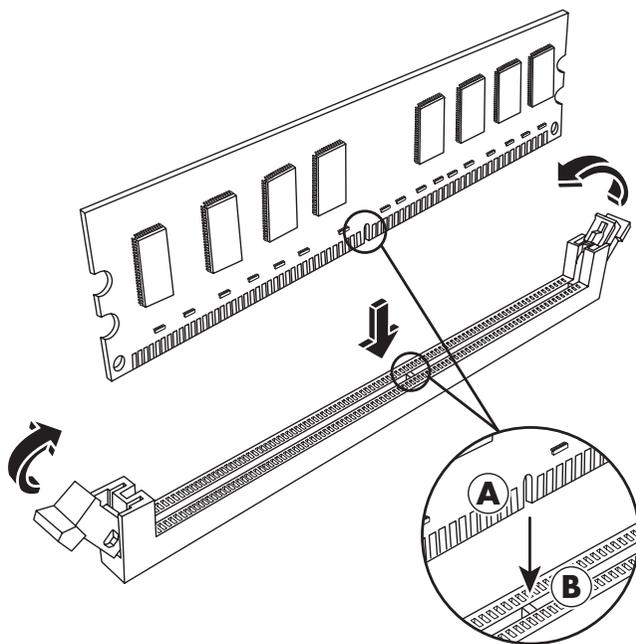
コンピュータのメモリの取り付ける時は、取り付けられていたメモリと同じ種類および速度のメモリを使用します。

- 1 150ページの「メモリ モジュールの取り外し」の作業を行います。
- 2 メモリ モジュール ソケットの両方の留め具を開きます。



警告：メモリ モジュールの取り扱いには注意してください。メモリ モジュールの端子には手を触れないでください。金属の端子に触れると、モジュールが損傷する恐れがあります。メモリ モジュールを持つときは、左右の端を持ち、メモリ チップにも触れないようにしてください。

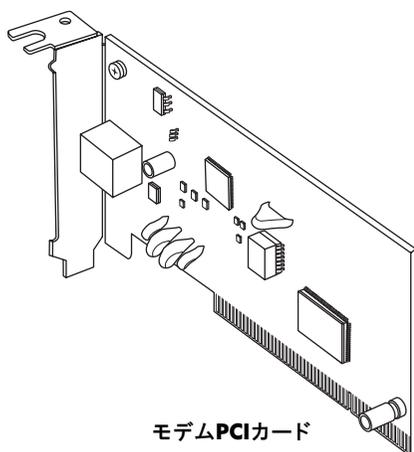
- 3 容器から新しいメモリ モジュールを取り出します。必ず左右の端を持ちます。
- 4 メモリ モジュールは決められた位置に取り付ける必要があります。メモリ モジュールの切り込み (A) を、メモリ ソケットのタブ (B) に合わせます。モジュールを注意深くしっかりとスロットに押し込み、左右の留め具が所定の位置に固定されるようにします。



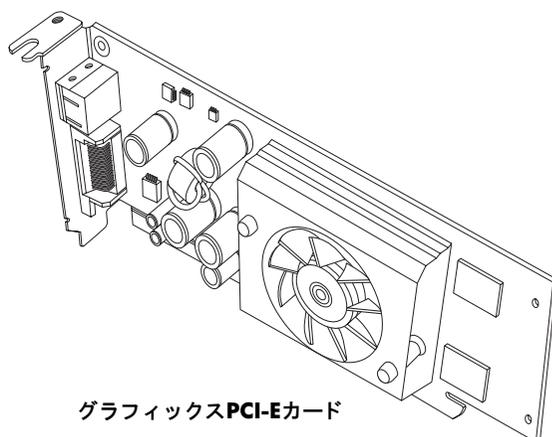
- 5 2つ目のメモリ モジュールを取り付ける場合は、手順1~4を繰り返します。
- 6 周囲のケーブルを寄せていた場合は、元通りに配置しなおします。
- 7 オプティカル ドライブを取り付けなおします。143ページの「オプティカル ドライブの取り付け」を参照してください。

PCIカードの取り外しおよび取り付け

お使いのコンピュータのPCIカード スロットには、モデム カードが取り付けられています。また、コンピュータのPCI-E (PCI Express) カード スロットに、グラフィックス カードが取り付けられている場合もあります。これらのカードは、新しいモデム カードまたはグラフィックス カードに交換できます。別のPCIカードまたはPCI-Eカードに交換することもできます。モデム カードは、電話モデムの回路基板で、PCIカード スロットに取り付けます。



モデムPCIカード



グラフィックスPCI-Eカード

作業を始める前に

部品を取り外したり取り付けたりする前に、以下の条件を確認してください。

重要：コンピュータのサイズが小さいため、取り付けるPCIカードは、モデム カードと同等のサイズのロープロファイルPCIカードである必要があります。消費電力が5 W以下のカードを取り付けることをおすすめします。

ロープロファイル カードであっても、種類や形状によっては、PCIスロットに取り付けられないものもあります。一部の外部コネクタ（特にカード上部のコネクタ）は、コンピュータ背面に正しく取り付けられない場合があります。

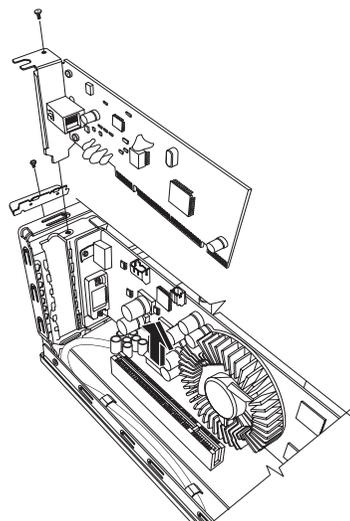
重要：コンピュータのサイズが小さいため、取り付けるPCI-Eカードは、グラフィックス カードと同等のサイズのロープロファイル カードである必要があります。消費電力が25 W以下のカードを取り付けることをおすすめします。

ロープロファイル カードであっても、種類や形状によっては、PCI-Eスロットに取り付けられないものもあります。一部の外部コネクタ（特にカード上部のコネクタ）は、コンピュータ背面に正しく取り付けられない場合があります。

この作業にはプラスのネジ回しが必要です。

PCIカードの取り外し

- 1 コンピュータの準備作業を行い、コンピュータ カバーを取り外します。134ページの「コンピュータを開く」から136ページの「コンピュータのカバーの取り外し」までの作業を行います。
- 2 マザーボードにあるPCIカード スロットの位置を確認します。
- 3 カードに取り付けられている内部ケーブルを書き止めておいてから、取り外します。
- 4 枠の外側にあるモデム カード ブラケットホルダのネジを外します。ブラケットホルダを取り外します。
- 5 カードの上部を持ち、スロットからゆっくりと引き上げて外します。



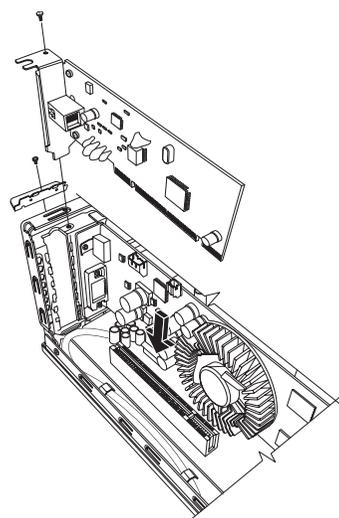
PCIカードの取り付け

重要：コンピュータのサイズが小さいため、取り付けるPCIカードは、モデムカードと同等のサイズのロープロファイルPCIカードである必要があります。消費電力が5 W以下のカードを取り付けることをおすすめします。

ロープロファイルカードであっても、種類や形状によっては、PCIスロットに取り付けられないものもあります。一部の外部コネクタ（特にカード上部のコネクタ）は、コンピュータ背面に正しく取り付けられない場合があります。

PCIカード スロットのモデムカードを新しいモデムカードまたは別のPCIカードに交換できます。

- 1 モデムカードを取り外します。153ページの「PCIカードの取り外し」を参照してください。
- 2 拡張カードの端をコンピュータ本体のスロットに合わせ、無理な力を加えずにしっかりとカード スロットにはめます。コネクタ全体がカード スロットに正しくはめ込まれる必要があります。
- 3 ブラケットホルダをネジで締めて、カードを固定します。
- 4 カードに取り付けられていた内部ケーブルを取り付けなおします。
- 5 コンピュータを閉じます。139ページの「コンピュータを閉じる」を参照してください。
- 6 必要なソフトウェア ドライバをインストールします。別のPCIカードを取り付けた場合、ドライバはカードの製造販売元から提供されます。

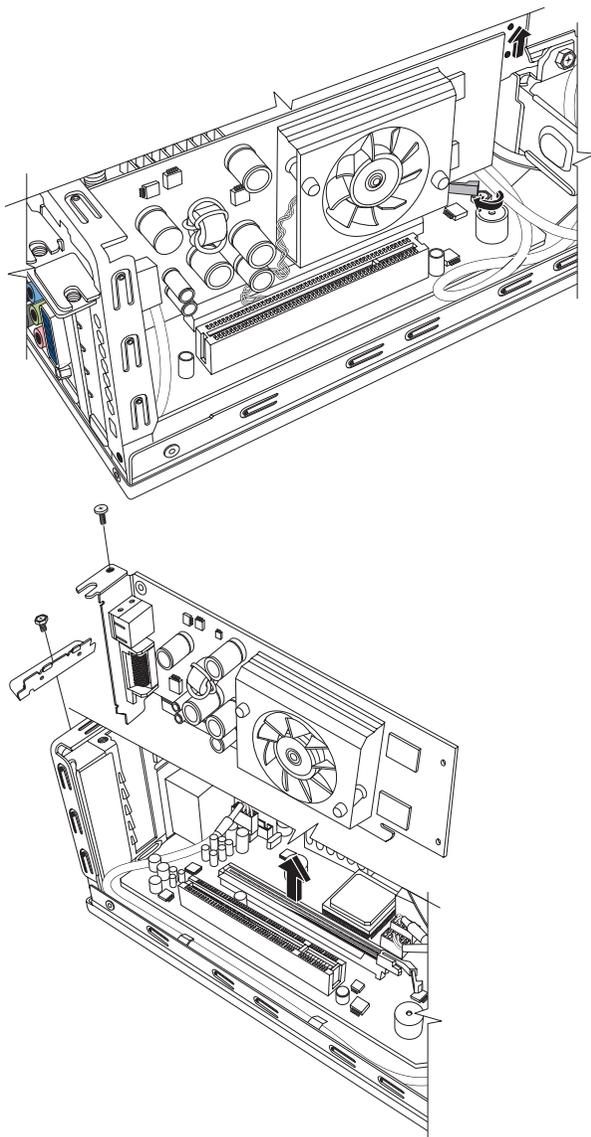


注：新しいカードまたはデバイスが機能しない場合は、カードの製造販売元の取り付けに関する説明書を読み、すべての接続（カード、電源、キーボード、モニターへの接続を含む）を再度確認してください。

PCI-Eカードの取り外し

- 1 コンピュータの準備作業を行い、コンピュータカバーを取り外します。134ページの「コンピュータを開く」から136ページの「コンピュータのカバーの取り外し」までの作業を行います。
- 2 マザーボードにあるPCI-Eカードスロットの位置を確認します。
- 3 カードに取り付けられている内部ケーブルを書き止めておいてから、取り外します。
- 4 枠の外側にあるモデムカードブラケットホルダのネジを外します。ブラケットホルダを取り外します。

- 5 カードをマザーボードに固定しているつまみを持ち上げたまま、カードの上部をつかみ、ゆっくりとスロットから真上に引き上げて取り外します。



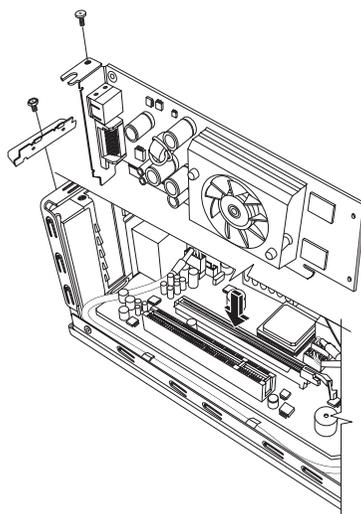
PCI-Eカードの取り付け

重要: コンピュータのサイズが小さいため、取り付けるPCI-Eカードは、グラフィックスカードと同等のサイズのロープロファイルカードである必要があります。消費電力が25 W以下のカードを取り付けることをおすすめします。

ロープロファイルカードであっても、種類や形状によっては、PCI-Eスロットに取り付けられないものもあります。一部の外部コネクタ（特にカード上部のコネクタ）は、コンピュータ背面に正しく取り付けられない場合があります。

PCI-Eカード スロットのグラフィックスカードを新しいグラフィックスカードまたは別のPCI-Eカードに交換できます。

- 1 グラフィックスカードを取り外します。154ページの「PCI-Eカードの取り外し」を参照してください。
- 2 拡張カードの端をコンピュータ本体のスロットに合わせ、無理な力を加えずにしっかりとカード スロットにはめます。コネクタ全体がカード スロットに正しくはめ込まれる必要があります。
- 3 ブラケットホルダをネジで締めて、カードを固定します。
- 4 カードに取り付けられていた内部ケーブルを取り付けなおします。
- 5 コンピュータを閉じます。139ページの「コンピュータを閉じる」を参照してください。
- 6 必要なソフトウェアドライバをインストールします。別のPCI-Eカードを取り付けた場合、ドライバはカードの製造販売元から提供されます。



注: 新しいカードまたはデバイスが機能しない場合は、カードの製造販売元の取り付けに関する説明書を読み、すべての接続（カード、電源、キーボード、モニタへの接続を含む）を再度確認してください。

バッテリーの取り外しおよび取り付け

マザーボードのリチウム バッテリーは、コンピュータの時計機能のバックアップ用電源です。

バッテリーの残量が少なくなると、日付や時刻が不正確になる可能性があります。バッテリーの残量が完全になかったら、CR2032リチウム バッテリー（3ボルト、220 mAh定格）または同等のバッテリーに交換してください。

バッテリーは消耗品です。

作業を始める前に

部品を取り外したり取り付けたりする前に、以下の条件を確認してください。



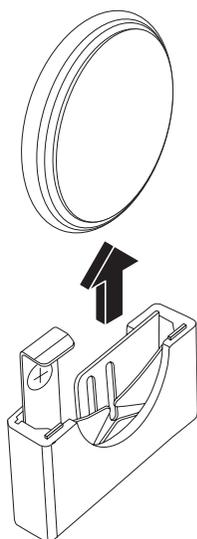
警告：間違った種類のバッテリーを取り付けると、バッテリーが破裂する恐れがあります。必ず同じ種類または同等の種類 of バッテリーと交換してください。使用済みのバッテリーは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。



警告：バッテリーの取り外しや取り付けには、ペンチなど金属製のものを絶対に使用しないでください。金属が接触すると、バッテリーがショートして損傷する恐れがあります。

作業手順

- 1 コンピュータの準備作業を行い、コンピュータ カバーを取り外します。134ページの「コンピュータを開く」から136ページの「コンピュータのカバーの取り外し」までの作業を行います。
- 2 コンピュータをゆっくりと横向きにして安定した場所に置きます。
- 3 141ページの「オプティカルドライブの取り外し」の作業を行います。
- 4 必要に応じて、バッテリーの周囲のケーブルを作業の妨げにならない場所に寄せます。
- 5 バッテリーを固定しているクリップを開きます。バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。



- 6 ソケットに新しいCR2032バッテリーを取り付けます。プラス (+) 側がソケットの開いている側と向かい合うようにします。
- 7 周囲のケーブルを寄せていた場合は、元通りに配置しなおします。
- 8 143ページの「オプティカルドライブの取り付け」の作業を行います。
- 9 コンピュータのカバーを取り付けなおします。139ページの「コンピュータを閉じる」を参照してください。

注：コンピュータを起動してから、日付と時刻を手動で設定しなおす必要が生じる場合があります。

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電源コードについて

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。

同梱された電源コードは、ほかの製品では使用出来ません。

日本における含有物質の表示

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有に付きまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示に付きましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/>を参照してください。

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。

このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。

ENERGY STAR®は、米国政府が所有する登録商標です。

HPリサイクル プログラム

HPでは、使用済みのHP製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。

規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HPのリサイクル プログラムについては、HPのWebサイト (<http://h50055.www5.hp.com/ipg/supplies/recycling/hardware/jp/ja/household.asp>) を参照してください。

注：コンピュータに内蔵されているバッテリーは家庭用ごみとして捨てないでください。内蔵バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

PCリサイクルシール

「資源有効利用促進法」に基づき、ご家庭で使用済みとなったパソコンの、メーカー等による回収および再資源化がスタートしました。日本HPでは、個人のお客様の購入比率が高い本製品を家庭系パソコンリサイクル対象商品とし、PCリサイクルシールを製品本体に貼付して出荷しています。本シールの貼付された弊社製品が不要となった場合には、弊社にて回収再資源化を無償で実施します。

PCリサイクルシールには登録ナンバーが印字されておりますので、絶対にはがさないでください。万一、本シールをはがしたり紛失したりされますと、排出時に回収再資源化料金をご負担いただく場合がございます。

排出時の連絡先

日本ヒューレット・パッカー株式会社 家庭系PCリサイクル窓口

- 電話番号：0120-152523
- FAX番号：045-441-2556
- e-mail：pc-recycle@isp21.co.jp
- 受付時間：月～金10:00～12:00/13:00～17:00
(休日：土、日、祝日、および年末年始等当社の休日)

※電話番号などの連絡先は、予告なく変更となる場合があります。その節はご容赦願います。

索引

B			
Bluetoothデバイス		13	
D			
DVIまたはDVI-Dケーブル		110	
F			
FM入力コネクタ		8	
FMラジオ アンテナ 接続		8	
H			
HP Connections (HPコネクション) からの更新、 使用		21	
I			
IEEE 1394 (FireWire) コネクタ		6	
L			
LAN		11	
LANアンテナ		11, 14	
R			
RCAステレオ ケーブル		111	
S			
Sビデオ ケーブル		110	
Sビデオ入力コネクタ		7	
T			
TV			
接続		120	
テレビ信号の接続		112, 115, 118	
モニターとして使用		120	
TVチューナ			
信号		112	
テレビへのコンピュータの接続		120	
U			
USBコネクタ		4	
W			
WEP		15	
Windows Vistaアップデート		39	
Windowsヘルプとサポート		20	
WPA		15	
Y			
Yアダプタ ケーブル		97	
あ			
新しいコンピュータへの情報の転送		46	
[新しいハードウェアが見つかりました]メッセージ、 デジタル カメラの接続		9	
アップデート、Windows Vista		39	
アップデート、システム		39	
アナログ ビデオ ケーブル/アダプタ		110	
安全に関する警告		27	
イーサネット接続		12	
イーサネット ネットワーク ハブ		8	
インターネット セキュリティ		29, 30	
ウイルス対策、プログラムのインストール		46	
衛星放送のセット トップ ボックス		118	
オーディオ ケーブルおよびビデオ ケーブル		110	
オーディオ コネクタ		5	
オーディオ入力 左右のコネクタ		7	
音量 制御		55	
か			
カーソルの速度		59	
カーソルの速度の変更		59	
カード リーダー、メモリ		77	
快適な作業		27	
『快適に使用していただくために』		27	
画面解像度 調整		122	
画面解像度の調整		122	
キーボード コネクタ		4	
ショートカット		56	
使用		49	
ボタンのカスタマイズ		56	
ボタンの種類		49~55	
キーボード ボタンのカスタマイズ		56	
ケーブル DVI		125	
HDMI		125	
Sビデオ		125	
コンポーネント ビデオ		125	
コンボジット ビデオ		125	
テレビ		109	
テレビへのコンピュータの接続		120	
同梱		109	

コネクタ			
FM入力	8		
IEEE 1394 (FireWire)	6		
Sビデオ入力	7		
USB	4		
オーディオ ライン入力	5		
キーボード	4		
コンピュータ	4		
コンポジット ビデオ入力	7		
テレビ/ケーブル アンテナ	8		
プリンタ	4		
ヘッドフォン	5		
マイク入力	6		
マウス	4		
モデム	8		
モニター	5		
コンピュータ			
オフ	33		
セット トップ ボックスおよびビデオ デッキ			
でのテレビ信号の接続	116		
セットアップ	3		
前面のコネクタ	4		
テレビ信号の接続	112		
ファイルの転送	46		
ヘルプとツール	20		
リモート センサの接続	114		
コンピュータのシャットダウン	33		
コンピュータのセットアップ	3		
コンピュータの電源オフ	33		
コンピュータ			
リモート センサの接続	114		
コンポジット ビデオ ケーブル	110		
コンポジット ビデオ コネクタ	7		
さ			
サージ保安器	3		
サポート			
メッセージ	21		
周辺機器	4		
シャットカット			
キーボード	56		
自動スクロール	58		
スキャナ、接続	10		
ステレオ			
コンピュータの接続	97		
スピーカ			
マルチチャンネル オーディオ スピーカのコン			
ピュータへの接続	87, 91~105		
スピーカ システム	88		
スプリッタ ケーブル			
使用	110		
スリープ モード ボタン	53		
セット トップ ボックス	118		
接続			
DVIデバイス	128		
HDMIデバイス	127		
Sビデオ	130		
周辺機器	4		
デジタル カメラ	9		
デジタル ビデオ カメラ	9		
デバイス	10		
デュアル チューナ	113		
標準のテレビ	129		
標準のビデオ	129		
モデム	16		
モニター	125		
有線ネットワーク	12		
説明書、画面上	17		
た			
手根管症候群	27		
テレビ			
取り外し	124		
テレビ ケーブルの使用	109		
テレビ出力オプションの無効化	124		
テレビ信号	109		
テレビ同軸ケーブル			
使用	110		
テレビの取り外し	124		
デジタル カメラ			
接続	9, 10		
デジタル画像	77		
デジタル ビデオ カメラ			
コンピュータへの接続	9		
トラブルシューティング	10		
デバイス			
接続	10		
電源コネクタ	8		
同軸ケーブル			
テレビ信号の接続	116		
同軸ケーブル使用	115		
な			
ネットワーク インタフェース アダプタ	8		
ネットワーク インタフェース カード (NIC)	12		
ネットワーク名 (SSID)	15		
は			
反復運動過多損傷 (RSI)、『快適に使用していただくために』を参照			
パスワード			
作成	43		
ビデオ			
ホーム ビデオの作業	9		
ビデオ ケーブル	109		
複数のディスプレイの接続	122		

